第２６回豊島廃棄物等管理委員会次第

日時　平成２３年９月１７日（土）
場所　ルポール讃岐　２階　大ホール

Ⅰ　開会
　知事挨拶

Ⅱ　審議・報告事項
　1　豊島廃棄物等処理事業の実施状況（報告）
　　(1)　豊島廃棄物等処理事業の実施状況
　　(2)　豊島廃棄物等処理事業の原単位表等

　2　豊島廃棄物等の処理対象量の推計及び処理計画（報告・審議）
　　(1)　豊島廃棄物等の処理対象量及び残存量の推計
　　(2)　処理計画及び豊島廃棄物等処理事業基本計画（掘削）（案）

　3　中間処理施設の運転管理等（報告）
　　(1)　中間処理施設の定期点検整備結果等
　　(2)　最近のトラブルと対策

　4　汚染土壌の水洗浄処理（報告）
　　(1)　汚染土壌の水洗浄処理等及び掘削・積替え・搬出等業務の委託先の決定
　　(2)　直下土壌完了判定調査の実施

　5　処分地の掘削及び維持管理等（報告・審議）
　　(1)　貯留トレンチ設置場所の検討結果
　　(2)　土壌面に貯留している雨水の処理
　　(3)　第１回廃棄物等性状調査結果及び第２回廃棄物等性状調査計画（案）
　　(4)　豊島処分地仮置き土上雨水の北海岸への流出
　　(5)　トレンチ貯留水の散水
　　(6)　台風１２号の被害状況

　6　豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価業務（審議）
　　(1)　実施方針
　　(2)　業務計画書案

　7　その他（報告・審議）
　　(1)　環境計測、周辺環境モニタリング、作業環境測定結果
　　(2)　各種マニュアルの見直し
　　(3)　緊急時等の報告（正式評価）

Ⅲ　閉会

資 料 26・Ⅱ／1－1
平成 23 年 9 月 17 日

豊島廃棄物等処理事業の実施状況(平成23年8月末まで)について

1. 豊島廃棄物等の処理実績について

①豊島廃棄物等の処理量

平成 23 年 8 月までの豊島廃棄物等の処理実績は、下表1－1及び1－2のとおりである。なお、直島の一般廃棄物は除いている。

表 1－1 (平成15～22年度) (単位:t)

区分	平成15年度 試運転(4月～9月17日)	平成15年度 本格稼動後(9月18日～3月)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	試運転～平成22年度計
処理計画	－	35,420	60,000	60,000	60,000	62,500	62,000	71,560	71,097	482,577
年間処理実績(中間処理)	14,629	11,979	53,079	53,945	52,197	54,210	60,504	70,015	74,742	445,300
溶融炉処理実績	14,539	11,933	52,243	53,186	51,261	53,183	58,983	66,130	68,653	430,111
キルン炉処理実績	90	46	836	759	936	1,027	1,521	3,885	6,089	15,189
うち、仮置土処理実績	－	－	－	－	－	－	(621)	(2,690)	(4,410)	(7,721)
岩石等特殊前処理	10	63	219	81	24	17	93	138	201	846
合計	14,639	12,042	53,298	54,026	52,221	54,227	60,597	70,153	74,943	446,146
処理量／計画量	75.3%		88.8%	90.0%	87.0%	86.8%	97.7%	98.0%	105.4%	92.5%

表 1−2（平成23年度）　　（単位：t）

区分	平成23年度													平成23年度計	累計（暫定）平成23年8月末まで
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計		
処理計画	6,219	6,449	5,529	5,299	8,779	10,249	11,119	10,309	11,329	4,489	9,514	11,329	32,275	100,613	514,852
溶融炉処理計画	5,670	5,880	5,040	4,830	6,510	6,300	6,300	6,300	6,510	210	5,565	6,510	27,930	65,625	
キルン炉処理計画	540	560	480	460	560	540	560	600	560	20	540	560	2,600	5,980	
直下土壌等処理計画					1,700	3,400	4,250	3,400	4,250	4,250	3,400	4,250	1,700	28,900	
岩石等特殊前処理計画	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	45	108	
月間処理実績（中間処理）	6,318	7,194	5,035	5,235	7,135	0	0	0	0	0	0	0	30,917	30,917	476,217
溶融炉処理実績	5,939	6,528	4,539	4,904	6,566								28,476	28,476	458,587
キルン炉処理実績	379	666	496	331	569								2,441	2,441	17,630
うち、仮置土処理実績	(222)	(488)	(195)	(157)	(389)								(1,451)	(1,451)	(9,172)
直下土壌等水洗浄処理実績	0	0	0	0	0								0	0	0
岩石等特殊前処理	95	1	12	47	18								173	173	1,019
処理量合計　①	6,413	7,195	5,047	5,282	7,153	0	0	0	0	0	0	0	31,090	31,090	477,236
掘削対象外土壌量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非汚染土壌量　②													0	0	0
地下水浄化対象土壌量　③													0	0	0
合計　(①+②+③)	6,413	7,195	5,047	5,282	7,153	0	0	0	0	0	0	0	31,090	31,090	477,236
溶融炉処理量／溶融炉処理計画量	104.7%	111.0%	90.1%	101.5%	100.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	102.0%	−	−
キルン炉処理量／キルン炉処理計画量	70.2%	119.0%	103.3%	71.9%	101.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.9%	−	−

1）処理量（合計）＝中間処理施設における処理実績＋岩石等特殊前処理（水洗）

2）平成23年度の処理量は、直島一般廃棄物受入量のデータに前年度実績を使用しているため、暫定の数値である。

3）直下土壌等処理には、重金属のみに汚染された覆土を含む。

4）直下土壌等処理のうち、中間処理施設にて溶融処理を要するダイオキシン等が完了判定基準を超過した汚染土壌は中間処理の溶融炉処理実績に含む。

5）直下土壌等処理のうち、掘削対象外土壌量は、完了判定の基準を満たした土壌量は非汚染土壌量に、また、地下水等の浄化対策で処理を要するVOCsが第二溶出量基準以下の汚染土壌は地下水浄化対象土壌量としている。これらの土壌量は公害等調整委員会の調査結果に基づき対象面積、深度、密度から推計。

②中間処理施設処理分　搬出量、積込量及び輸送量

平成 23 年 8 月までの掘削現場からの搬出量、中間保管・梱包施設での積込量及び陸上・海上輸送量の実績は、下表のとおりである。なお、中間処理施設における処理状況に対応して搬出量を調整した。

表 2

（単位:t）

区分		平成15年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度													累計 平成23年8月末まで
		試運転（4月～9月17日）	本格稼動後（9月18日～3月）								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	
処理計画量		-	35,420	60,000	60,000	60,000	62,500	62,000	63,930	70,890	6,210	6,440	5,520	5,290	7,070	6,840	6,860	6,900	7,070	230	6,105	7,070	30,530	505,270
実績	掘削現場からの搬出量	16,831	10,420	46,900	51,020	49,800	53,746	62,910	70,002	71,506	6,599	6,617	6,647	4,080	7,710								31,653	464,788
	うち、仮置土搬出量	-	-	-	-	-	-	1,850	4,147	5,010	309	327	627	0	460								1,723	12,730
	積込量	15,253	11,213	49,917	51,870	50,090	53,191	60,354	69,351	71,858	6,325	7,031	4,837	5,151	7,592								30,936	464,033
	うち、仮置土積込量	-	-	-	-	-	-	699	2,661	4,446	226	419	221	121	473								1,460	9,266
	輸送量	15,147	11,200	49,820	51,817	50,031	53,281	60,346	69,284	71,956	6,320	7,037	4,999	4,985	7,610								30,951	463,833
	うち、仮置土輸送量	-	-	-	-	-	-	698	2,660	4,557	226	419	221	120	474								1,460	9,375

1）掘削現場からの搬出量とは、掘削現場で廃棄物等をトラックに積み込む際に、トラクタショベルに取り付けた重量測定装置で計量したものである。

2）積込量とは中間保管・梱包施設でダンプトラックに積込時にトラックスケールで計量したもので、輸送量とは中間処理施設の受入ピットのトラックスケールで計量したものである。

3）仮置き土搬出量、積込量、輸送量とは、ロータリーキルン炉で高温熱処理するために搬出、積込、輸送した仮置き土の数値（量）である。

③直下土壌等　水洗浄処理搬出量、輸送量、処理量等

平成23年8月までの掘削現場からの搬出量、積替施設からの輸送量、水洗浄処理量、溶融処理対象となった量、非汚染土壌量、掘削対象外土壌量の実績は、下表のとおりである。

表 3　　（単位:t）

区分			平成23年度													累計 平成23年8月末まで
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	
処理計画量			0	0	0	0	1,700	3,400	4,250	3,400	4,250	4,250	3,400	4,250	1,700	1,700
実績	水洗浄処理対象土壌	掘削現場からの搬出量	0	0	0	0	0								0	0
		輸　送　量	0	0	0	0	0								0	0
		水洗浄処理済量	0	0	0	0	0								0	0
	焼却・溶融処理対象土壌量		0	0	0	0	0								0	0
	掘削対象外土壌	非汚染土壌量	0	0	0	0	0								0	0
		地下水浄化対象土壌量	0	0	0	0	0								0	0

1）掘削現場からの搬出量とは、積替え施設に搬入する際にトラックスケールで計量したものである。

2）輸送量とは、積替え施設から輸送船に積込む際にトラックスケールで計量したものである。

3）水洗浄処理量とは、水洗浄処理業者から洗浄処理完了の報告のあったものである。

4）溶融処理対象量とは、溶融処理を要するダイオキシン等が完了判定基準を超過した汚染土壌である。

5）非汚染土壌量とは、完了判定基準を満たした土壌である。

6）掘削対象外土壌は、完了判定の基準を満たした土壌量は非汚染土壌量に、また、地下水等の浄化対策で処理を要するVOCsが第二溶出量基準以下の汚染土壌は地下水浄化対象土壌量としている。これらの土壌量は公害等調整委員会の調査結果に基づき対象面積、深度、密度から推計。

④特殊前処理物の処理量

平成 23 年 8 月までの特殊前処理物処理施設における処理実績は、下表のとおりである。

表 4

（単位:t、本）

区分		平成15年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度												累計 平成23年8月末まで
		試運転 (4月～9月17日)	本格稼動後 (9月18日～3月)								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計
実績	岩石及びコンクリート(t)	9.00	62.75	199.91	74.80	20.60	16.32	80.48	103.51	104.06	94.54	0.00	10.93	46.90	17.69								170.06	841.49
	金属物(t)	1.16	0.00	18.73	6.61	2.98	1.11	12.33	3.75	8.40	1.15	0.63	0.92	0.32	0.00								3.02	58.09
	ケーブル屑)(t)								30.83	88.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								0.00	119.25
	ドラム缶(本)	2	142	102	105	59	0	142	11	56	16	0	6	6	7								35	654
	可燃物(t)	29.92	188.79	629.46	440.77	281.90	184.81	215.62	153.86	407.89	45.09	60.91	40.68	5.90	20.20								172.78	2,705.80

1)ケーブル屑は、平成20年度までは、溶融不要物としてキルン炉で処理。平成21年度以降は、処理特殊前処理物処理施設で洗浄後、金属リサイクル業者において有効利用。平成 21 年及び 22 年度の処理量は、特殊前処理物処理施設で洗浄完了した時点で計上しており、平成23年度以降は、処理委託の完了報告を受けた時点で計上している。

⑤副成物の有効利用量

平成23年8月までの副成物の発生量及び販売量など有効利用の実績は、下表のとおりである。

表 5　　（単位:t）

区分			平成15年度 試運転(4月～9月17日)	平成15年度 本格稼動後(9月18日～3月)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	累計 平成23年8月末まで
実績	鉄	発生量	10.0	6.2	305.7	323.2	345.5	321.3	368.4	546.1	672.8	51.4	74.7	59.4	39.5	64.7								289.7	3,188.9
		販売量	9.8	0.0	312.1	296.8	333.8	353.3	366.5	383.7	517.6	0.0	0.0	130.7	22.9	45.9								199.5	2,773.1
	銅	発生量	161.9	111.1	404.8	450.4	625.7	518.6	492.2	608.6	790.2	68.6	75.9	46.7	47.4	69.8								308.4	4,471.9
		販売量	161.9	0.0	505.8	457.3	628.9	507.3	502.3	598.7	741.6	0.0	0.0	0.0	229.2	0.0								229.2	4,333.0
	アルミ	発生量	31.0	57.1	48.3	58.1	58.1	215.1	232.3	409.2	291.4	10.6	13.3	14.1	31.2	67.6								136.8	1,537.4
		再選別除去量	0.0	0.0	0.0	0.0	158.5	107.7	38.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	304.4
		販売量	30.5	0.0	0.0	0.0	15.6	0.0	43.2	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	118.2
	溶融飛灰	発生量	587.0	593.0	2,404.0	2,354.7	1,888.1	2,038.0	2,119.5	2,413.9	2,862.5	232.3	264.4	188.8	160.6	219.7								1,065.8	18,326.5
		処理量	587.0	593.0	2,404.0	2,354.7	1,888.1	2,038.0	2,119.5	2,413.9	2,862.5	232.3	264.4	188.8	160.6	219.7								1,065.8	18,326.5
	溶融スラグ	発生量	1,942.5	9,152.0	32,398.5	34,705.8	32,114.4	31,428.2	30,751.4	34,851.1	33,842.6	3,209.1	3,413.9	2,417.8	2,365.8	3,369.4								14,776.0	255,962.5
		用途 無筋構造物用生コン	0.0	0.0	13,852.8	30,913.3	33,326.5	24,547.9	26,565.5	27,721.4	26,393.3	1,506.5	1,211.2	1,372.0	1,479.0	1,474.5								7,043.2	190,363.9
		用途 コンクリート二次製品	0.0	0.0	2,391.9	1,159.8	4,337.7	2,462.4	2,976.2	3,555.5	2,794.4	300.7	210.2	158.3	188.5	138.5								996.2	20,674.1
		合計販売量	0.0	0.0	16,244.7	32,073.1	37,664.2	27,010.3	29,541.7	31,276.9	29,187.7	1,807.2	1,421.4	1,530.3	1,667.5	1,613.0								8,039.4	211,038.0
	粗大スラグ（粗大スラグの販売量は、溶融スラグの販売量に含まれる。）	発生量	－	－	－	－	1,068.6	2,322.9	5,977.5	6,590.8	5,471.9	441.3	506.5	373.4	690.8	788.7								2,800.7	24,232.4
		販売量	－	－	－	－	(1,068.6)	(2,272.9)	(4,654.7)	(4,664.2)	(3,845.1)	(286.1)	(418.7)	(326.3)	(690.8)	(788.7)								(2,510.6)	(19,016.1)
		処理量	－	－	－	－	－	－	－	1,993.1	2,771.0	0.0	279.6	35.1	0.0	0.0								314.7	5,078.8
	シルト状スラグ	発生量	－	－	－	－	159.1	1,400.0	3,073.9	4,552.4	5,093.3	523.3	448.7	292.3	265.4	304.0								1,833.7	16,112.4
		処理量	－	－	－	－	0.0	1,400.1	2,467.3	4,343.3	4,698.1	437.8	414.3	474.4	388.7	376.4								2,091.6	15,000.4
	清掃ダスト	発生量	－	－	－	－	88.2	79.5	175.4	82.0	95.6	0.0	0.0	31.7	0.0	0.0								31.7	552.4
		処理量	－	－	－	－	0.0	167.7	96.8	126.7	129.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	520.7
	仮置土	発生量	－	－	－	－	－	－	621.0	2,690.0	4,410.4	222.0	488.0	195.3	157.1	388.3								1,450.7	9,172.1
		処理量	－	－	－	－	－	－	－	2,961.9	4,590.5	0.0	808.0	0.0	0.0	0.0								808.0	8,360.4

1）鉄、銅、アルミは一般競争入札により販売。アルミの再選別除去量とは、１次発生したアルミの純度を上げるために、バッチ処理によりアルミと鉄とスラグに再選別し、除去した鉄とスラグの総量である。なお、再選別した鉄はそのまま副成物（鉄）として取扱い、スラグは再溶融処理した。

2）溶融スラグは、上記販売量のほか、試験研究のために２，８５８．８トン（試運転～平成２３年８月）使用した。

3）粗大スラグ、シルト状スラグ、清掃ダストの発生量・販売量・処理量は、処理量対策として再溶融を止め、有効利用を開始した以降の数値を記載している。

4）粗大スラグは平成１８年１０月から有効利用しており、その販売量は溶融スラグの合計販売量の（内数）である。なお、第１５回管理委員会で報告したとおり、平成２０年９月以降、粗大スラグの混合比を発生量に対してその７５%、５０%、２５%混合したアルカリシリカ反応性試験を追加実施している。

5）粗大スラグの処理量とは、製砂スラグに混合できない粗大スラグを製錬珪砂代替品(平成21年度)やセメントの原料(平成２２年度)として有効利用した量である。

6）仮置土の処理量とは、ロータリーキルン炉により高温熱処理した仮置土をセメントの原料として有効利用した量である。

7）不溶化ダストは平成１９年１０月から溶融飛灰と一緒に処理しており、その発生量・処理量とも溶融飛灰に含まれる。

⑥高度排水処理施設の処理量

平成 23 年 8 月までの高度排水処理施設の処理実績は、下表のとおりである。

表 6

（単位：m³）

区分		平成15年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度													累計 平成23年8月末まで
		試運転（4月～9月17日）	本格稼動後（9月18日～3月）								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	
計画量		10,075	14,910	22,490	22,945	22,165	22,360	22,360	20,345	21,905	1,950	1,755	1,950	2,015	2,015	1,950	2,015	1,690	1,820	1,040	1,885	2,015	9,685	189,240
実績	処理量	9,660	13,089	22,807	23,074	24,105	23,979	23,073	23,878	23,623	2,086	2,123	2,037	2,215	2,217								10,678	197,966
	海域への放流量	9,515	12,426	20,858	20,054	22,676	21,563	20,406	20,509	20,430	2,051	2,063	1,993	2,185	2,061								10,353	178,790
	散水等への利用量	145	663	1,949	3,020	1,429	2,416	2,667	3,369	3,193	35	60	44	30	156								325	19,176

1）散水等への利用量とは、処理水を場内の粉塵抑制のための散水や特殊前処理物の洗浄用水としての利用量をいう。

2. モニタリング等の実施状況

平成 23 年 9 月 17 日までのモニタリング等の計画及び実績は、下表のとおりである。

表 7

項目				平成23年度																								備考
				4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
豊島	環境計測	沈砂池1	放流口水質				○		○		○		○															放流の都度実施。年１回全項目（８月実施済み）
		沈砂池2	放流口水質			○				○						○						○						年１回全項目
		高度排水処理施設	排水口水質													○												
		掘削・運搬	敷地境界 大気汚染													○												気象については、必要に応じて適宜実施
			敷地境界 騒音													○												
			敷地境界 振動													○												
			敷地境界 悪臭													○												
			地下水	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	●	○		◎		○		○		◎		○		○は水位測定、◎は合わせて水質分析も実施
	周辺環境モニタリング		水質汚濁			○			○			○	●					○				○						水質は年4回、底質は年1回（夏季）
			生態系																									必要に応じて実施
	作業環境測定	掘削・運搬	常時監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○		○		○		○		○		
			定期監視			◎	◎			○	○			○	●			◎				○				○		○はダイオキシン類、粉塵、◎は合わせて重金属等も実施
			個人暴露量			○	○			○	○			○	●			○				○				○		
			騒音																									必要に応じて実施
		中間保管・梱包施設	常時監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○		○		○		○		○		
			騒音	○	○											○												
		高度排水処理施設	常時監視																			○						定期点検時（年1回程度）
直島	環境計測	中間処理施設	敷地境界 大気汚染									○	●															
			煙突 （ばいじん）			○	○			○	●	○	●			○						○		○				
			煙突 （CO）	←								連続測定															→	
			煙突 （ダイオキシン類）							$○_1$	$●_1$	$○_2$	$●_2$									$○_1$		$○_2$				1:1号炉煙突、2:2号炉煙突
			水質汚濁												●													大雨が長く続き、雨水を海域へ排出する場合（年1回）
			敷地境界 騒音、振動、悪臭																									必要に応じて実施
	周辺環境モニタリング		最大着地点 大気汚染									○	●															環境計測の敷地境界（最大着地点）と兼ねる
			排水口 水質・底質									○	●															
			最大着地点 土壌																									数年（3年を目安）に1回、前回は22年度
	作業環境測定	中間処理施設	常時監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○		○		○		○		○		
			定期監視					○	○											○								
			常時監視 （排水処理施設）								○											○							定期点検時（年1回程度）
			騒音									○	○											○				
輸送	周辺環境モニタリング		海域 水質汚濁									○	●															水質、底質それぞれ、年1回

実績欄凡例
○：分析済
●：分析中
△：異常時の対応として実施、分析済
▲：異常時の対応として実施、分析中
×：未実施

3. 薬品、ユーティリティの使用量等

平成 23 年 8 月までの薬品、ユーティリティの使用実績は、下表のとおりである。

表 8−1 薬品、ユーティリティ使用実績

		平成15年度 本格稼動後(9月18日～3月)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	累計 平成23年8月末まで
掘削・運搬	生石灰(kg)	300,000	1,005,000	885,000	795,000	785,000	1,380,000	1,820,000	1,670,000	125,000	155,000	160,000	110,000	105,000								655,000	9,295,000
	炭酸カルシウム(kg)	930,000	4,200,000	3,720,000	4,095,000	4,695,000	3,123,000	3,060,000	1,700,000	290,000	335,000	210,000	255,000	455,000								1,545,000	27,068,000
中間処理	炭酸カルシウム(kg)	722,933	3,203,644	3,329,034	2,909,340	3,939,552	2,828,038	4,282,999	4,822,952	569,314	613,200	326,052	215,650	536,438								2,260,654	28,299,146
	消石灰(kg)	247,587	880,309	600,619	543,626	555,081	886,134	1,117,691	1,029,852	89,497	99,978	76,380	75,852	99,256								440,963	6,301,862
	活性炭(kg)	237	2,021	8,776	16,299	25,657	28,982	15,829	15,831	1,371	1,536	1,177	1,206	1,547								6,837	120,469
	PAC(kg)	21,508	79,570	85,710	126,550	100,870	134,230	143,100	166,750	17,080	17,450	7,590	7,550	13,100								62,770	921,058
	重油(kℓ)	2,789	9,520	11,934	13,177	9,924	11,950	12,335	11,694	1,018	1,023	835	875	1,030								4,781	88,104
	うち、溶融炉(kℓ)	2,730	9,056	11,540	12,831	9,473	11,507	11,474	10,731	949	932	765	808	945								4,399	83,741
	うち、キルン炉(kℓ)	59	464	394	346	451	443	861	963	69	91	70	67	85								382	4,363
	電力(MWh)	9,258	19,909	20,087	19,976	19,488	19,750	19,910	19,972	1,691	1,760	1,632	1,594	1,832								8,509	156,859
	上水(m3)	15,246	55,748	69,303	79,405	65,865	65,790	84,987	71,731	7,340	7,139	4,756	4,660	8,944								32,839	540,914
	純水(t)	16,528	63,164	68,996	65,869	66,120	73,256	65,155	73,835	5,385	5,367	4,381	5,307	5,515								25,955	518,878
	外部蒸気送り量(t)	15,083	59,192	64,522	61,586	58,954	64,505	60,452	64,627	5,197	5,228	4,284	5,238	5,421								25,368	474,289

1）生石灰、炭酸カルシウムなどの主な薬品や重油、電力などのユーティリティの原単位（廃棄物処理量1トン当たりの実績値）は、別紙に示している。
2）平成18年1月から、中間処理施設の排ガス中のダイオキシン類対策として活性炭の噴霧を行っているため、活性炭の使用量が急増している。
3）PACについては、自動計測器がなく、毎月購入し在庫を持たないことから、購入量を使用量として記載している。
4）H22.6.14～H22.8.7 の間、上水使用に係る積算流量計故障により、上水使用量（作業・稼動情報）が計測不能となっている。

表 8—2 薬品、ユーティリティ使用実績(下表の薬品については、年間に数回しか使用していないため、購入量を使用量とみなしている。)

		平成15年度 本格稼動後 (9月18日 ～3月)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (4月～8月)	累計 平成23年8月末まで
中間処理	苛性ソーダ(kg)	80,790	261,260	180,820	80,530	60,320	80,360	60,200	41,180	20,120	865,580
	次亜塩素酸ソーダ(kg)	400	800	200	500	1,400	1,000	1,400	720	680	7,100
	高分子凝集剤(kg)	550	1,600	1,450	2,150	1,300	1,950	5,100	2,200	2,000	18,300
	ボイラー清缶剤(kg)	100	500	200	—	—	—	—	—	—	800
	下段は ＜原料名第3リン酸ソーダ＞	—	—	50	25	25	25	25	25	0	175
	ボイラー脱酸素剤(kg)	400	1,200	200	—	—	—	—	—	—	1,800
	下段は ＜原料名ヒドラジンヒドラード＞	—	—	80	160	280	280	240	360	40	1,440
	ボイラー滴水保缶剤(kg)	100	400	0	—	—	—	—	—	—	500
	下段は ＜原料名オキシノンM－608＞	—	—	—	112	128	128	192	224	64	848
	冷却水薬品 (プラント機器)(kg)	700	1,400	1,000	1,200	2,000	1,400	1,600	1,000	800	11,100
	冷却水薬品 (溶融炉)(kg)	1,400	4,400	3,200	3,200	1,300	1,200	1,000	400	600	16,700
	HCl試薬(ℓ)	300	150	—	—	—	—	—	—	—	450
	＜原料名フタル酸水素カリウム＞	—	—	10	20	20	0	0	0	0	50

1)ボイラー薬品三種とHCl試薬については、平成17年度から薬品の原料を購入(下段)し、希釈して使用している。

4. 見学者数について

平成 23 年 8 月までの豊島、直島それぞれの見学者の実績は、下表のとおりである。

表 9

（単位：人）

区分		平成15年度 本格稼動後（9月18日～3月）	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～8月小計	累計 平成23年8月末まで
実績	豊島側	3,514	5,489	3,240	2,605	1,922	1,876	1,806	1,561	139	170	136	210	122								777	22,790
	直島側	4,935	7,827	5,297	4,114	3,867	3,471	3,673	3,064	75	96	154	165	222								712	36,960
	合計	8,449	13,316	8,537	6,719	5,789	5,347	5,479	4,625	214	266	290	375	344								1,489	59,750

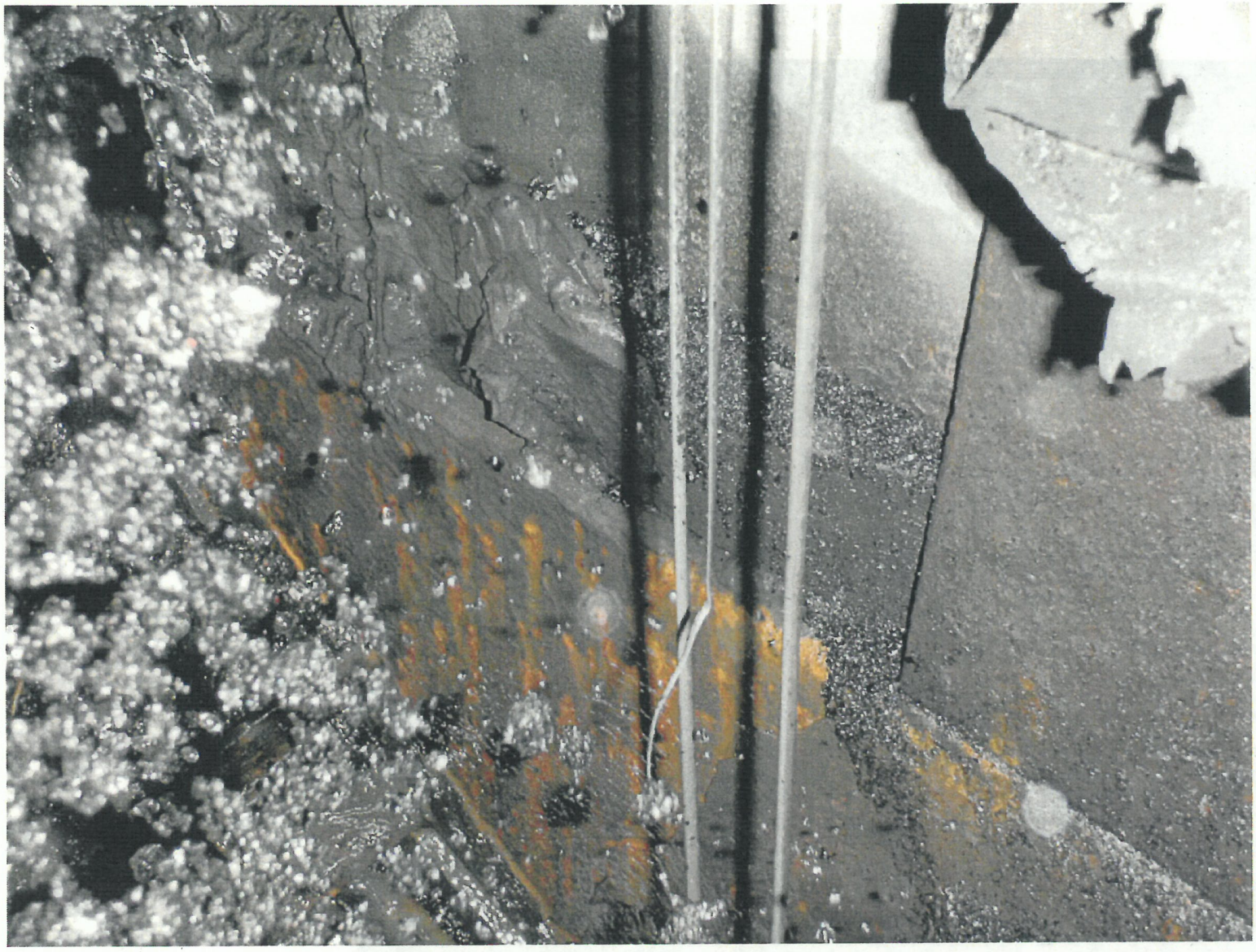
5. ひやり・ハット等の状況

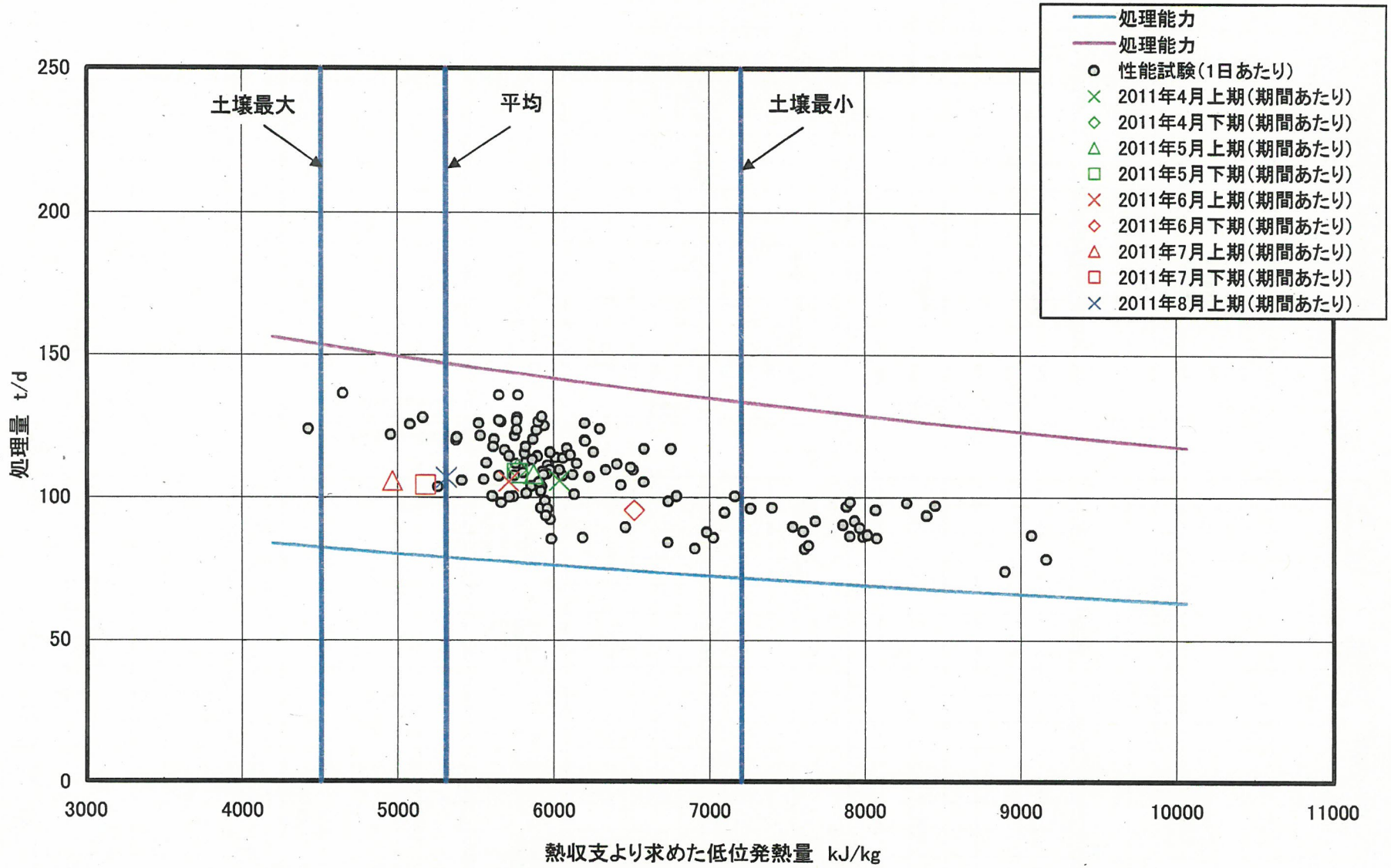
平成23年9月17日までのひやり・ハット等の報告は、下表のとおりである。(前回までの報告分を除く)

番号	日　時	発生場所等	区　分	内　容	再発防止の対応等
1	H23.4.25	直島中間処理施設	ひやり・ハット	スラグ破砕用処理水ポンプの圧力を点検しようとした際、側溝の蓋を踏むと蓋が傾いて足が側溝に落ちて挫きそうになった。 側溝の蓋が変形していたことが原因。	変形した側溝の蓋を撤去して、新しい傾かないつばのある蓋を設置した。 点検等の際に、同様の状況の蓋の有無を確認し、有った場合速やかに連絡するよう周知させた。
2	H23.7.12	中間保管・梱包	ひやり・ハット	中間保管・梱包施設内でコンテナダンプへの充填作業が終わり、洗車後に洗車室から出ようとした際、中間保管・梱包施設北側通路を東側から西方向へ工事請負業者の軽トラックが走り抜けたため、コンテナダンプと接触しそうになった。	充填作業中は中間保管・梱包施設北側通路を通行止めにする。また、洗車室から出る時は左右の確認を十分に行うよう作業員に周知徹底させた。 注意を要する同様の箇所を確認するとともに、関係事業者に安全確認の周知徹底をさせた。
3	H23.8.1	直島中間処理施設	ひやり・ハット	スラグ供給ホッパ出口シュートのライニングゴムの剥がれによりスラグの詰まりが発生したことから、ライニングゴムの手直し作業を行った。その際、スラグ詰まりを検知する電極棒の先端がスラグにより磨耗して尖っていたため、修繕し、立ち上がる際に、背中に刺さりそうになった。	磨耗で先端が尖った電極を交換した。 他の作業でも類似の箇所があれば、磨耗の状況を確認し、尖っているものは、事前に交換する、もしくは交換依頼を申し出るように周知させた。
4	H23.8.15	直島中間処理施設	ひやり・ハット	2号水破水循環ポンプのVベルトを点検しようとした際に、ポンプ南側の側溝に蓋がないことも、熱湯が溜まっていることも承知していたが、点検に注意等が集中し、足を踏み外しそうになり、側溝に溜まっている熱湯で火傷しそうになった。	既知の側溝の蓋がされていない箇所に新しく溝蓋（グレーチング）を設置した。 類似箇所を洗い出して蓋を設置する。

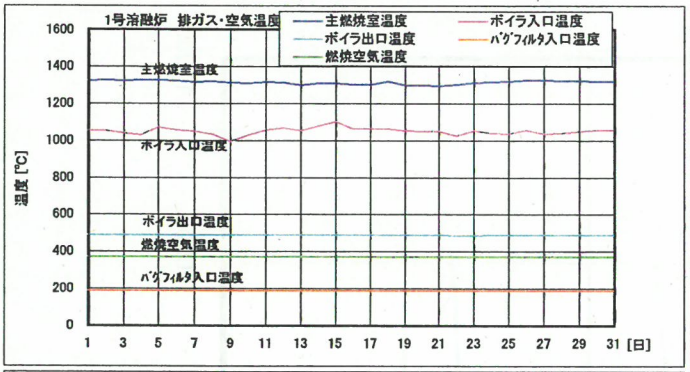
ひやり・ハット　NO.３写真
スラグシュート内部　作業イメージ

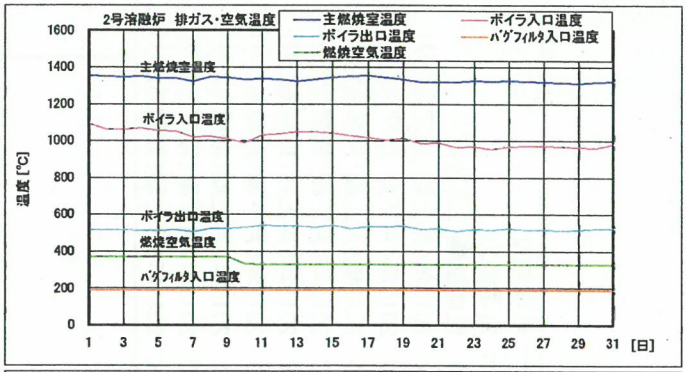
電極交換前(拡大)

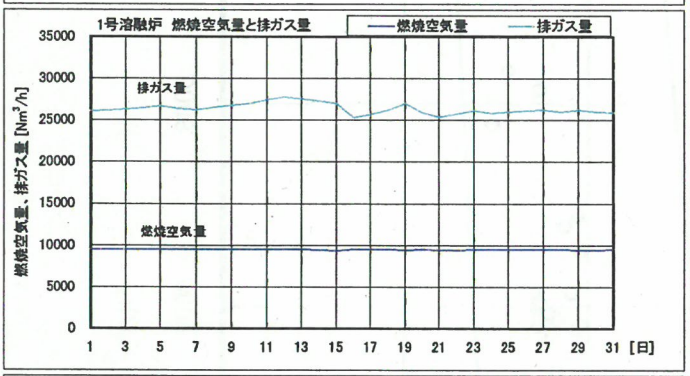


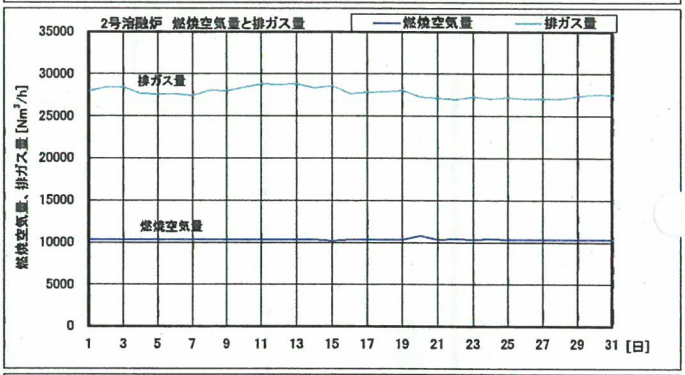

処理能力
処理能力
性能試験(1日あたり)
2011年4月上期(期間あたり)
2011年4月下期(期間あたり)
2011年5月上期(期間あたり)
2011年5月下期(期間あたり)
2011年6月上期(期間あたり)
2011年6月下期(期間あたり)
2011年7月上期(期間あたり)
2011年7月下期(期間あたり)
2011年8月上期(期間あたり)
土壌最大
平均
土壌最小
処理量 t/d
250
200
150
100
50
0
3000
4000
5000
6000
7000
8000
9000
10000
11000
熱収支より求めた低位発熱量 kJ/kg

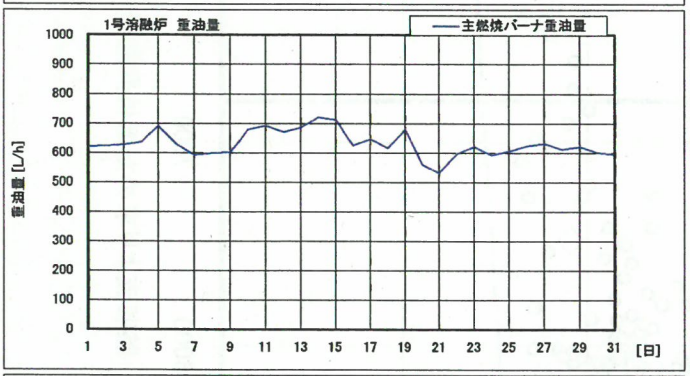
平成23年03月　溶融運転データ(1日単位)

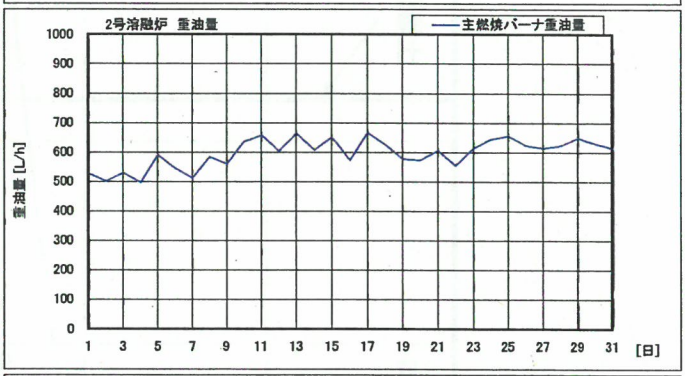


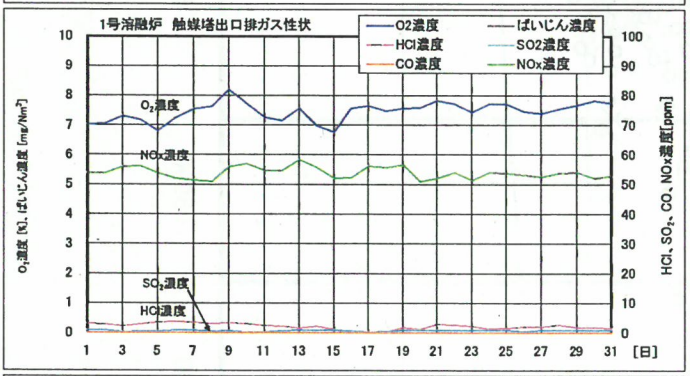


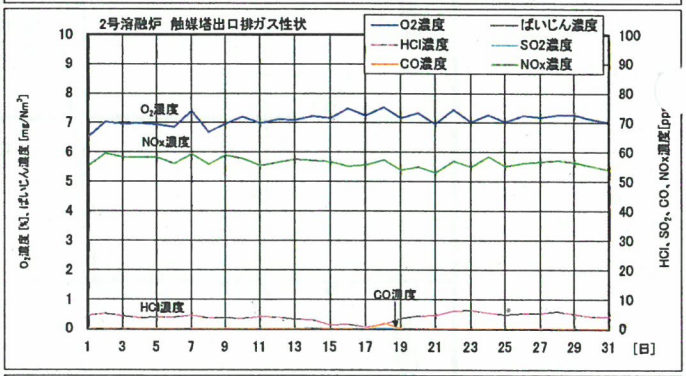


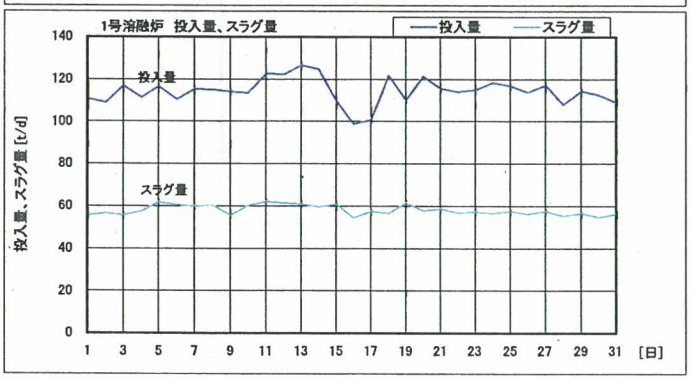


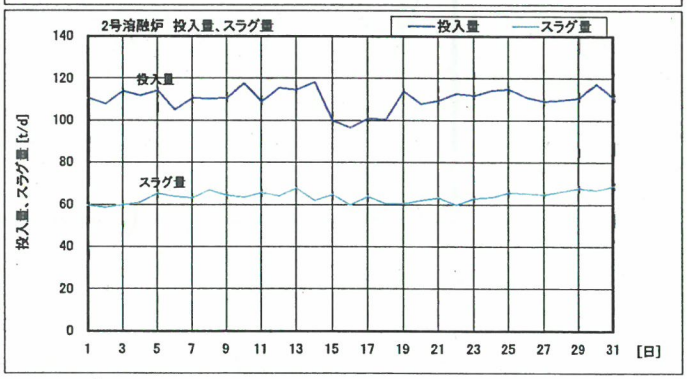




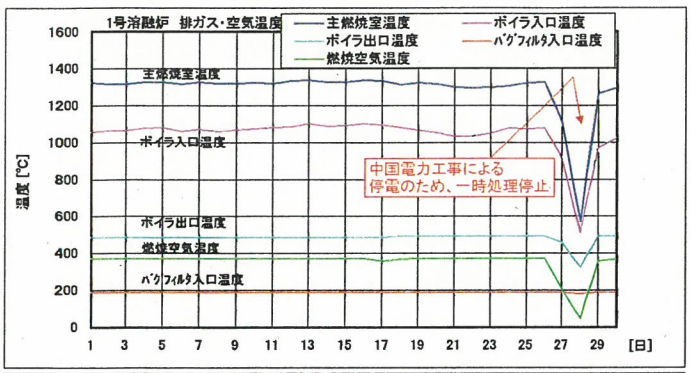


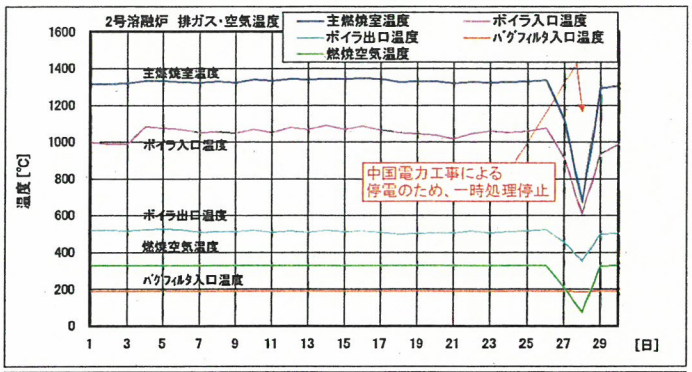


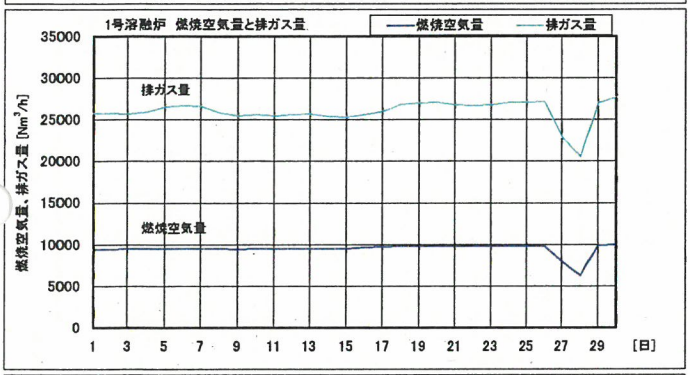


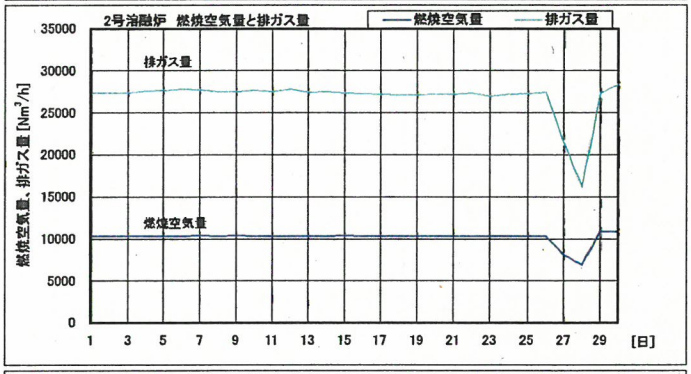


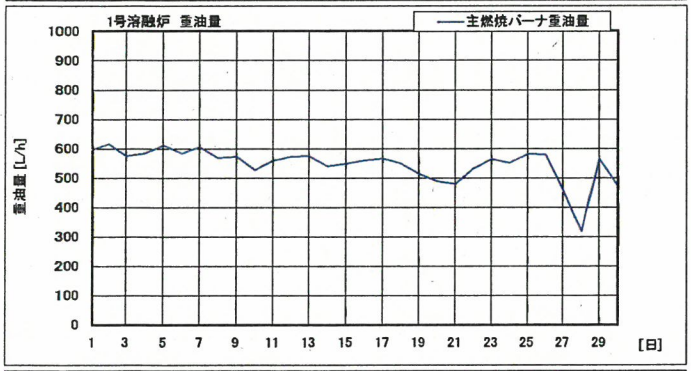
平成23年04月　溶融運転データ(1日単位)

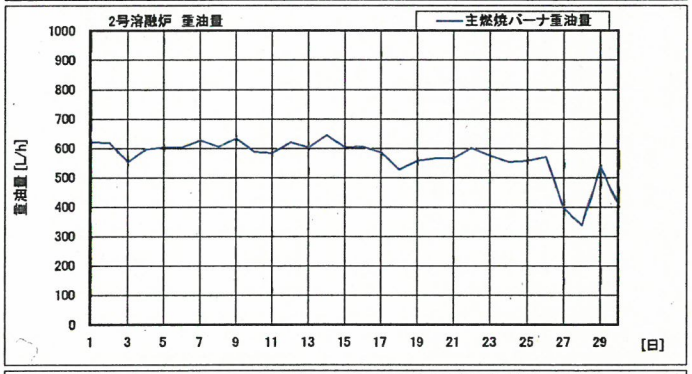


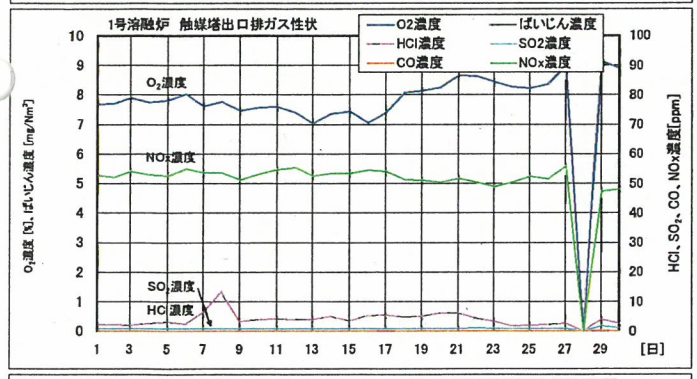


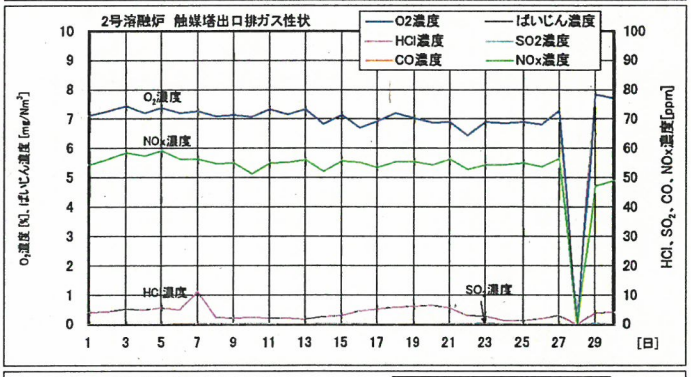


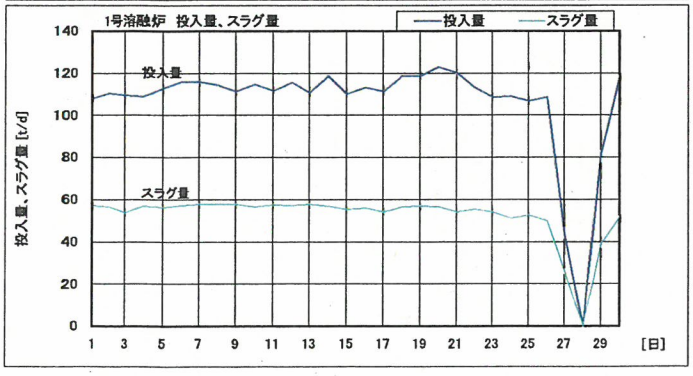


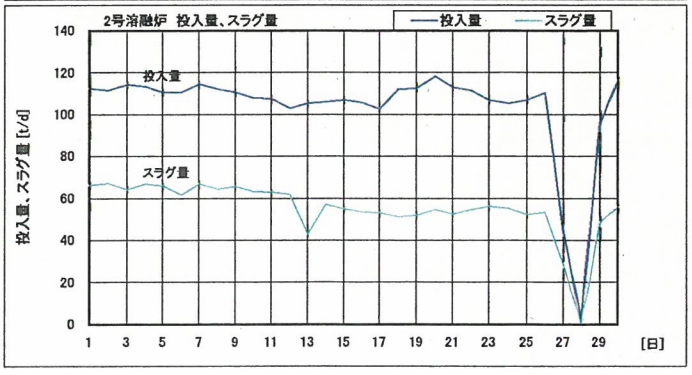




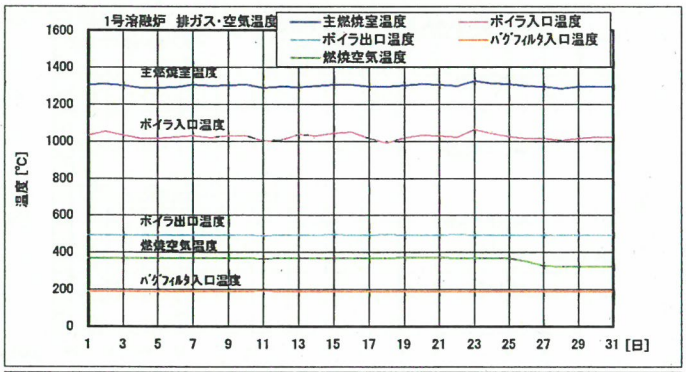


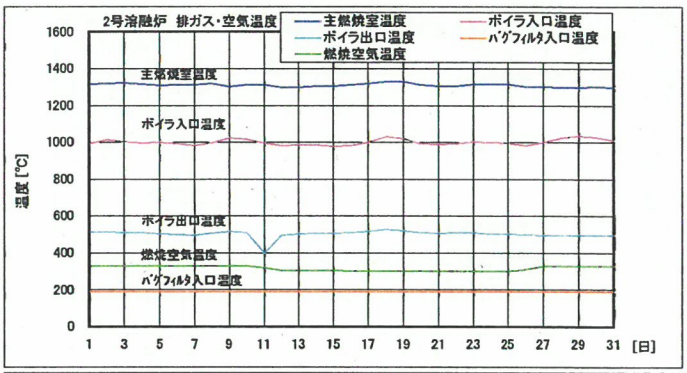


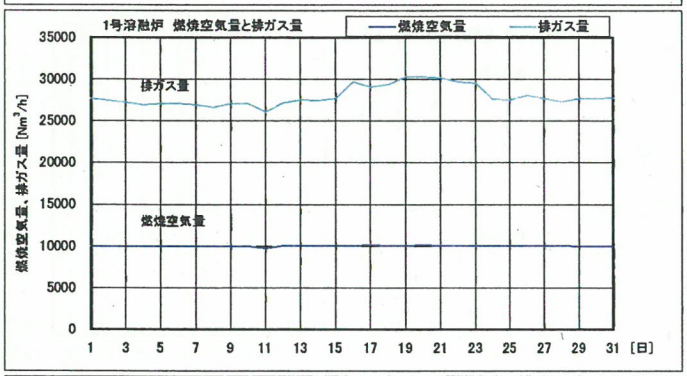


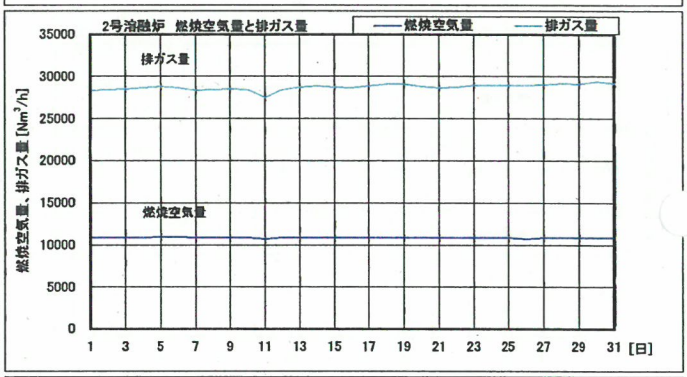


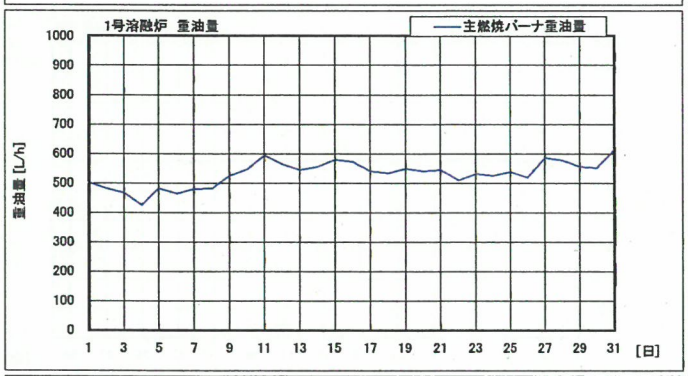
平成23年05月　溶融運転データ(1日単位)

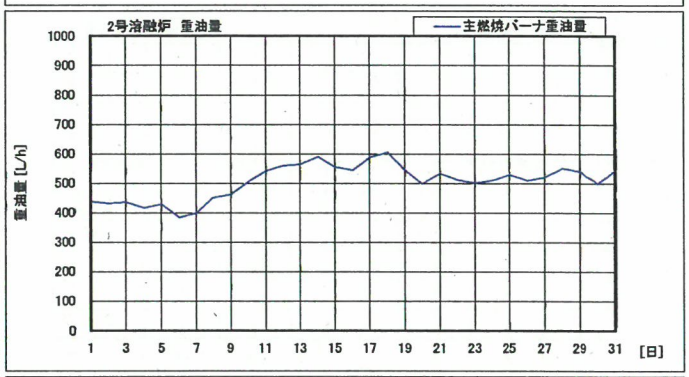


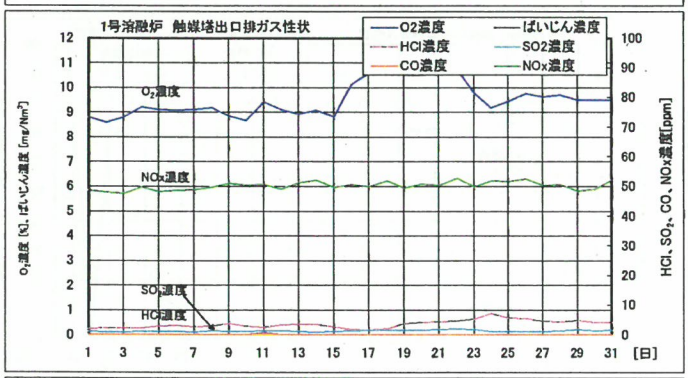


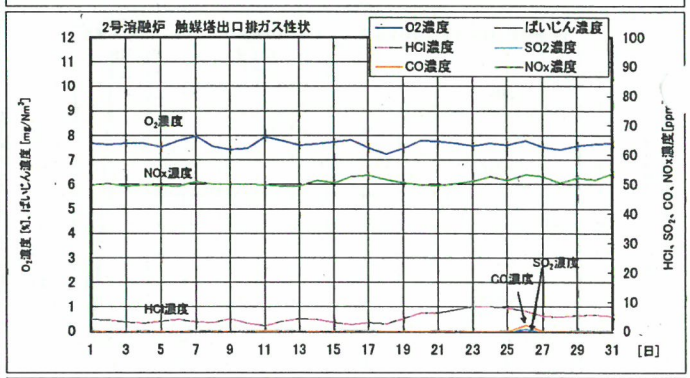


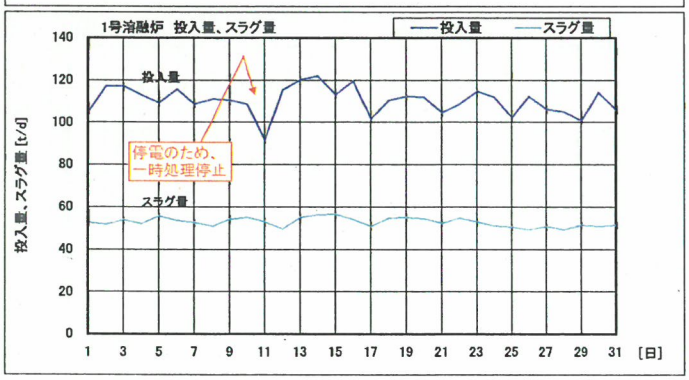


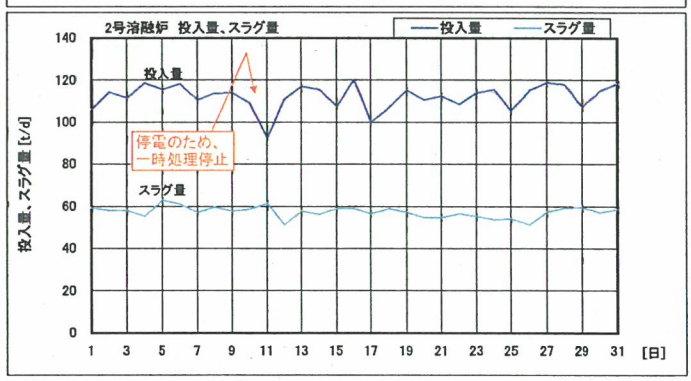




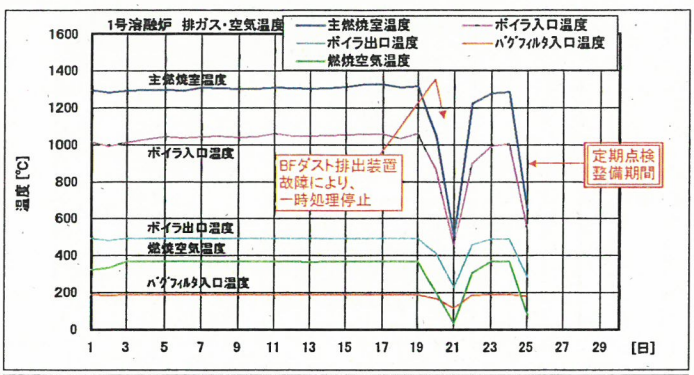


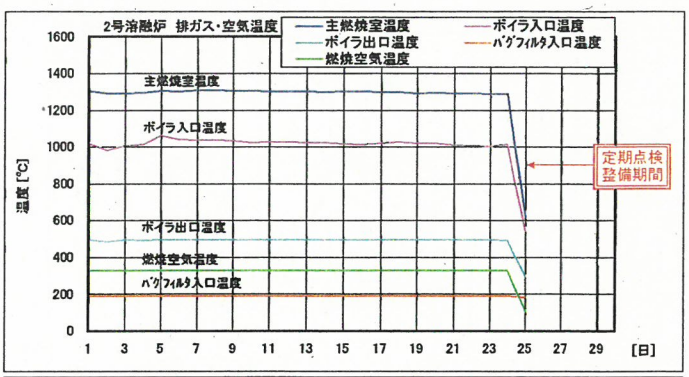


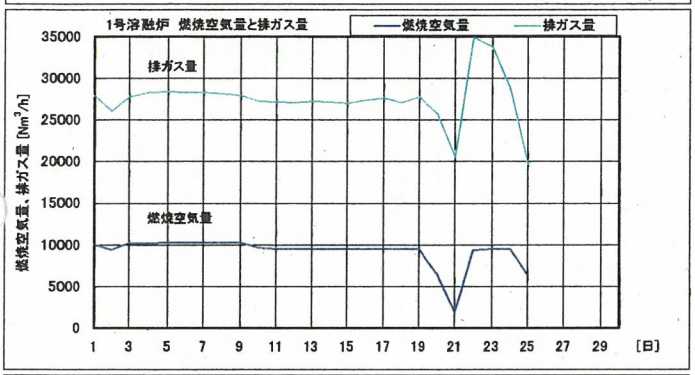


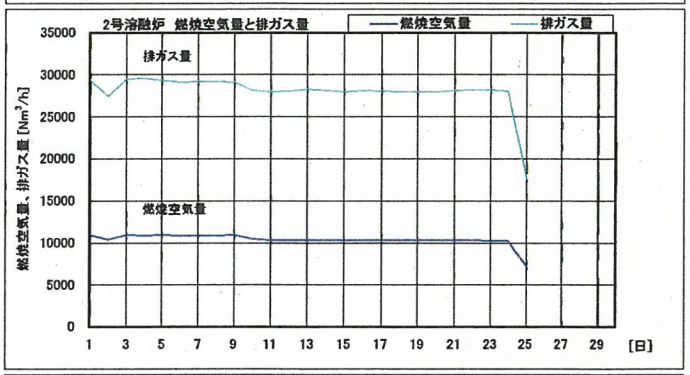


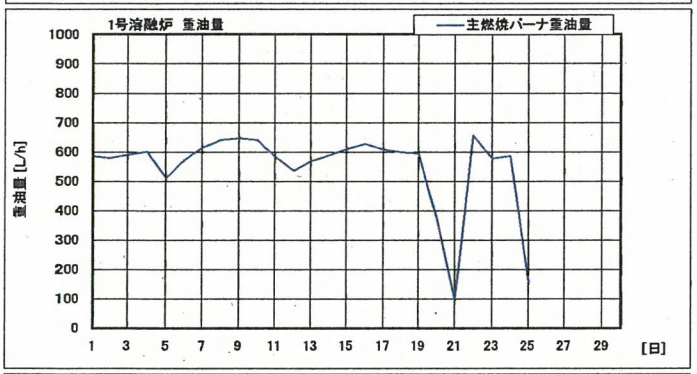
平成23年06月　溶融運転データ(1日単位)

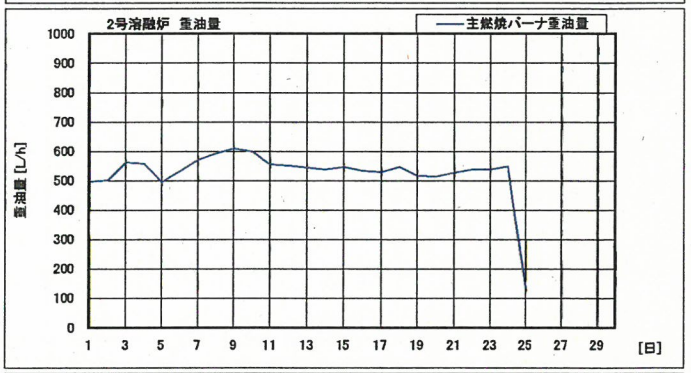


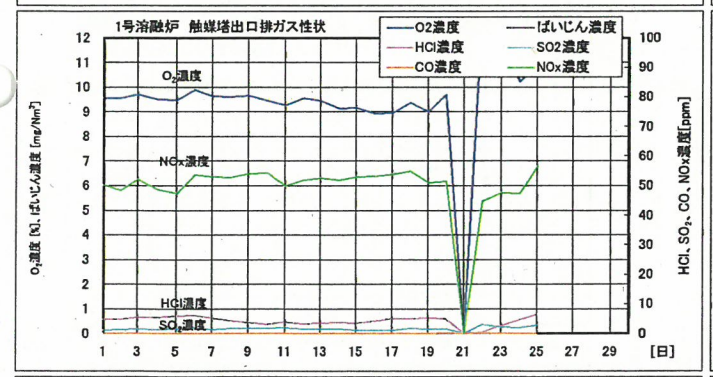


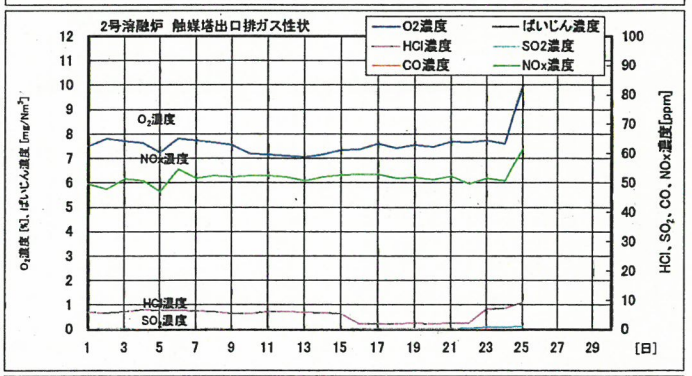


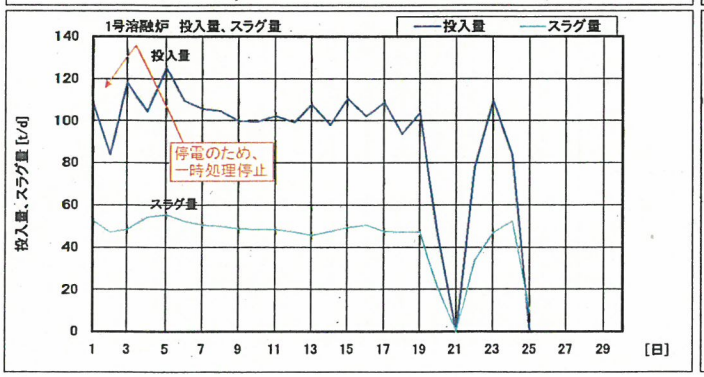


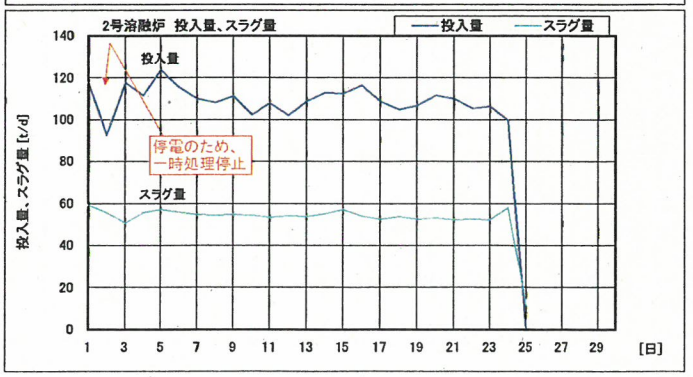




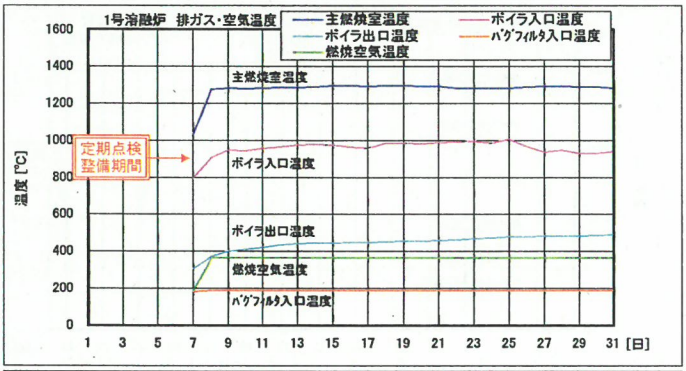


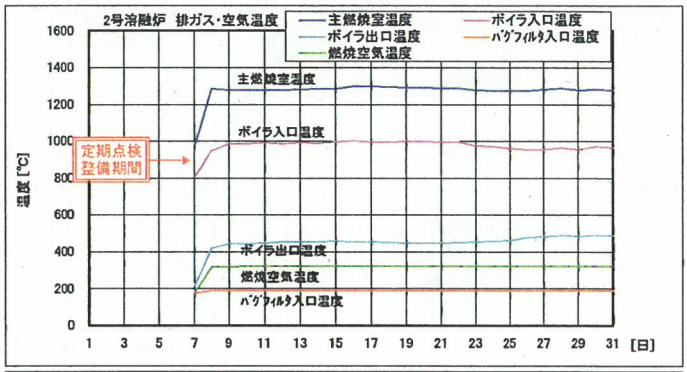


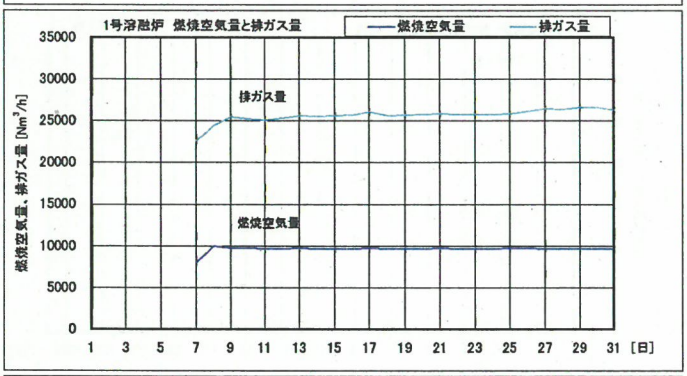


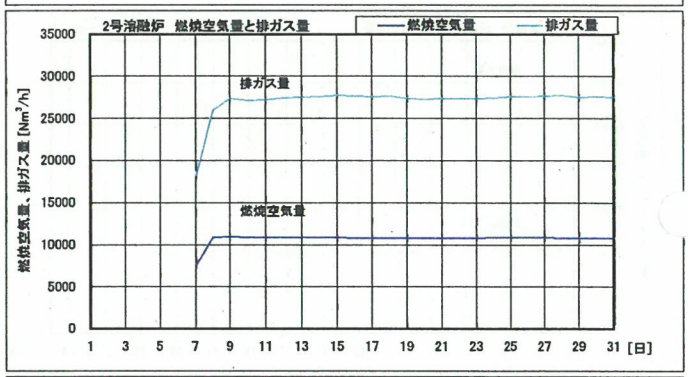


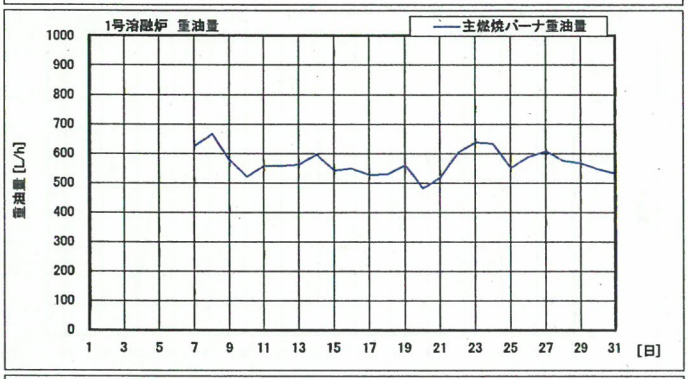
平成23年07月　溶融運転データ(1日単位)

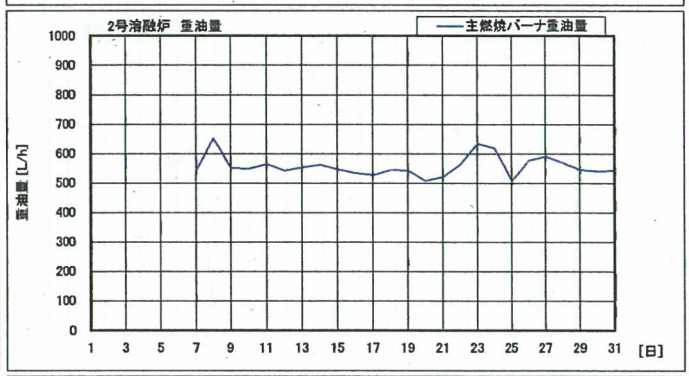


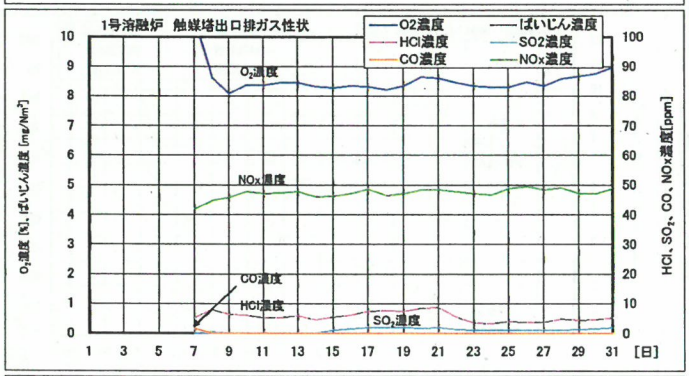


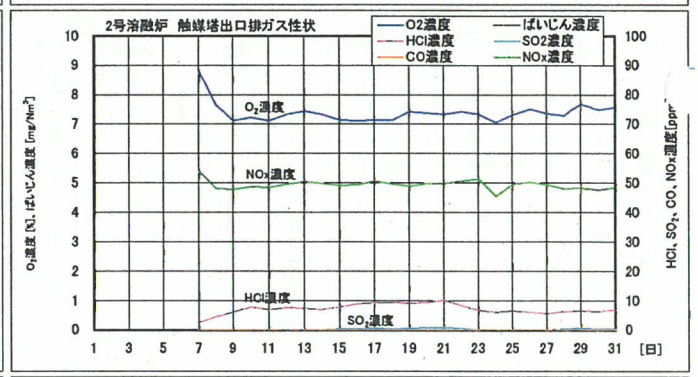


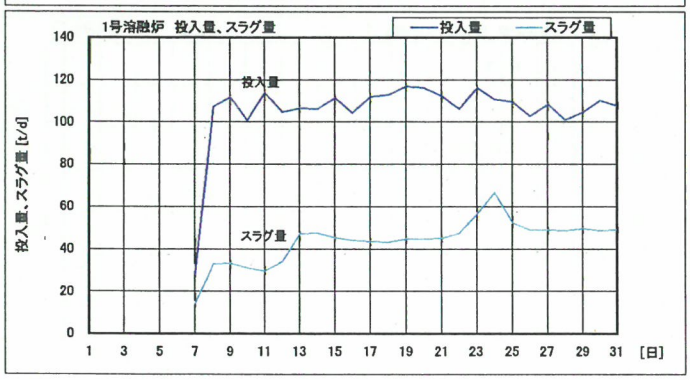


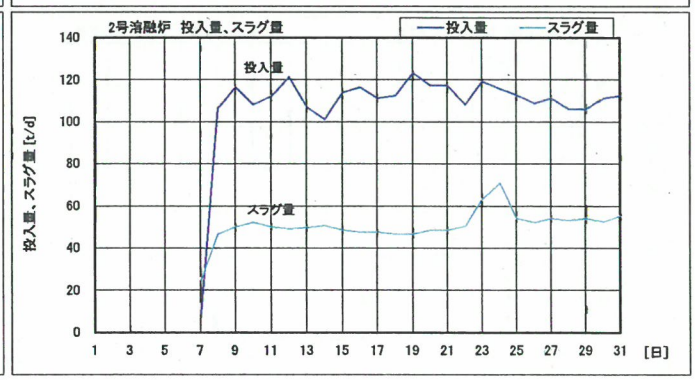




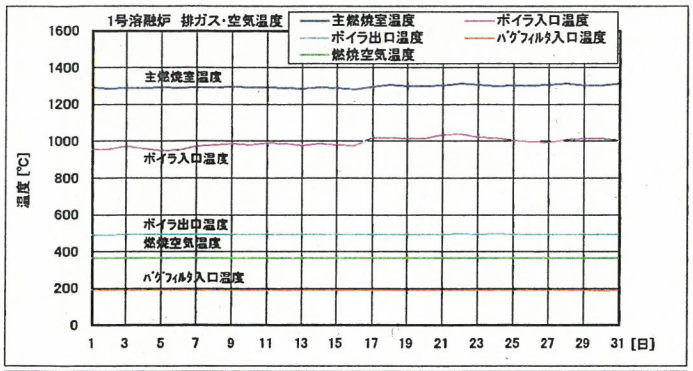


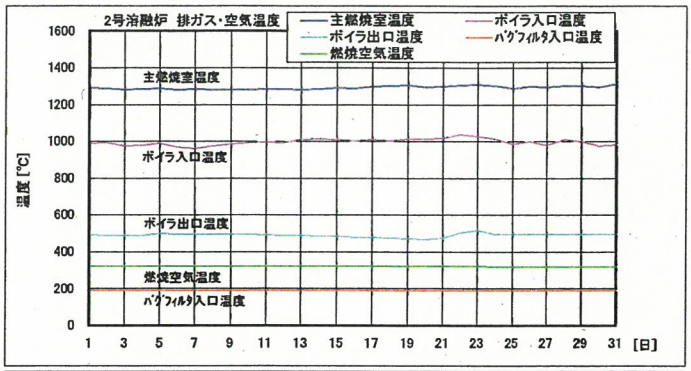


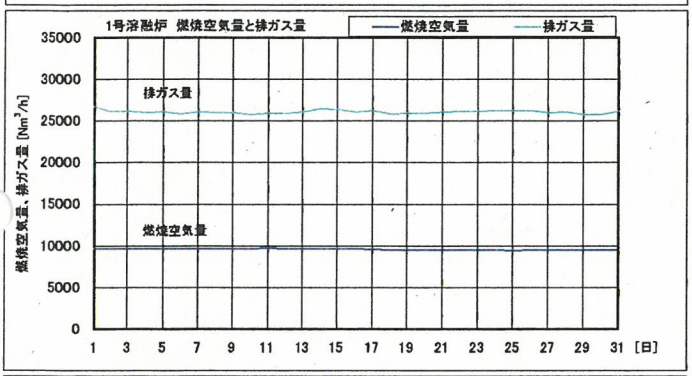


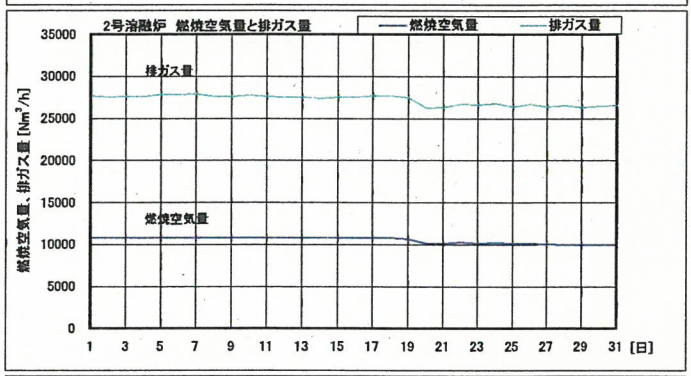


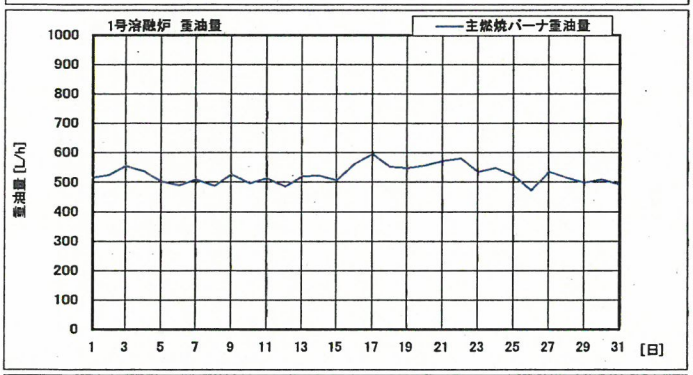
平成23年08月　溶融運転データ(1日単位)

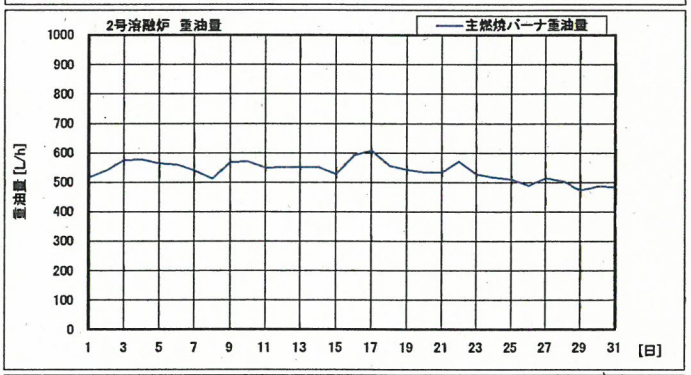


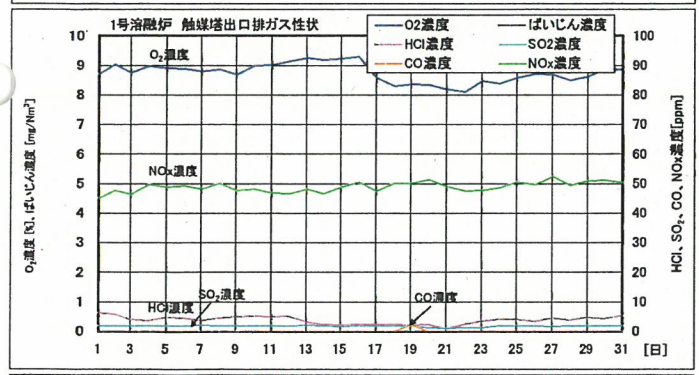


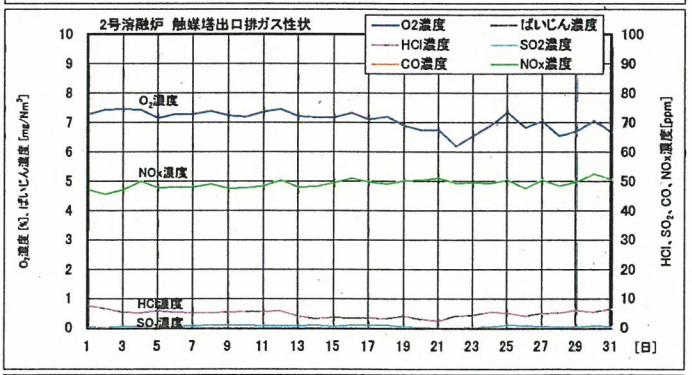


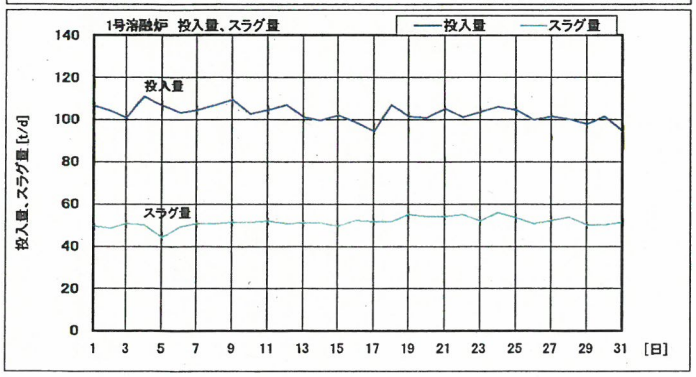


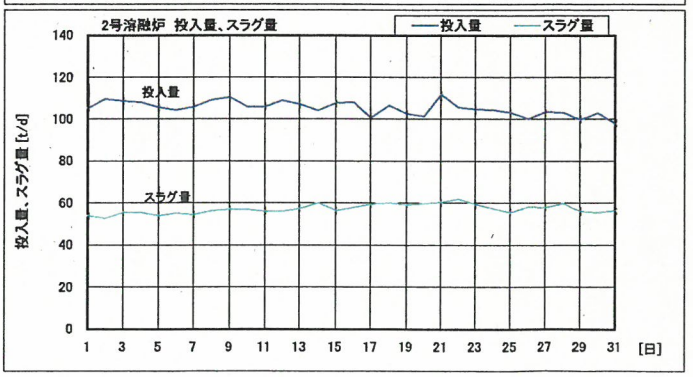




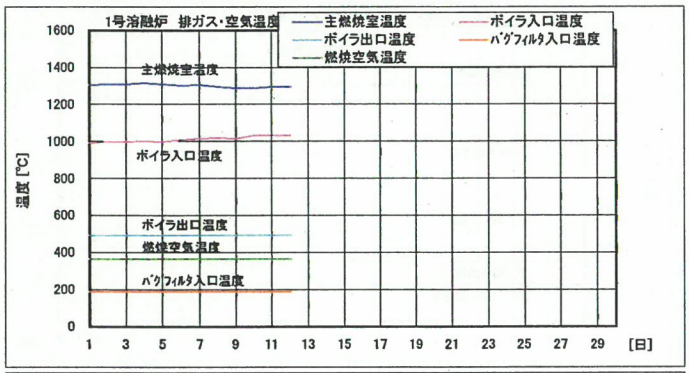


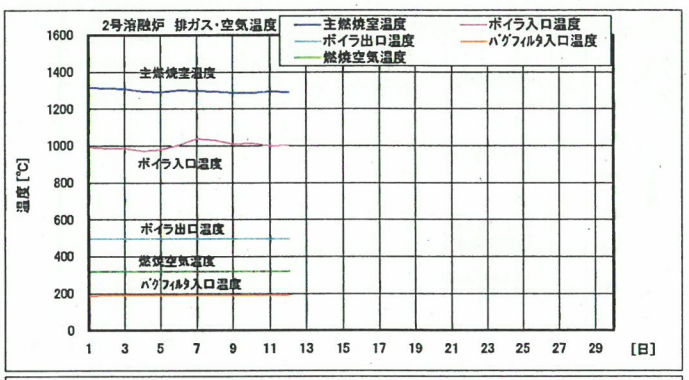


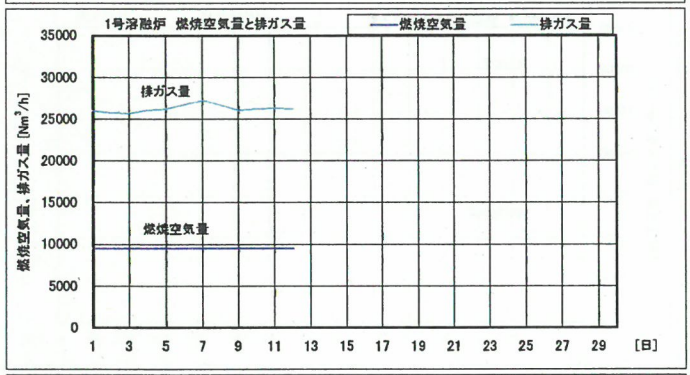


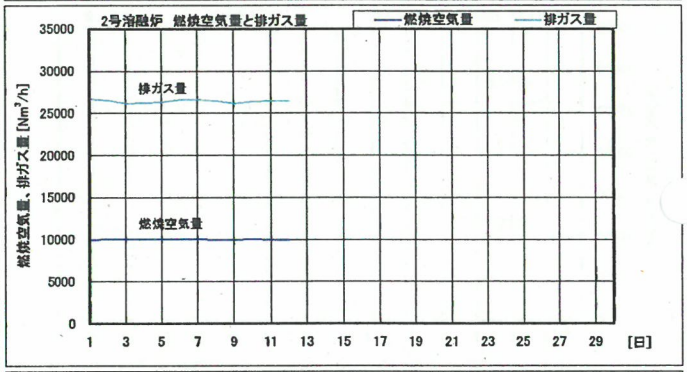


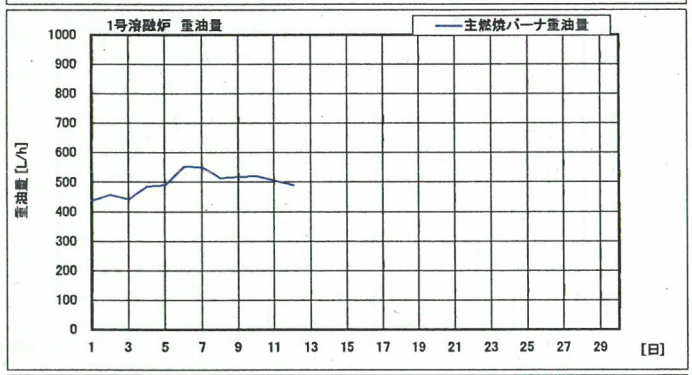
平成23年09月　溶融運転データ(1日単位)

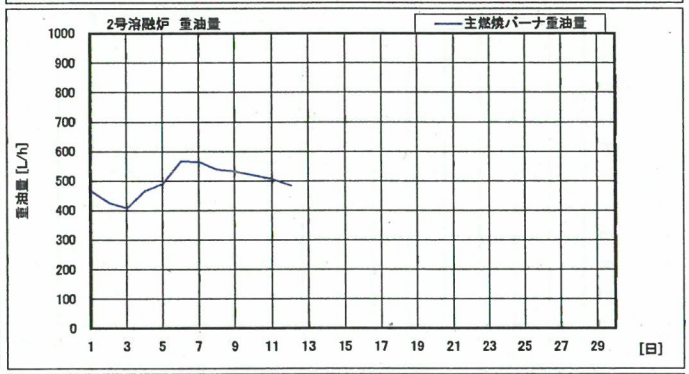


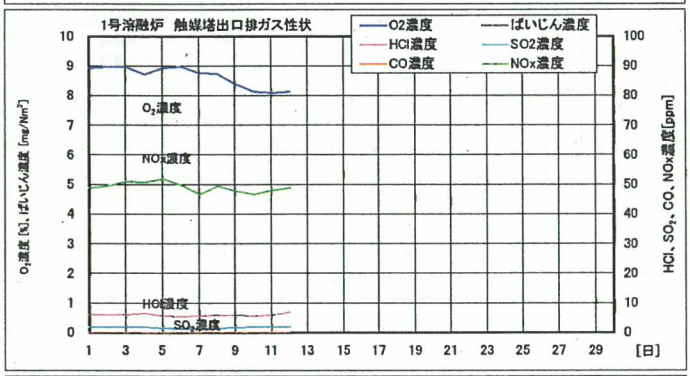


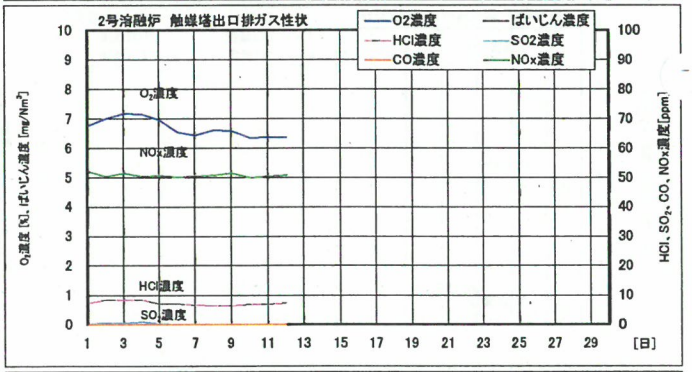


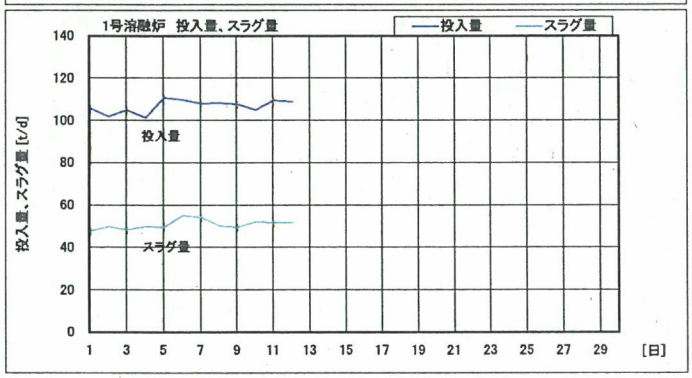


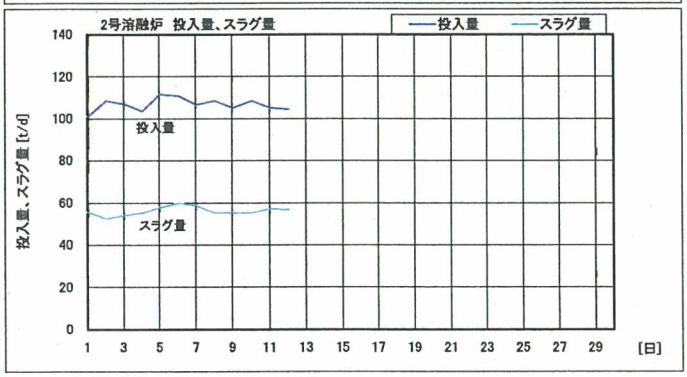




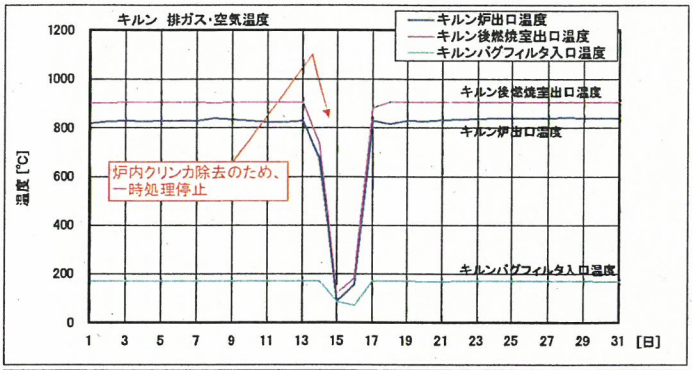


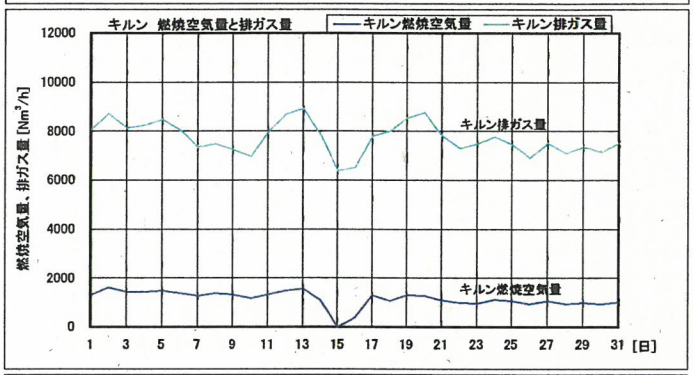


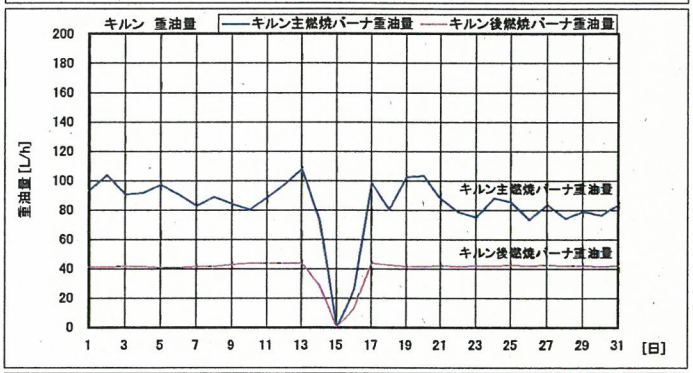


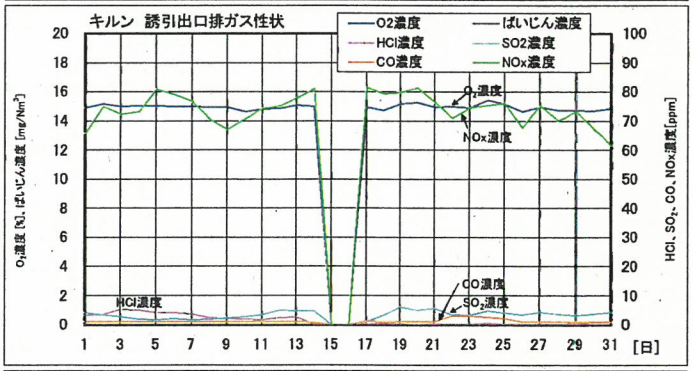


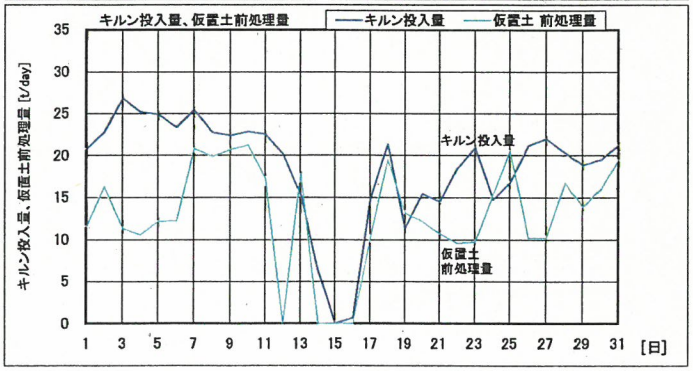
平成23年03月　キルン運転データ(1日単位)



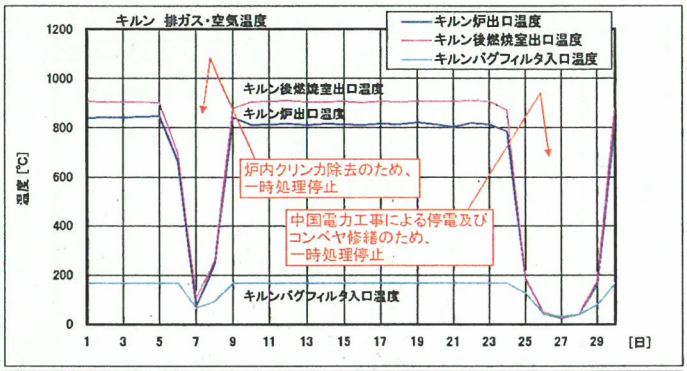


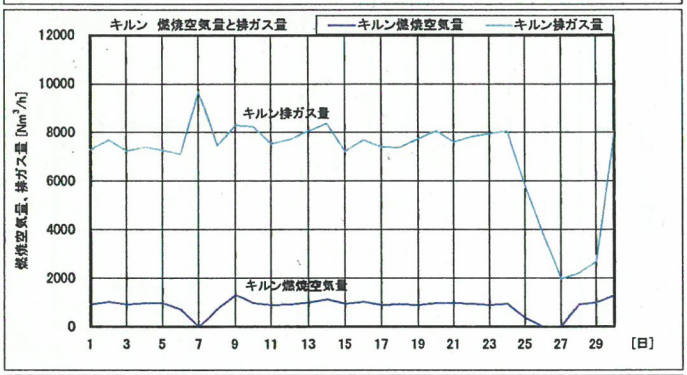


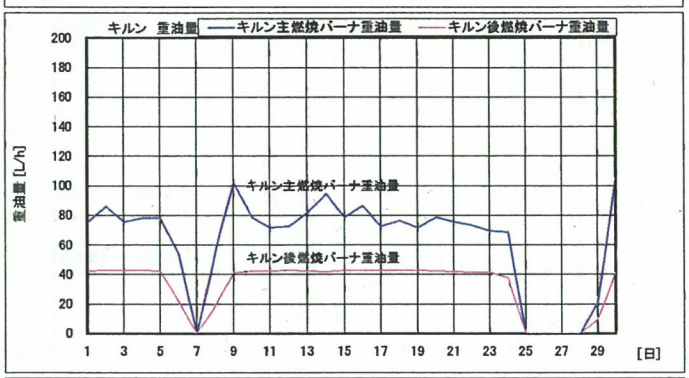


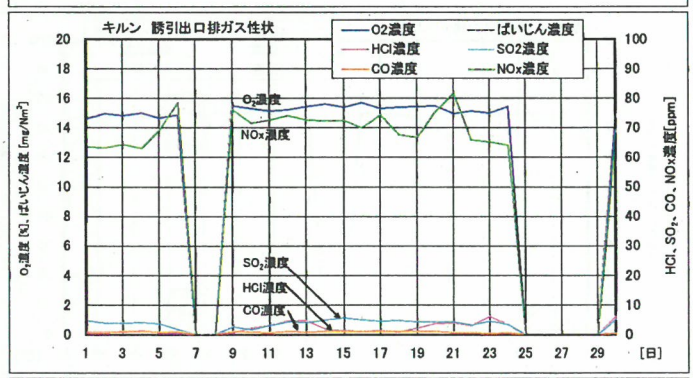


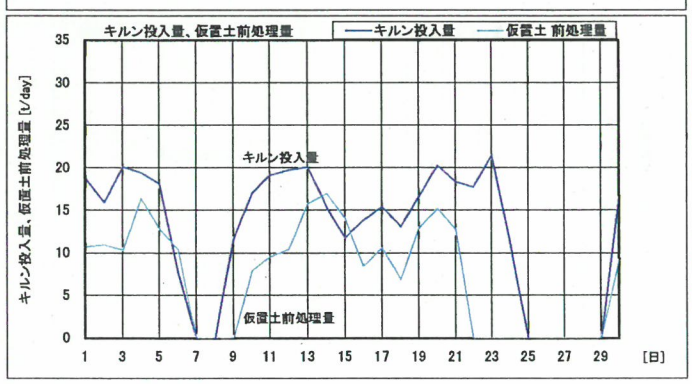
平成23年04月　キルン運転データ(1日単位)



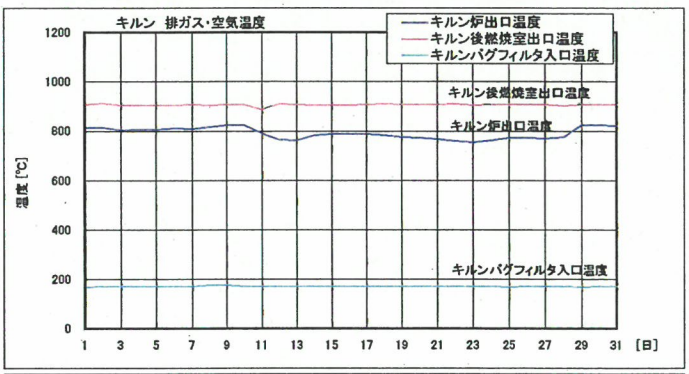


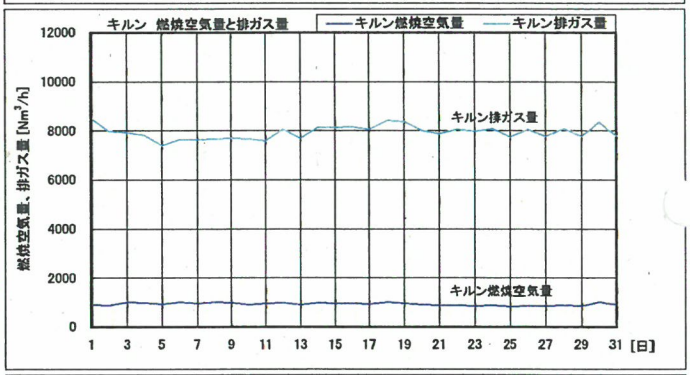


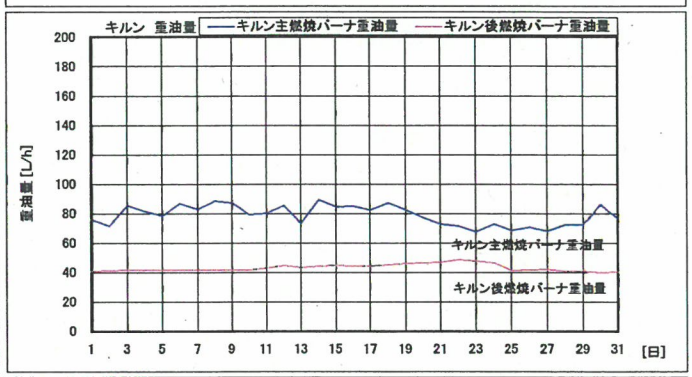


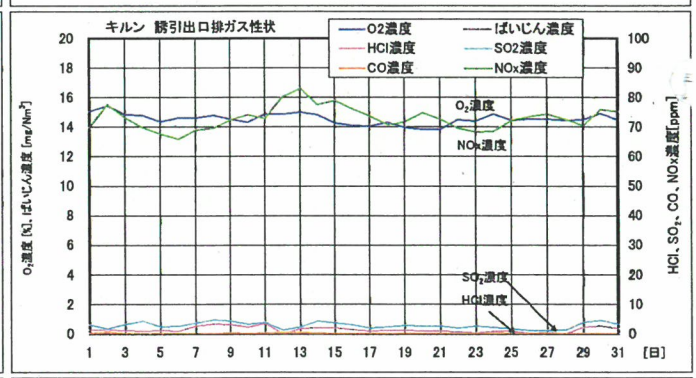


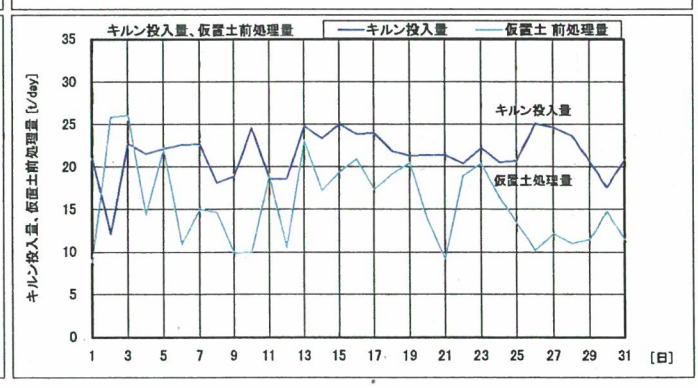
平成23年05月　キルン運転データ(1日単位)



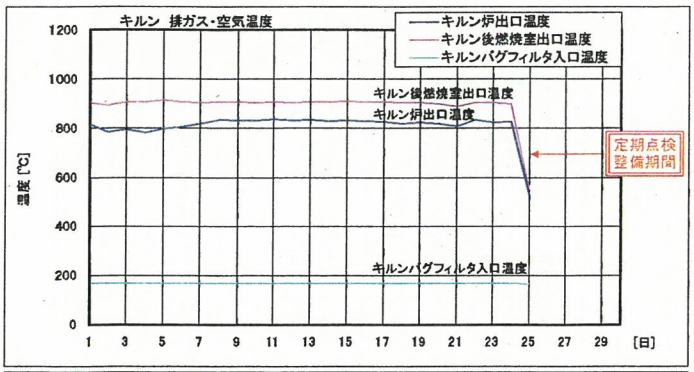


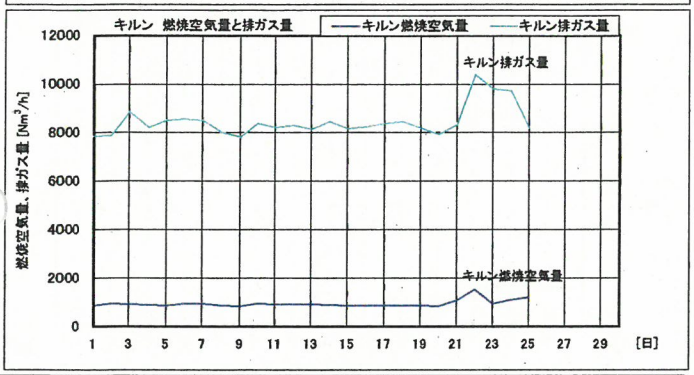


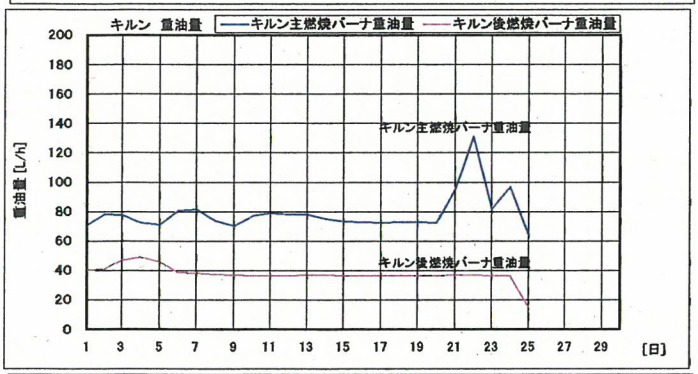


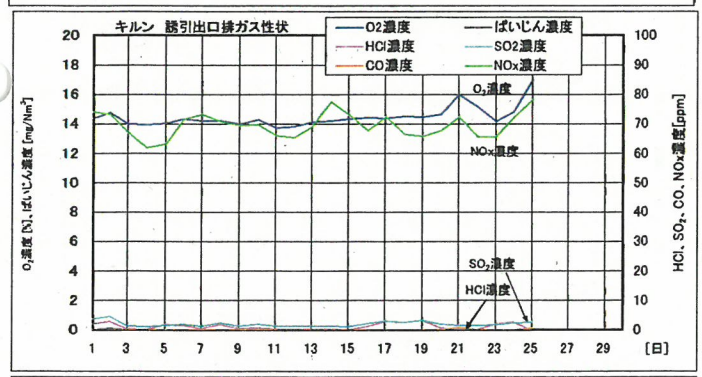


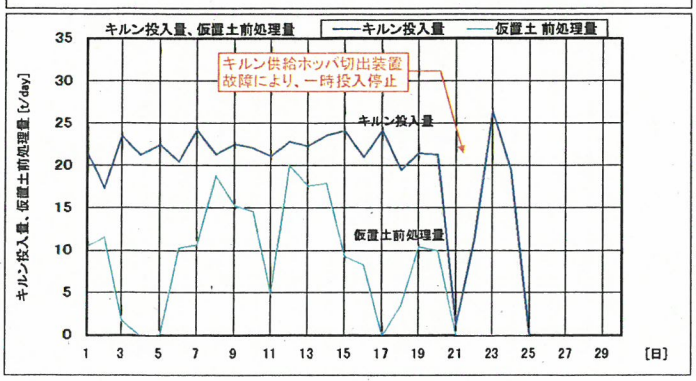
平成23年06月　キルン運転データ(1日単位)



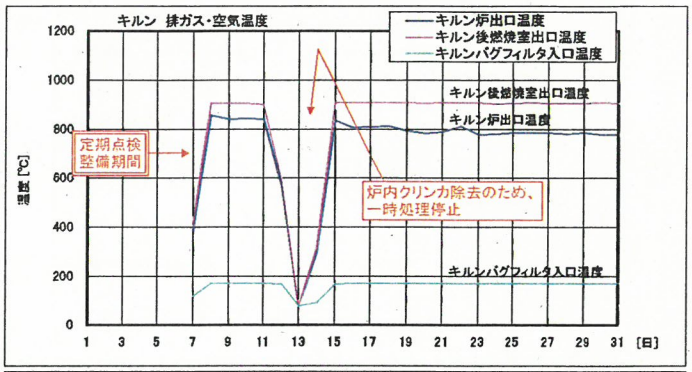


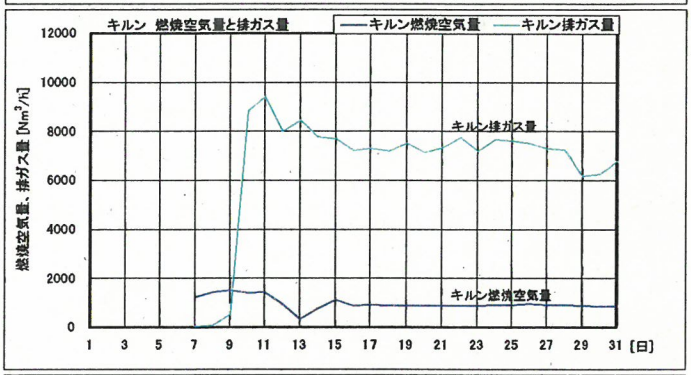


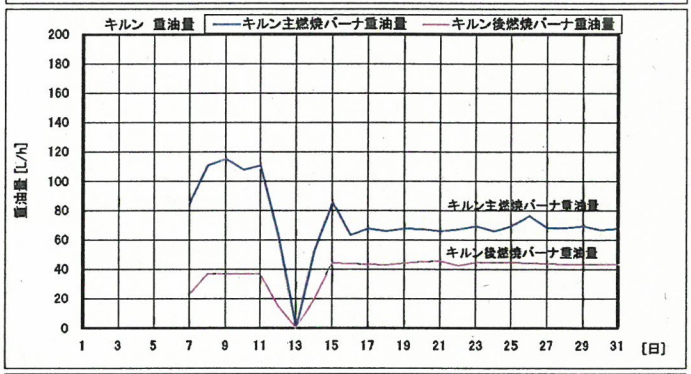


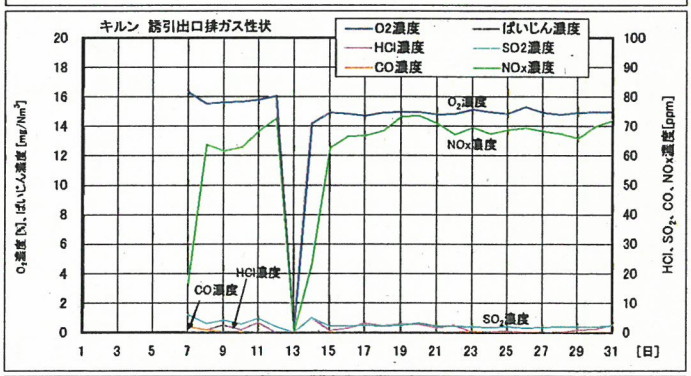


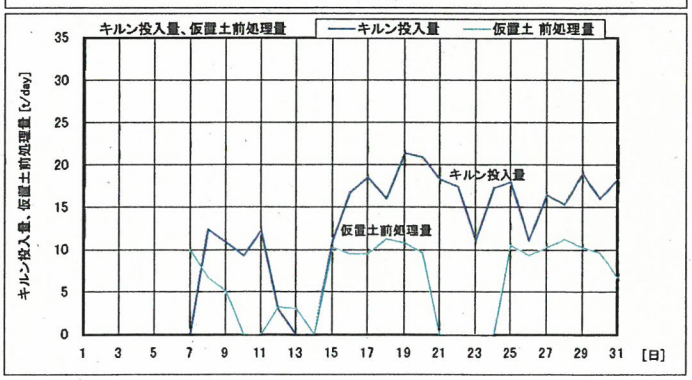
平成23年07月　キルン運転データ(1日単位)



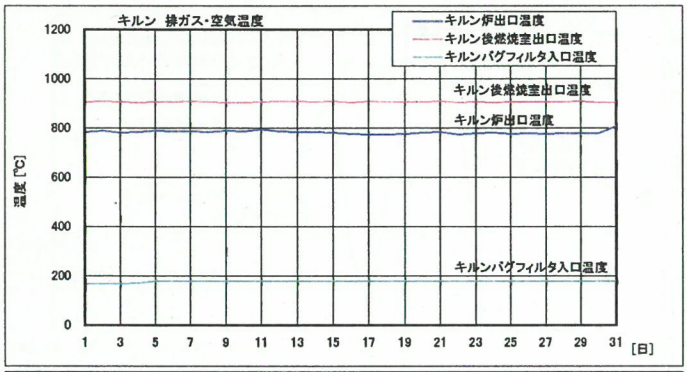


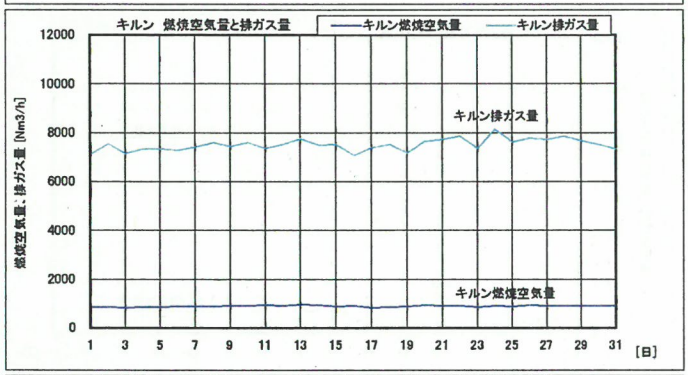


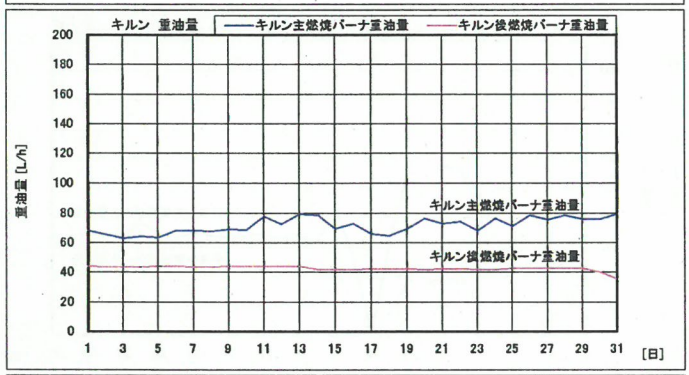


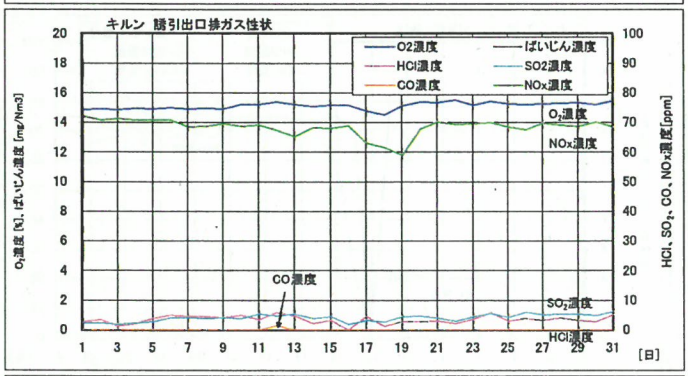


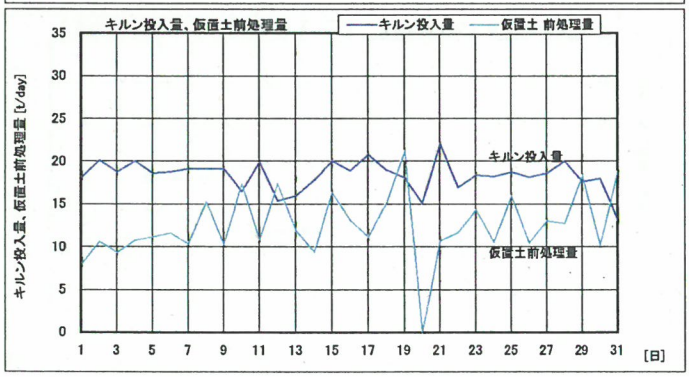
平成23年08月　キルン運転データ(1日単位)



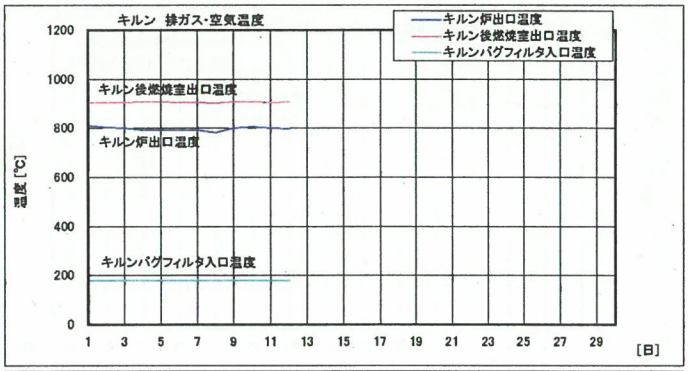


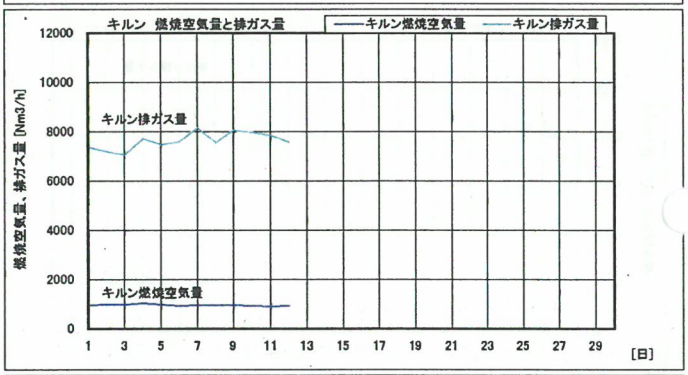


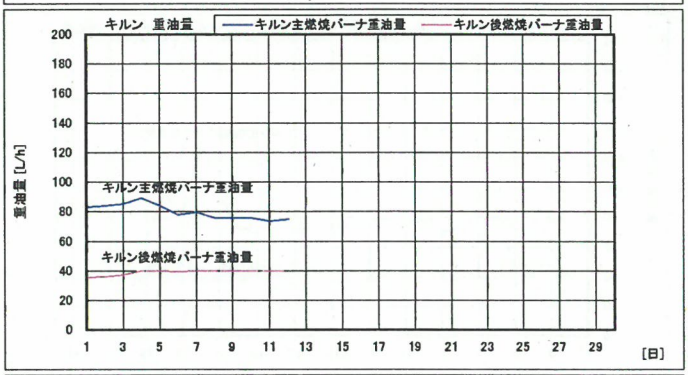


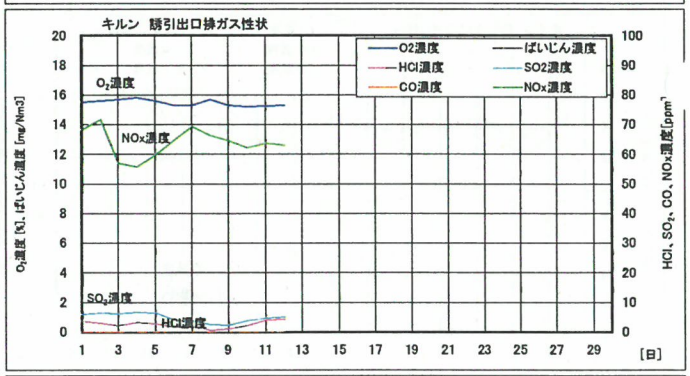


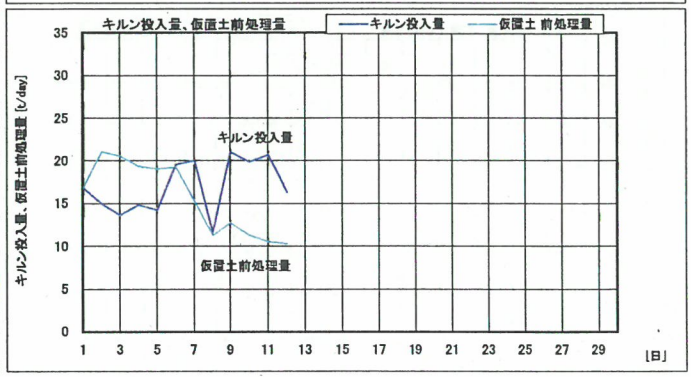
平成23年09月　キルン運転データ(1日単位)











平成23年度　豊島廃棄物処理事業 原単位表

資料２６・Ⅱ／１－２
平成２３年９月１７日

・平成15年度は平成15年9月18日から平成16年3月31日までの処理実績
・網掛けは処理量1t当りの実績値

投入量	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	4月	5月	6月	7月	8月
生石灰	300t	1,005	885	795	785	1,380	1,820	1,670	125	155	160	110	105
	0.029	0.021	0.017	0.016	0.015	0.023	0.028	0.025	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03
炭酸カルシウム	930t	4,200	3,720	4,095	4,695	3,123	3,060	1,700	290	335	210	255	455
	0.089	0.090	0.073	0.082	0.087	0.051	0.046	0.026	0.05	0.05	0.03	0.06	0.11

搬出量（t）		仮置土
15年度	10,420	—
16年度	46,900	—
17年度	51,020	—
18年度	49,800	—
19年度	53,746	—
20年度	62,910	(1850)
21年度	70,002	(4147)
22年度	71,506	(5010)
4月	6,599	(309)
5月	6,617	(327)
6月	6,647	(627)
7月	4,080	(0)
8月	7,710	(460)

積込量（t）		仮置土
15年度	11,213	—
16年度	49,917	—
17年度	51,870	—
18年度	50,090	—
19年度	53,191	—
20年度	60,354	(699)
21年度	69,351	(2661)
22年度	71,858	(4446)
4月	6,325	(226)
5月	7,031	(419)
6月	4,837	(221)
7月	5,151	(120)
8月	7,592	(473)

輸送量（t）		仮置土
15年度	11,200	—
16年度	49,820	—
17年度	51,817	—
18年度	50,031	—
19年度	53,281	—
20年度	60,346	(698)
21年度	69,284	(2660)
22年度	71,956	(4557)
4月	6,320	(226)
5月	7,037	(419)
6月	4,999	(221)
7月	4,985	(120)
8月	7,610	(474)

特殊前処理物

ロータリーキルン炉

投入量（t）		仮置土※3
15年度	46	—
16年度	836	—
17年度	759	—
18年度	936	—
19年度	1027	—
20年度	1521	(621)
21年度	3885	(2690)
22年度	6089	(4410)
4月	379	(222)
5月	666	(488)
6月	496	(195)
7月	331	(157)
8月	569	(389)

特殊前処理物処理量（t）	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	4月	5月	6月	7月	8月
岩石・コンクリート	62.8	199.9	74.8	20.6	16.3	80.5	103.5	104.1	94.5	0.0	10.9	46.9	17.7
	0.49(t/日)	0.84	0.31	0.08	0.07	0.34	0.43	0.44	4.73	0.00	0.45	2.23	0.80
金属物	0.00	18.73	6.61	2.98	1.11	12.33	34.58	96.82	1.2	0.6	0.9	0.3	0.0
	0.00	0.08	0.03	0.01	0.00	0.05	0.14	0.41	0.06	0.03	0.04	0.02	0.00
ケーブル屑	–	–	–	–	–	–	–	–	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	–	–	–	–	–	–	–	–	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ドラム缶	142	102	105	59	0	142	11	56	16	0	6	6	7
	1.11	0.43	0.43	0.24	0.00	0.59	0.05	0.24	0.80	0.00	0.25	0.29	0.32
可燃物	188.79	629.46	440.77	281.90	184.81	215.62	153.86	407.89	45.09	60.91	40.68	5.9	20.2
	1.47	2.66	1.82	1.15	0.76	0.90	0.64	1.71	2.25	2.77	1.70	0.28	0.92
稼働日数	128日	237日	242日	245日	244日	239日	240日	238日	20	22	24	21	22

ボイラー外部蒸気送り量	（t）	（t/処理t）
15年度	15,083	1.186
16年度	59,192	1.071
17年度	64,522	1.144
18年度	61,586	1.138
19年度	58,954	1.056
20年度	64,505	1.039
21年度	60,452	0.844
22年度	64,627	0.847
4月	5,197	0.807
5月	5,228	0.712
6月	4,284	0.827
7月	5,238	0.977
8月	5,421	0.745

重油量	溶融炉 (KL)	溶融炉 (KL/処理t)	キルン炉 (KL)	キルン炉 (KL/処理t)
15年度	2,730	0.229	59	1.283
16年度	9,056	0.173	464	0.555
17年度	11,540	0.217	394	0.519
18年度	12,831	0.250	346	0.370
19年度	9,473	0.178	451	0.439
20年度	11,507	0.195	443	0.291
21年度	11,474	0.174	861	0.222
22年度	10,731	0.156	963	0.158
4月	949	0.157	69	0.182
5月	932	0.140	91	0.137
6月	765	0.163	70	0.141
7月	808	0.161	67	0.202
8月	945	0.141	85	0.149

副成物発生量　鉄	（t）	（t/処理t）
15年度	6.2	0.00049
16年度	305.7	0.00553
17年度	323.2	0.00573
18年度	345.5	0.00638
19年度	321.3	0.00575
20年度	368.4	0.00593
21年度	546.1	0.00763
22年度	672.8	0.00882
4月	51.4	0.00798
5月	74.7	0.01018
6月	59.4	0.01147
7月	39.5	0.00736
8月	64.7	0.00889

副成物発生量　仮置土処理物	（t）	（t/処理t）
15年度	—	—
16年度	—	—
17年度	—	—
18年度	—	—
19年度	—	—
20年度	451.6	0.00727
21年度	2575.7	0.03598
22年度	4410.4	0.05781
4月	222.0	0.03447
5月	488.0	0.06649
6月	195.3	0.03770
7月	157.1	0.02929
8月	388.3	0.05335

ボイラー純水供給量	（t）	（t/処理t）
15年度	16,528	1.299
16年度	63,164	1.143
17年度	68,996	1.223
18年度	65,869	1.217
19年度	66,120	1.184
20年度	73,256	1.180
21年度	65,155	0.910
22年度	73,835	0.968
4月	5,385	0.836
5月	5,367	0.731
6月	4,381	0.846
7月	5,307	0.989
8月	5,515	0.758

※3　仮置土投入量は前処理施設投入量。

仮置土

仮置土受入ピット

磁選鉄

直島一般廃棄物受入ピット

豊島廃棄物受入ピット

前処理設備

豊島廃棄物

キルン炉

第2空気予熱器

溶融炉設備へ

投入量　※1	
15年度	12,227t
16年度	56,630
17年度	59,291
18年度	54,904
19年度	55,969
20年度	61,710
21年度	67,811
22年度	69,774
4月	6,273
5月	6,896
6月	4,924
7月	5,403
8月	6,454

※1 直島一廃を含む。

炭酸カルシウム		
15年度	723t	0.0568（t/処理t）
16年度	3,203.6	0.0580
17年度	3,329.0	0.0590
18年度	2,909.3	0.0538
19年度	3939.6	0.0705
20年度	2828.0	0.0455
21年度	4283.0	0.0598
22年度	4823.0	0.0632
4月	569.3	0.0884
5月	613.2	0.0836
6月	326.1	0.0630
7月	215.7	0.0402
8月	536.4	0.0737

触媒塔

バグフィルタ

ガス冷却塔

ボイラー

燃焼室

後燃焼室

2次室

処理量　※2	豊島廃棄物 1号炉	豊島廃棄物 2号炉	豊島廃棄物 キルン炉	直島一廃	合計
15年度	11,979			542	12,722t
16年度	53,079			2,194	55,273
17年度	53,945			2,464	56,409
18年度	52,197			1,915	54,112
19年度	54,210			1,639	55,849
20年度	60,504			1,603	62,107
21年度	70,015			1,572	71,587
22年度	74,742			1,547	76,289
4月	3,003	2,936	379	123	6,441
5月	3,236	3,292	666	145	7,339
6月	2,120	2,420	496	144	5,180
7月	2,419	2,485	331	129	5,364
8月	3,245	3,322	569	143	7,279

※2 キルン処理量を含む。

消石灰	（t）	（t/処理t）
15年度	247.6	0.019
16年度	880.3	0.016
17年度	600.6	0.011
18年度	543.6	0.010
19年度	555.1	0.010
20年度	886.1	0.014
21年度	1117.7	0.016
22年度	1029.9	0.013
4月	89.5	0.014
5月	100.0	0.014
6月	76.4	0.015
7月	75.9	0.014
8月	99.3	0.014

苛性ソーダ	（m^3）	（t/処理t）
15年度	80.8	0.034
16年度	261.3	0.005
17年度	180.8	0.003
18年度	0.0	0.000
19年度	0.0	0.000
20年度	0.0	0.000
21年度	0.0	0.000
22年度	0.0	0.000
4～8月	0.0	0.000

溶融飛灰貯留槽

スラリー化飛灰貯留槽

三菱マテリアル

スラグ発生量	（t）	（t/処理t）
15年度	9,152	0.719
16年度	32,399	0.586
17年度	34,706	0.615
18年度	32,114	0.593
19年度	31,428	0.563
20年度	30,751	0.495
21年度	34,851	0.487
22年度	33,843	0.444
4月	3,209	0.498
5月	3,414	0.465
6月	2,418	0.467
7月	2,366	0.441
8月	3,369	0.463

副成物発生量　溶融飛灰	（t）	（t/処理t）
15年度	593	0.0446
16年度	2,404	0.0435
17年度	2,355	0.0417
18年度	1,888	0.0349
19年度	2,038	0.0365
20年度	2,120	0.0341
21年度	2,414	0.0337
22年度	2,863	0.0375
4月	232.3	0.0361
5月	264.4	0.0360
6月	188.8	0.0364
7月	160.6	0.0299
8月	219.7	0.0302

スラグ破砕選別設備

副成物発生量		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	4月	5月	6月	7月	8月	
鋼		111t	404.8	450.4	625.7	518.6	492.2	608.6	790.2	68.6	75.9	46.7	47.4	69.8	
		0.0087	0.0073	0.0080	0.0116	0.0093	0.0079	0.0085	0.0104	0.0107	0.0103	0.0090	0.0088	0.0096	（t/処理t）
アルミニウム		57.1t	48.3	58.1	58.1	215.1	232.3	409.2	291.4	10.6	13.3	14.1	31.2	67.6	
		0.0045	0.0009	0.0010	0.0011	0.0039	0.0037	0.0057	0.0038	0.0016	0.0018	0.0027	0.0058	0.0093	（t/処理t）

使用量	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	4月	5月	6月	7月	8月
電力使用量（MWh/処理t）	9,258	19,909	20,087	19,976	19,488	19,750	19,910	19,972	1,691	1,760	1,632	1,594	1,832
	0.728	0.36	0.36	0.37	0.35	0.32	0.28	0.26	0.26	0.24	0.32	0.30	0.25
上水使用量（m^3/処理t）	15,246	55,748	69,303	79,405	65,865	65,790	84,987	71,731	7,340	7,139	4,756	4,660	8,944
	1,198	1.0	1.2	1.5	1.2	1.1	1.2	0.9	1.14	0.97	0.92	0.87	1.23

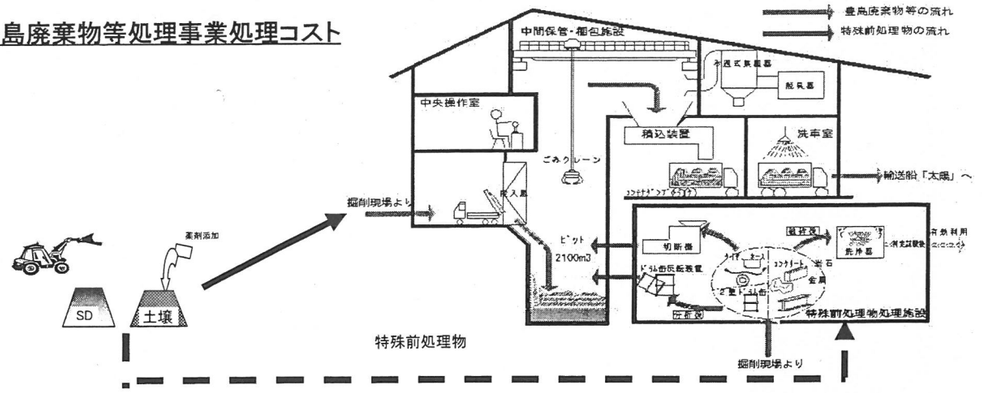
H22.6.14～H22.8.7の間、上水使用に係る積算流量計故障により、上水使用量（作業・稼動情報）が計測不能となっている。

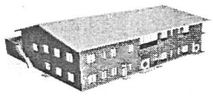
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度～8月
苛性ソーダ　（kg）	80,790	261,260	180,820	80,530	60,320	80,360	60,200	41,180	20,120
次亜塩素酸ソーダ　（kg）	400	800	200	500	1,400	1,000	1,400	720	680
高分子凝集剤　（kg）	550	1,600	1,450	2,150	1,300	1,950	5,100	2,200	2,000
ボイラー清缶剤　（kg）	100	500	200	0	0	0	0	0	0
＜第3リン酸ソーダ＞　（kg）	0	0	50	25	25	25	25	25	0
ボイラー脱酸素剤　（kg）	400	1,200	200	0	0	0	0	0	0
＜ヒドラジンヒドラード＞　（kg）	0	0	80	160	280	280	240	360	40
ボイラー満水保缶剤　（kg）	100	400	0	0	0	0	0	0	0
＜オキシノンM-608＞　（kg）	0	0	0	112	128	128	192	224	64
冷却水薬品（プラント機器）　（kg）	700	1,400	1,000	1,200	2,000	1,400	1,600	1,000	800
冷却水薬品（溶融炉）　（kg）	1,400	4,400	3,200	3,200	1,300	1,200	1,000	400	600
HCl試薬　（Ω）	300	1,500	0	0	0	0	0	0	0
＜フタル酸水素カリウム＞　（kg）	0	0	10	20	20	0	0	0	0

平成22年度における豊島廃棄物等処理事業処理コスト

	処理量(t)
16年度	53,079
17年度	53,945
18年度	52,197
19年度	54,210
20年度	60,597
21年度	70,153
22年度	74,943

・主な項目を記載。





高度排水処理	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	34,411	648
17年度	36,062	689
18年度	32,596	625
19年度	35,493	655
20年度	33,380	551
21年度	32,193	459
22年度	32,981	440

(円/処理㎥)	
1,509	※処理水22,807㎥の処理単価
1,563	※処理水23,074㎥の処理単価
1,352	※処理水24,105㎥の処理単価
1,480	※処理水23,979㎥の処理単価
1,447	※処理水23,073㎥の処理単価
1,348	※処理水23,878㎥の処理単価
1,396	※処理水23,623㎥の処理単価

掘削・保管・特前処理	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	174,300	3,284
17年度	174,300	3,231
18年度	174,300	3,339
19年度	174,300	3,215
20年度	174,300	2,876
21年度	198,135	2,824
22年度	197,589	2,637

輸送	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	387,450	7,300
17年度	387,450	7,182
18年度	389,310	7,459
19年度	389,310	7,182
20年度	305,835	5,047
21年度	305,835	4,360
22年度	305,835	4,081

豊島

生石灰(薬品の再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	27,437	517
17年度	25,740	477
18年度	22,371	429
19年度	21,212	391
20年度	40,434	667
21年度	54,504	777
22年度	55,085	735

※単価及び購入量
30.03円/kg(H21)→30.35円/kg(H22)
1,815t(H21)→1,815t(H22)
土壌比率アップに伴い、溶融助剤添加量を低減させる目的から、Caとして効果の高い生石灰添加量を増やし、炭酸カルシウム添加量を低減したことなどによる。

炭酸カルシウム(薬品の再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	104,517	1,969
17年度	96,869	1,796
18年度	72,236	1,384
19年度	67,031	1,237
20年度	47,533	784
21年度	39,262	560
22年度	25,565	341

※単価及び購入量
12.894円/kg(H21)→14.322円/kg(H22)
3,045t(H21)→1,785t(H22)

高温熱処理後仮置き土処理等経費	事業費(千円)	(円/処理t)
20年度	230	340
21年度	36,458	12,309
22年度	55,970	12,193

※20年度は土砂置場まで輸送費のみ。

重油	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	351,026	6,613
17年度	600,416	11,130
18年度	767,276	14,700
19年度	667,968	12,322
20年度	879,432	14,512
21年度	650,570	9,274
22年度	741,251	9,891

※重油単価及び購入量
52.1円/ℓ(H21)→62.8円/ℓ(H22)
12,193kℓ(H21)→11,564kℓ(H22)

炭酸カルシウム(薬品の再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	38,682	729
17年度	60,726	1,126
18年度	52,324	1,002
19年度	68,791	1,269
20年度	50,652	836
21年度	77,120	1,099
22年度	84,687	1,130

薬品(全体)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	225,602	4,250
17年度	234,507	4,347
18年度	201,690	3,864
19年度	202,547	3,736
20年度	201,376	3,323
21年度	241,284	3,439
22年度	226,870	3,027

中間処理施設運転	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	299,880	5,650
17年度	256,244	4,750
18年度	255,564	4,896
19年度	255,303	4,710
20年度	255,303	4,213
21年度	262,304	3,739
22年度	275,297	3,673

中間処理施設点検整備	事業費(千円)	(円/処理t)	
16年度	167,032	3,160	
17年度	341,119	6,323	
18年度	566,104	10,846	※主燃焼室耐火物大規模補修(2号溶融炉)
19年度	732,420	13,511	※主燃焼室耐火物大規模補修(1号溶融炉)
20年度	860,285	14,197	
21年度	903,669	12,881	※主燃焼室耐火物大規模補修(2号溶融炉)
22年度	761,703	10,164	※主燃焼室耐火物大規模補修(1号溶融炉)

電気代	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	208,338	3,925
17年度	218,217	4,045
18年度	220,339	4,221
19年度	213,825	3,944
20年度	247,555	4,085
21年度	225,538	3,215
22年度	220,413	2,941

※発電メリットを控除したもの。

発電メリット	還元費(千円)	(円/処理t)
16年度	22,138	417
17年度	26,635	494
18年度	28,797	552
19年度	27,826	513
20年度	27,325	451
21年度	24,085	343
22年度	26,600	355

消石灰(薬品の再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	19,346	365
17年度	17,513	325
18年度	15,337	294
19年度	15,965	295
20年度	21,766	359
21年度	32,971	470
22年度	34,121	455

苛性ソーダ(薬品の再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	6,803	128
17年度	5,126	95
18年度	0	0
19年度	0	0
20年度	0	0
21年度	0	0
22年度	0	0

※H18ガス冷却塔への使用中止

溶融飛灰	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	201,913	3,804
17年度	197,791	3,667
18年度	138,775	2,659
19年度	139,096	2,566
20年度	144,657	2,387
21年度	163,480	2,330
22年度	193,862	2,587

※処理単価84,000円/t(H17)→73,500円/t(H18)
→68,250円/t(H19)→67,725円(H21)

スラグ輸送等経費	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	152,098	2,866
17年度	143,897	2,668
18年度	153,031	2,932
19年度	145,714	2,688
20年度	166,601	2,749
21年度	173,822	2,478
22年度	165,995	2,215

水道代	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	12,769	241
17年度	14,793	274
18年度	16,175	310
19年度	13,508	249
20年度	12,854	212
21年度	15,423	220
22年度	16,465	220

全体	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	2,493,728	46,981
17年度	2,815,856	52,198
18年度	3,099,227	59,375
19年度	3,226,552	59,520
20年度	3,628,955	59,887
21年度	3,594,876	51,243
22年度	3,575,120	47,704

豊島	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	454,912	8,570
17年度	430,967	7,989
18年度	374,364	7,172
19年度	366,305	6,757
20年度	401,063	6,619
21年度	432,518	6,165
22年度	432,518	5,771

輸送(再掲)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	387,450	7,299
17年度	387,450	7,182
18年度	389,310	7,458
19年度	389,310	7,182
20年度	305,835	5,047
21年度	305,835	4,360
22年度	305,835	4,081

直島	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	1,195,368	22,521
17年度	1,580,591	29,300
18年度	1,979,412	37,922
19年度	2,041,545	37,660
20年度	2,459,990	40,596
21年度	2,246,684	32,025
22年度	2,195,541	29,296

副成物有効利用	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	398,946	7,516
17年度	351,394	6,514
18年度	298,057	5,710
19年度	362,989	6,696
20年度	399,732	6,597
21年度	562,077	8,012
22年度	585,628	7,814

環境計測等	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	57,052	1,075
17年度	65,454	1,213
18年度	58,084	1,113
19年度	66,403	1,225
20年度	62,335	1,029
21年度	47,762	681
22年度	55,598	742

全体(収益控除)	事業費(千円)	(円/処理t)
16年度	2,463,803	46,417
17年度	2,770,046	51,349
18年度	3,045,630	58,349
19年度	3,181,764	58,693
20年度	3,577,662	59,040
21年度	3,542,267	50,493
22年度	3,515,424	46,908

銅販売	販売費(千円)	(円/処理t)
16年度	14,870	280
17年度	24,104	447
18年度	26,412	506
19年度	26,629	491
20年度	29,534	487
21年度	31,434	448
22年度	38,934	520

鉄販売	販売費(千円)	(円/処理t)
16年度	5,309	100
17年度	2,462	46
18年度	3,505	67
19年度	4,080	75
20年度	5,003	83
21年度	2,417	35
21年度	3,261	44

アルミ販売	販売費(千円)	(円/処理t)
18年度	1,082	21
20年度	499	8
21年度	30	0

スラグ販売	販売費(千円)	(円/処理t)
16年度	9,747	184
17年度	19,244	357
18年度	22,598	433
19年度	14,080	260
20年度	16,257	268
21年度	18,728	267
22年度	17,501	234

スラグの保管量が低下したため、19.6.4～9.30まで販売を一時休止した。

※ □ は、収益を表示。
※ ▨ は、薬品の再掲。
※ ▭ は、全体事業費。

資料２６・Ⅱ／２－１
平成２３年９月１７日

豊島廃棄物等の処理対象量及び残存量の推計

豊島廃棄物等処理事業は平成１５年９月に本格処理を開始してから約８年が経過し、計画期間があと２年となり、処理を計画的かつ円滑に進める上で、廃棄物等の残存量をより正確に把握しておく必要があること、また、処分地東側約８千ｍ２の区画で廃棄物等が全て除去され廃棄物底面の状況が初めて把握できるようになったことから、本年３月から６月にかけて処分地全体の現地測量を実施し、これをもとに平成２３年３月末時点での廃棄物等の残存量及び処理対象量などを推計した。

１．測量結果について

平成１６年度の測量結果と平成２３年３月から６月に実施した測量結果から計算した平成２３年３月末現在の豊島廃棄物等の処理対象体積、残存体積及び処理済体積について、調査を委託した応用地質㈱から、別添のとおり報告があり、B～J+20 測線を用いた試算結果をとりまとめ、表１に示した。

さらに、応用地質㈱の調査結果に、測量範囲外の廃棄物等を追加するなど、処理済量及び残存量を補正し、表２に示した。

表１　豊島廃棄物等の処理対象体積、残存体積及び処理済体積の測量結果

	処理対象量 (m^3)	残存量 (m^3)	処理済量 (m^3)
廃棄物等	531,272	229,148	302,124
周辺部廃棄物等	16,721	0	16,721
つぼ掘り廃棄物等	2,000	0	2,000
計	549,993	229,148	320,845
直下汚染土壌	45,565	45,565	0
合計	595,558	274,713	320,845

※「周辺部廃棄物等」とは、公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた廃棄物底面よりも下、あるいは、山側斜面のさらに外側の、当初、予測していなかった廃棄物等のことであり、また、「つぼ掘り廃棄物等」も、廃棄物底面よりさらに深く掘り込んだ、いわゆる「つぼ掘り」内部に埋設された、当初、予測していなかった廃棄物等のことである。

表２　県が試算した処理済量及び残存量

	処理対象量 (m^3)	残存量 (m^3)	処理済量 (m^3)
廃棄物等 ※1	530,784	229,148	301,636
周辺部廃棄物等	16,721	0	16,721
つぼ掘り廃棄物等	2,000	0	2,000
第４工区覆土 ※2	−2,800	−2,800	0
遮水壁付近廃棄物等 ※3	817	817	0
覆土（第４工区へ移設） ※4	488	488	0
進入道路下廃棄物等 ※5	100	100	0
計	548,110	227,753	320,357
直下汚染土壌 ※6	46,815	46,815	0
合計	594,925	274,568	320,357

※1　応用地質㈱調査結果の廃棄物等処理済量 302,124m^3 から、処理していない第４工区移設覆土 488m^3

を除いたため、処理対象量が 530,784㎥、処理済量が 301,636㎥となっている。

※2　暫定的環境保全措置工事の実績から、第４工区には、廃棄物等上部にシートを敷設したうえ、覆土した花崗土 2,800㎥があるため、処理対象量から除いた。

※3　H測線東側において、遮水壁付近に廃棄物等が確認されているため、廃棄物等 817㎥を加えた。

※4　第３工区から第４工区へ移設した覆土 488㎥を加えた。

※5　進入道路下に廃棄物等が確認されているため、廃棄物等 100㎥を加えた。

※6　高濃度のダイオキシン類を含む廃棄物等が確認されている区域は、ダイオキシン類による汚染土壌が想定されるため、これまで直下汚染土壌としていなかった区域（G-4）の土壌 1,250 ㎥を加えた。

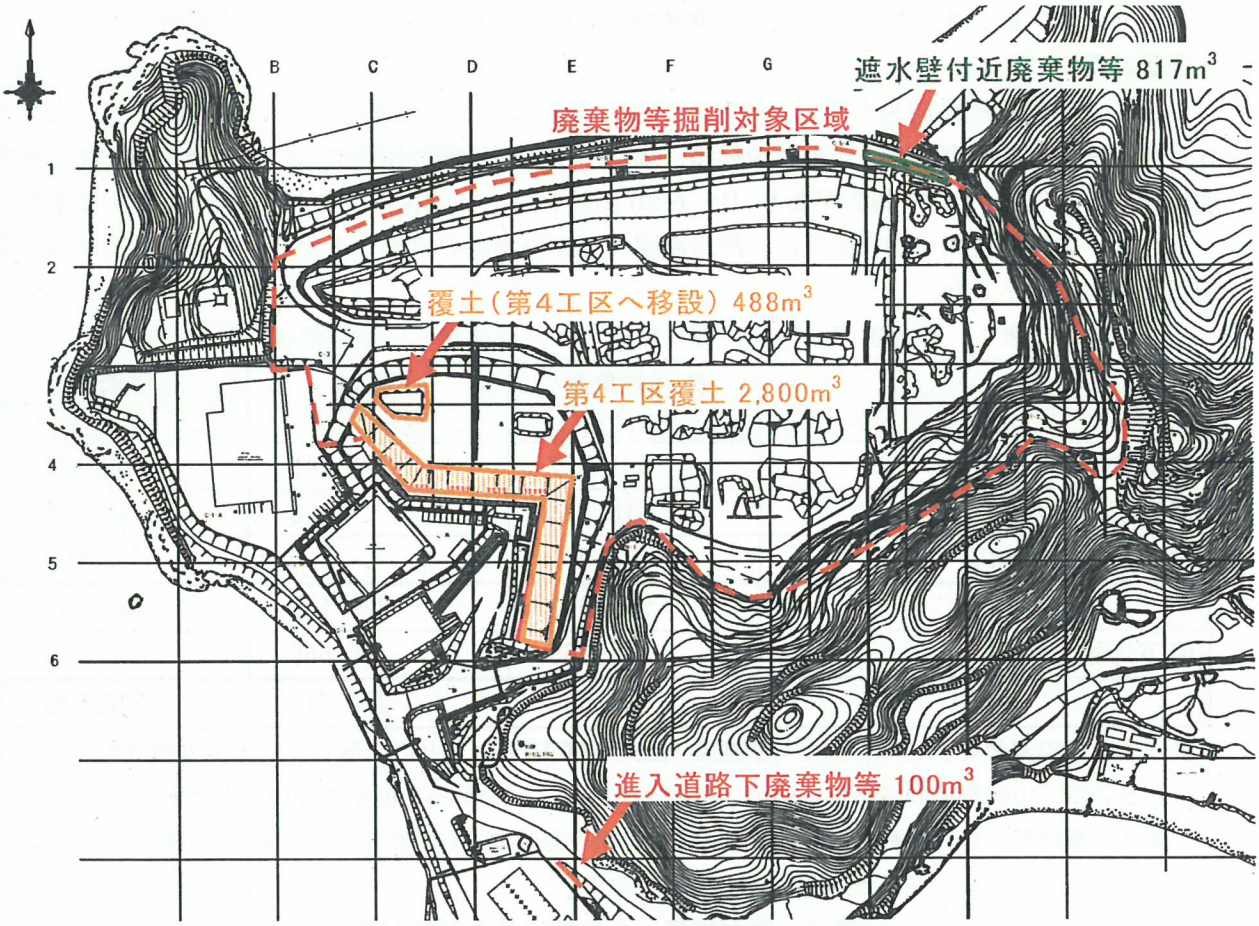


図１　測量範囲外の廃棄物等

上記、試算結果を現行のものと比較したところ、表３のとおり処理対象量が３万２千㎥余増加しており、また、処理済量が７万㎥減少していることから、合わせて残存量は約１０万３千㎥増加している。

表３　現行と測量結果の差

	処理対象量 (m³)	残存量 (m³)	処理済量 (m³)
現行（A）	562,080（100%）	171,543（30.5%）	390,537（69.5%）
測量結果（B）	594,925（100%）	274,568（46.2%）	320,357（53.8%）
増加量（B）－（A）	32,845	103,025	△70,180

２．測量結果による増加要因

（１）処理対象量の増加要因

①すでに廃棄物等が除去された箇所の岩盤や土壌面の測量を行った結果、公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた廃棄物底面よりも下、あるいは、山側斜面のさらに外側に廃棄物が存在したことが確認された。（約１万６千㎥増）

②処分地東側約８千㎡で、廃棄物底面よりさらに深く掘り込んだ、いわゆる「つぼ掘り」が発見された。（約２千㎥増）

③暫定的環境保全措置に関する工事や、その後の廃棄物等の掘削・除去のための進入道路の設置工事等の際に、処分地内に土砂、砕石などを外部から搬入したが、今回の見直しにおいて、これらの土砂等のうち、廃棄物等と混ざるなど廃棄物として処理しなければならなくなったものを追加した。（場内道路砕石等：約３千㎥増）

④北海岸遮水壁設置工事の際に、トレンチドレーンを掘削した土壌は、北海岸の造成に利用する予定であったが、土壌に臭気があったことなどにより、廃棄物として処理しなければならなくなったものを追加した。（トレンチドレーン掘削土等：約８千㎥増）

⑤北海岸での暫定的な環境保全措置工事で発生した土壌のうち、廃棄物等が混在していたため、処理しなければならなくなったものを追加した。（廃棄物混入土壌：約１千㎥増）

（２）処理済量の減少要因

測量結果から、平成２３年３月末の処理済体積が３２万㎥と推計され、７万㎥減少した。直島の中間処理施設等で処理した重量４４万６千トンから、廃棄物等の単位体積重量(密度)の平均を算出すると１．３９トン／㎥となり、当初推定した直下汚染土壌を除く単位体積重量(密度)の平均（１．１４トン／㎥）と比較すると、今回推定した密度は大幅に重く、処理済量の減少要因は、これまで実態よりも軽い単位体積重量（密度）を使っていたことによるものである。

３．処理対象量の推計について

（１）変動要因と増加予測量

①土壌、岩盤との境界部分の廃棄物の追加によるＨ測線西側の体積の増加

ア　公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた山側斜面のさらに外側に廃棄物が存在したことが確認されたが、同じような状態が、処分地全体に及んでいるものと推計した場合は約６千㎥増となる。

（斜面部廃棄物の推定量＝処理済斜面部廃棄物等体積×（今後掘削する斜面面積÷既掘削斜面面積）＝12,986m³×（3,000m²÷7,000m²）＝5,565m³）

イ　公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた廃棄物の底面(平坦部)よりも下に廃棄物が存在したことが確認されたが、同じような状態が、処分地全体に及んでいるものと推計した場合は約１万㎥増となる。

（平坦部廃棄物等の推定量＝処理済平坦部廃棄物等体積×（今後掘削する平坦部面積÷既掘削平坦部面積）＝1,349m³×（44,000m²÷6,000m²）＝9,893m³）

※処理済平坦部廃棄物等体積 1,349m³は、10ｍメッシュの点高法により、公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた廃棄物の底面と実際の直下土壌面の標高差等から計算した。

ウ　処分地東側約８千㎡では、直下土壌面よりさらに深く掘り込んだ、いわゆる「つぼ掘り」が発見されたが、同じような状態が、第４工区を除いた処分地全体に及んでいるものと推計した場合は約１万３千㎥増となる。

（つぼ掘り廃棄物等の推定量＝処理済つぼ掘り廃棄物体積×（今後掘削する平坦部面積（第４工区を除く）÷既掘削平坦部面積）＝2,000m³×（38,000m²÷6,000m²）＝12,667m³）

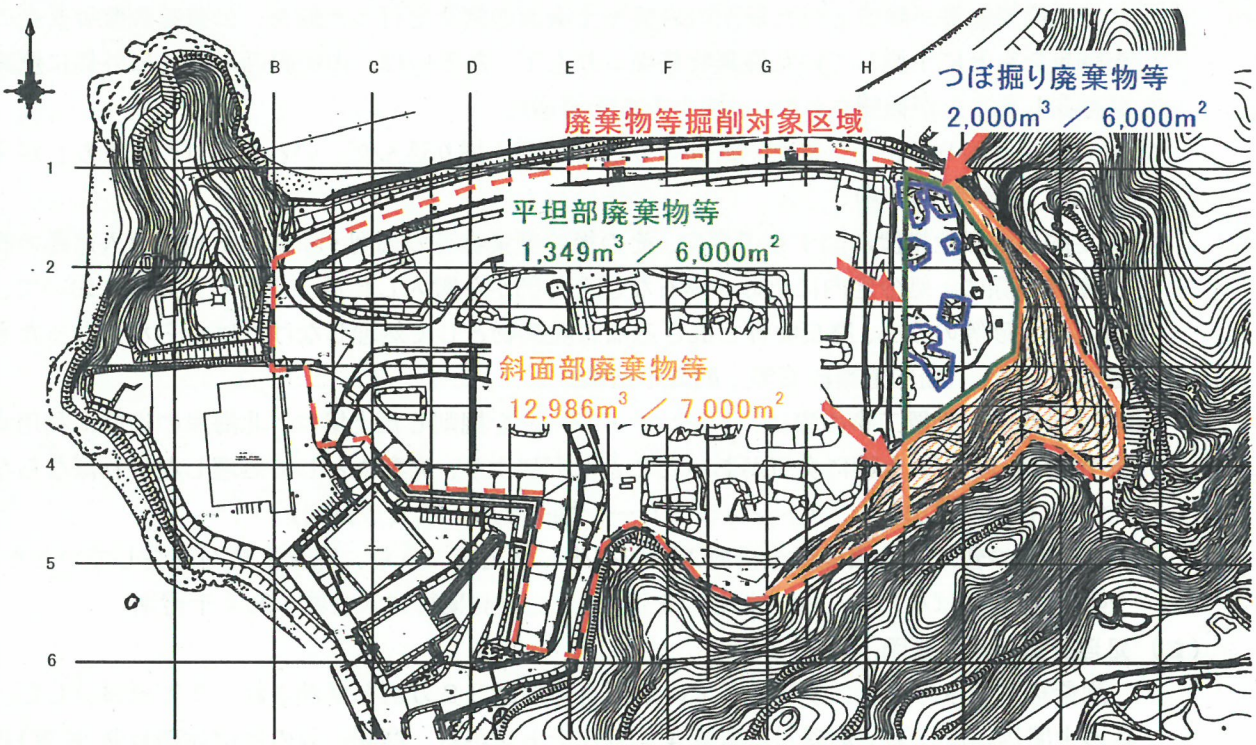


図２　処理済周辺部廃棄物等の分布範囲

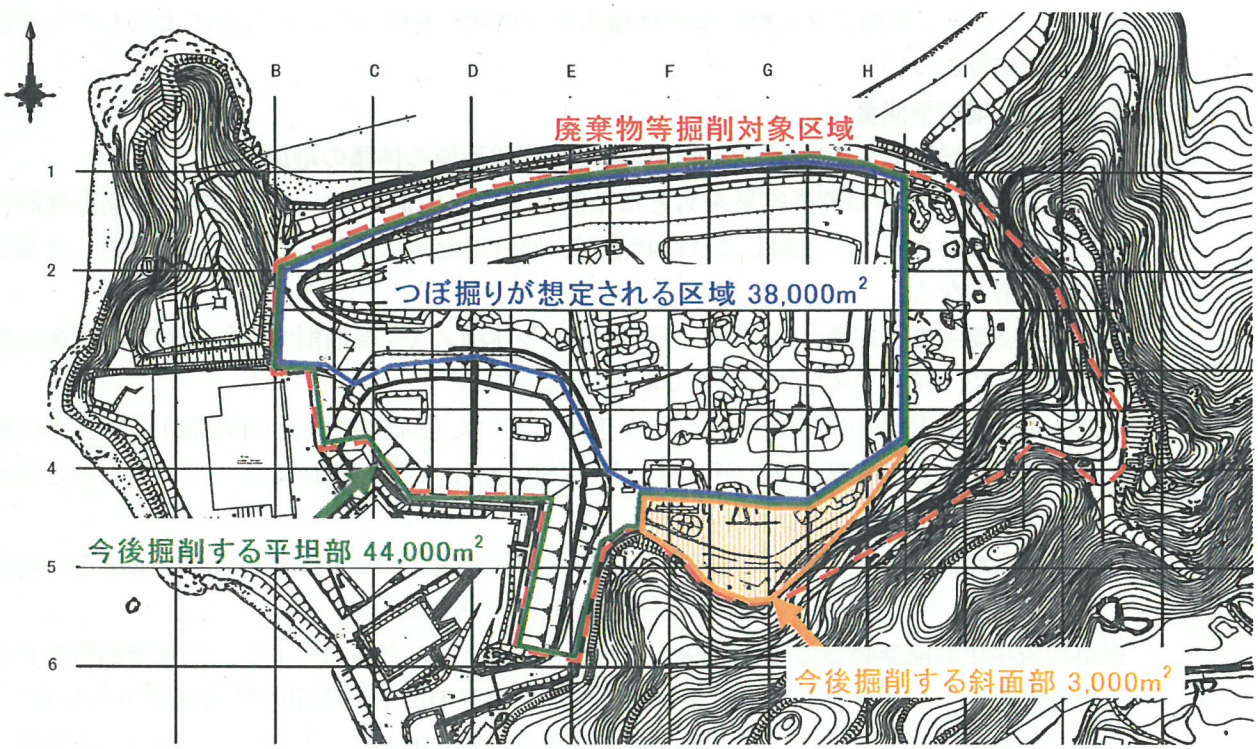


図３　残存周辺部廃棄物等が推定される範囲

②単位体積重量(密度)の影響

平成２３年３月下旬から６月に処分地全体の測量を行った結果、平成２３年３月末までの処理済体積は３２万㎥と推計され、これと直島の中間処理施設等でこれまでに処理を行った廃棄物等の重量４４万６千トンから、平成２３年３月末時点で既に処理が終わっている廃棄物等の単位体積重量(密度)を算出したところ１．３９トン／㎥であった。

今後掘削される廃棄物等の重量については、残存する廃棄物等全体の密度が把握できないことから、こうした実績に基づく最新の密度である１．３９トン／㎥を用いて推計した。

また、直下汚染土壌の密度についても、実測値である２．２４トン／㎥を用いて推計した。

（２）推計値

測量結果による処理対象量５９５千㎥、８６８千トン、残存量２７５千㎥、４２１千トンに県の推定による上記増加要因（３．－（１）－①）等を組み合わせることにより、表４のとおり４種類の推計値が考えられる。

表４　変動要因による４種類の推計値

No.	前提条件			処理対象量		残存量	
	ア 斜面	イ 平坦部	ウ つぼ掘り	体積(千㎥)	重量(千トン)	体積(千㎥)	重量(千トン)
1	×	×	×	５９５	８６８	２７５	４２１
2	○	×	×	６００	８７５	２８０	４２９
3	○	○	×	６１０	８８７	２８９	４４１
4	○	○	○	６２２	９０５	３０２	４５９

（参考）４種類の推計値の内訳の試算

表４の４種類の推計値について、廃棄物等全体の密度を１．３９トン／㎥として、内訳別の密度を、鉱さい・覆土等１．７５トン／㎥、仮置き土１．９０トン／㎥、周辺部廃棄物等１．７５トン／㎥と設定したとき、廃棄物等は、約１．３トン／㎥となり、直下汚染土壌２．２４トン／㎥として試算した残存量内訳については、表５のとおりである。

表５　推計値 No. １から No. ４の残存量内訳の試算

No. １	処理済量	残存量							合計
		廃棄物等	鉱さい・覆土等	仮置き土	周辺部廃棄物等	つぼ掘り廃棄物等	直下汚染土壌	小計	
体積（千㎥）	３２０	２０２	１７	９	０	０	４７	２７５	５９５
重量（千ｔ）	４４６	２７０	３０	１７	０	０	１０５	４２１	８６８

No. ２	処理済量	残存量							合計
		廃棄物等	鉱さい・覆土等	仮置き土	周辺部廃棄物等	つぼ掘り廃棄物等	直下汚染土壌	小計	
体積（千㎥）	３２０	２０２	１７	９	５	０	４７	２８０	６００
重量（千ｔ）	４４６	２６８	３０	１７	９	０	１０５	４２９	８７５

No. ３	処理済量	残存量							合計
		廃棄物等	鉱さい・覆土等	仮置き土	周辺部廃棄物等	つぼ掘り廃棄物等	直下汚染土壌	小計	
体積（千㎥）	３２０	２０２	１７	９	１５	０	４６	２８９	６１０
重量（千ｔ）	４４６	２６４	３０	１７	２７	０	１０３	４４１	８８７

No. ４	処理済量	残存量							合計
		廃棄物等	鉱さい・覆土等	仮置き土	周辺部廃棄物等	つぼ掘り廃棄物等	直下汚染土壌	小計	
体積（千㎥）	３２０	２０２	１７	９	１５	１３	４６	３０２	６２２
重量（千ｔ）	４４６	２６４	３０	１７	２７	１８	１０３	４５９	９０５

（参考）表６　廃棄物（ｼｭﾚｯﾀﾞｰﾀﾞｽﾄ）密度調査結果

測定日		密度
H15年度	H15.7.18	0.79
	H15.9.5	0.77
	H15.9.23	0.87
	H16.3.12	0.92
	H16.3.12	0.89
H16年度	H16.7.20	0.84
	H16.9.8	0.96
	H16.10.6	1.09
	H17.1.13	0.91
	H17.3.10	0.93
	H17.3.10	0.89
H17年度	H17.4.8	0.88
	H17.5.27	1.07
	H17.7.1	0.91
	H17.8.2	1.04
	H17.12.6	0.98
	H18.2.22	0.96
	H18.2.22	1.02
H18年度	H18.4.19	0.97
	H18.8.18	1.20
	H18.8.18	0.95
	H18.10.24	1.10
	H18.10.24	1.05
	H19.3.6	1.04
	H19.3.6	1.08
	H19.3.6	1.02
H19年度	H20.1.24	1.15
	H20.1.24	1.11
	H20.1.24	1.09
平成15～19年度平均		0.98
H20年度	H20.7.8	1.08
	H20.7.8	1.12
	H21.3.20	1.21
	H21.3.20	0.80
	H21.3.20	1.09
	H21.3.20	1.12
平成15～20年度平均		1.00
H21年度	H21.5.21	1.10
	H21.5.21	1.18
	H21.5.21	1.06
	H21.11.7	1.25
	H21.11.7	0.95
	H22.2.20	1.10
	H22.2.20	1.17
	H22.2.20	0.93
平成15～21年度平均		1.01
H22年度	H22.4.17	1.10
	H22.4.17	1.17
	H22.4.17	0.90
	H22.10.1	1.15
	H22.10.1	1.15
平成15～22年度平均		1.02
H23年度	H23.6.6	1.29
	H23.6.6	1.53
	H23.6.15	1.22
平成15～23年度平均		1.04

平均値	1.04
最大値	1.53
最小値	0.77
公調委設定密度	1.09

表７　仮置き土密度調査結果

測定日		密度
H15年度	H15.7.18	1.66
	H15.9.8	1.94
	H15.9.22	1.78
	H16.3.12	1.74
H19年度	H19.4.4	1.89
		1.87
		1.91
		1.96
		1.88
	H19.6.21	1.16
		1.53

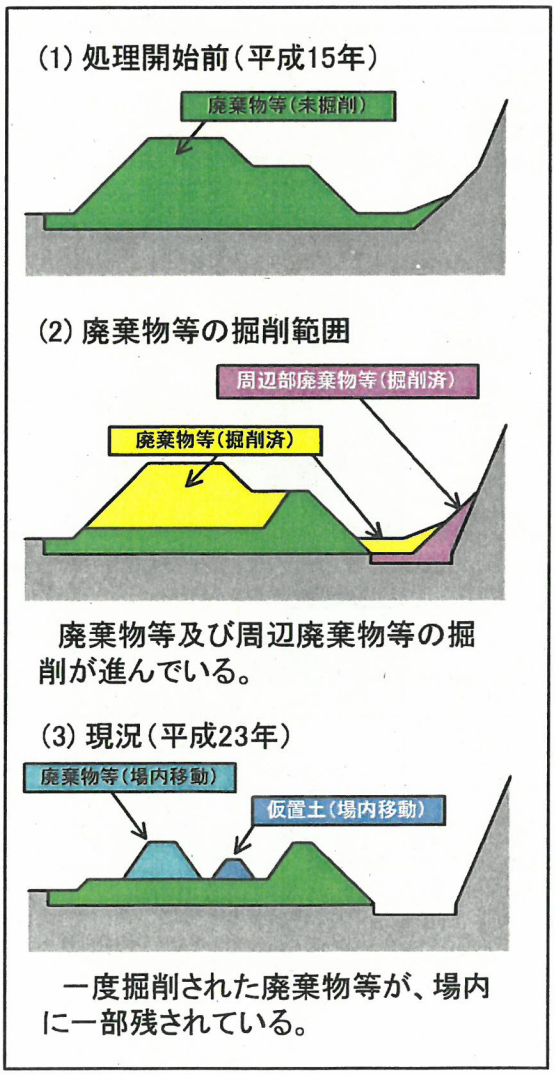
平均値	1.76
主要部平均値(H19.4.4調査)	1.90

資料２６・Ⅱ／２－１－１
平成２３年９月１７日
応用地質株式会社

場内の廃棄物等の再区分と直下土壌の試算結果

１．場内の廃棄物等の再区分（資料１）

場内における現在の廃棄物等の分布状況は、図－１に示すとおり、（１）処理開始前（緑色）の状態から、（２）掘削済となった廃棄物等（黄色）、及び公害等調整委員会の調査結果をもとに予測していた廃棄物底面よりも下、あるいは、山側斜面のさらに外側の、当初、予測していなかった周辺部廃棄物等（ピンク）が掘削され、さらに、（３）残った廃棄物等の上に、一度掘削された廃棄物等（場内移動）が分布している。これらの廃棄物等について、他の廃棄物と比重が異なる鉱さいを細分化するとともに、場内移動されたものについても廃棄物等と仮置土（土量変化率によって①と②に分類）として細分化した。



図－１　廃棄物等の現況の分布状況

２．廃棄物量見直し後

B～J+20 測線及び 1～5 測線を用いて処理対象量、残存量及び処理済量を試算した。試算結果は、測線（土量検討断面）の数が多い B～J+20 測線の方がより精度が高いものと考えられるため、今後の測量においても B～J+20 測線で測量することが望ましい。

① B～J+20 測線（合計 18 測線）を用いた試算

	処理対象量 m3	残存量 m3	処理済量 m3	備考
廃棄物等(SD、燃え殻)	439,373	188,416 ※1	250,957 ※2	－
廃棄物等(鉱さい)	7,440	7,110	330	－
覆土等	13,055	6,260	6,795	－
仮置土	71,404	7,976	63,428	－
場内移動(廃棄物等)	0	10,279	-10,279	土量変化率1.47と設定(15,110m3÷1.47)
場内移動(仮置土①)	0	5,274	-5,274	土量変化率1.27と設定(6,698m3÷1.27)
場内移動(仮置土②)	0	3,833	-3,833	土量変化率1.0と設定
場内移動(覆土(水洗浄))	0	0	0	－
計	531,272	229,148	302,124	平成15年処理対象量
周辺部廃棄物等	16,721	－	16,721 ※3	－
つぼ掘り廃棄物等	2,000	－	2,000 ※4	－
合計	549,993	229,148	320,845	平成23年処理対象量

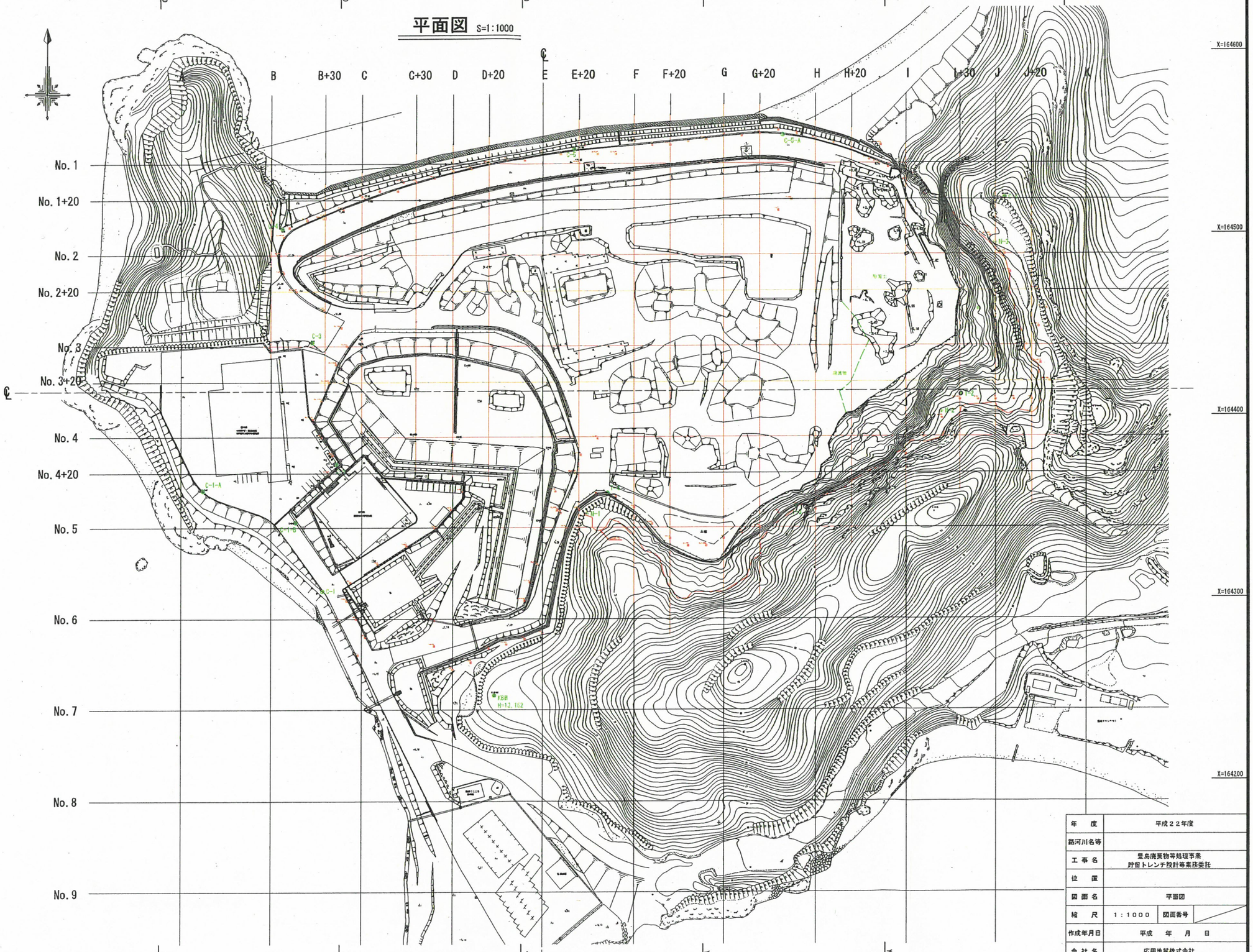
※1 第三工区飛地で確認された廃棄物(B～B+30測線間)を追加した。
※2 平均断面法から求めた処理済量(247,124m3)に、場内移動(仮置土②)埋戻し前に掘削した廃棄物等の体積(3,833m3)を追加した。
※3 公害等調整委員会調査の廃棄物等区域外の処理済量から、つぼ掘り廃棄物2,000m3(香川県試算)を差し引いた値
※4 つぼ掘り廃棄物等の体積(2,000m3)は、別添の香川県の試算結果を使用した。

②１～５測線（合計９測線）を用いた試算

	処理対象量 m3	残存量 m3	処理済量 m3	備考
廃棄物等(SD、燃え殻)	433,385	190,492	242,893 ※1	－
廃棄物等(鉱さい)	5,948	5,340	608	－
覆土等	12,434	4,463	7,971	－
仮置土	68,241	9,768	58,473	－
場内移動(廃棄物等)	0	10,196	-10,196	土量変化率1.47と設定(14,988m3÷1.47)
場内移動(仮置土①)	0	4,042	-4,042	土量変化率1.27と設定(5,133m3÷1.27)
場内移動(仮置土②)	0	2,795	-2,795	土量変化率1.0と設定
場内移動(覆土(水洗浄))	0	948	-948	－
計	520,008	228,044	291,964	平成15年処理対象量
周辺部廃棄物等	16,223	－	16,223 ※2	
つぼ掘り廃棄物等	2,000	－	2,000 ※3	
合計	538,231	228,044	310,187	平成23年処理対象量

※1 平均断面法から求めた処理済量(240,098m3)に、場内移動(仮置土②)埋戻し前に掘削した廃棄物等の体積(2,795m3)を追加した。
※2 公害等調整委員会調査の廃棄物等区域外の処理済量から、つぼ掘り廃棄物2,000m3(香川県試算)を差し引いた値
※3 つぼ掘り廃棄物等の体積(2,000m3)は、別添の香川県の試算結果を使用した。

平面図 S=1:1000



年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	平面図
縮　尺	１：１０００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

B'

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	- ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	周辺部廃棄物等	- ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	110.6 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

B'

平成23年度測量成果

香川県　中間保管・梱包施設
特殊前処理物処理施設

NO. 1　NO. 1+20　NO. 2　NO. 2+20　NO. 3　NO. 3+20　NO. 4　NO. 4+20　NO. 5

DL=0.000

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
有機土層	As	有機土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	m	鉄スラグ
盛土層	Bo	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

B'

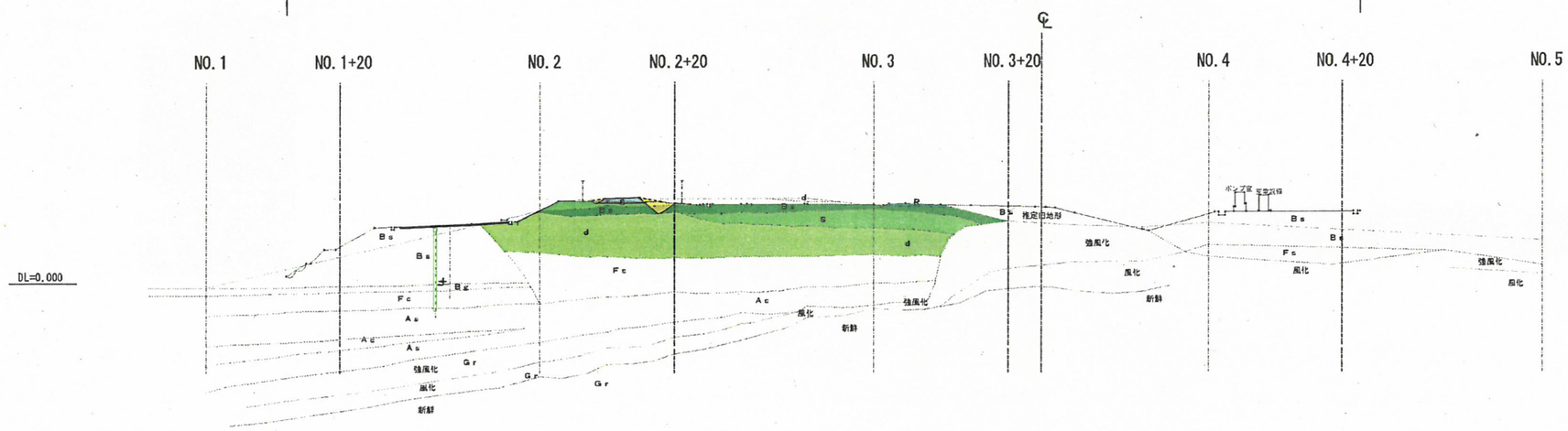
地 層	数 量
直下土壌	0.0 ㎥

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工 事 名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図 面 名	横　断　図 （B'）
縮　尺	１：４００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会 社 名	応用地質株式会社
事業者名	

B+30

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果



B+30

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（土さい）	3.5㎥
	覆土	2.3㎥
	仮置土	－㎥
	周辺部廃棄物等	－㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	347.5㎥
	廃棄物等（土さい）	104.2㎥
	覆土	71.1㎥
	仮置土	3.7㎥
	場内移動（廃棄物等）	－㎥
	場内移動（仮置土①）	4.8㎥
	場内移動（仮置土②）	－㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	－㎥
数量減	廃棄物等	－㎥

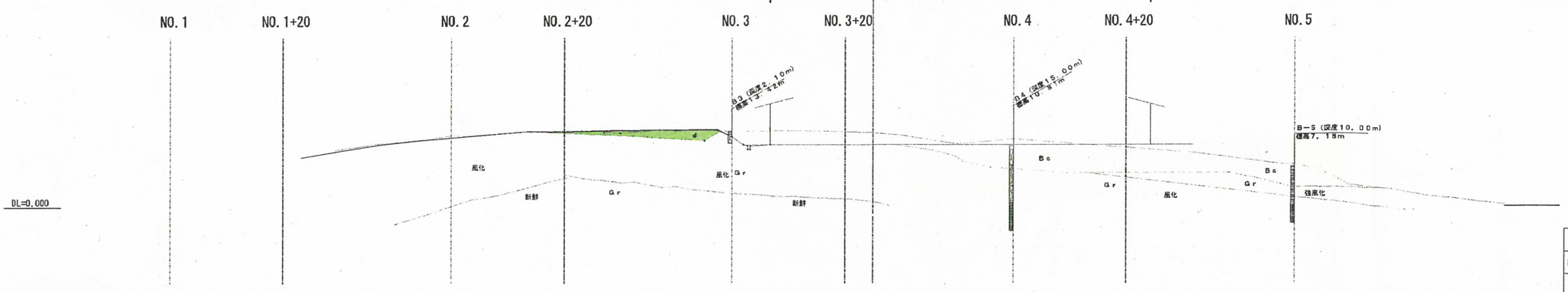
B

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果

平成12年度平面図ＣＡＤ計測

香川県　中間保管・梱包施設
特殊前処理物処理施設



B

地　層	数　量
盛下土壌	0.0㎥

B

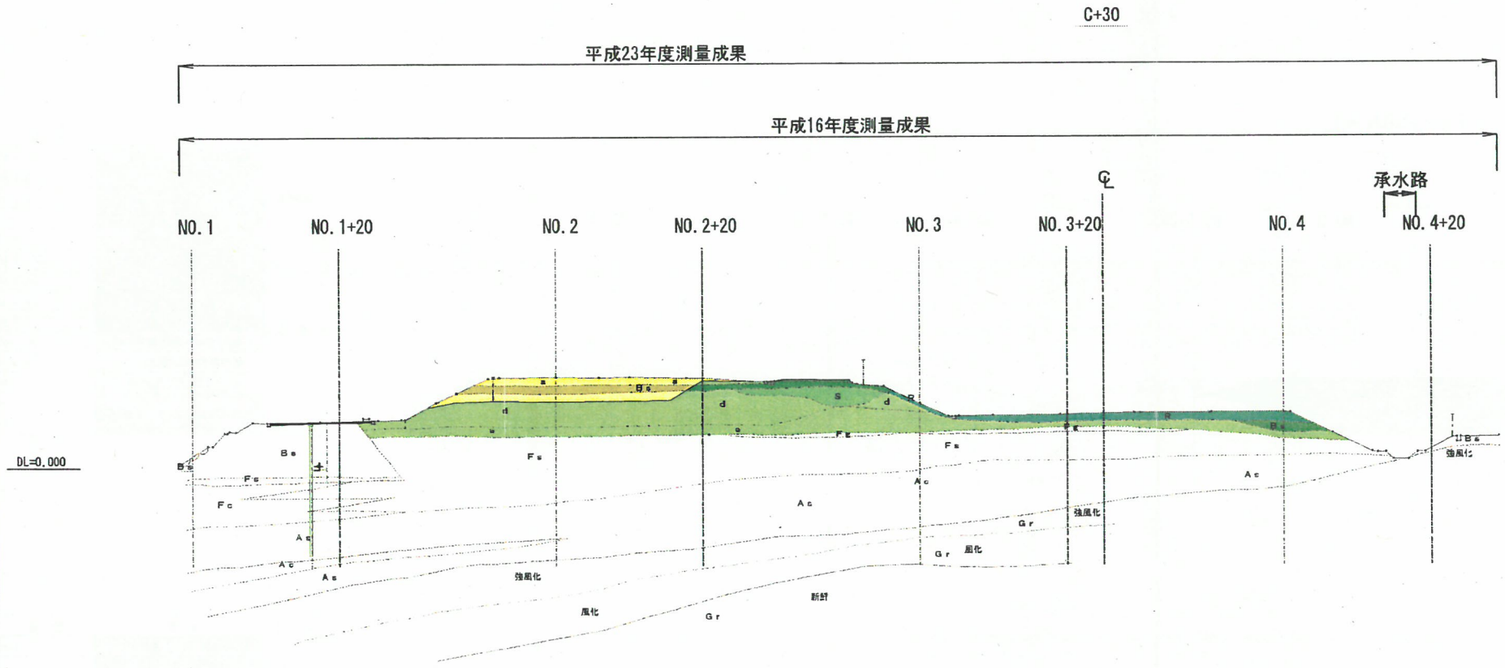
項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（土さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	周辺部廃棄物等	－㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	31.0㎥
	廃棄物等（土さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	場内移動（廃棄物等）	－㎥
	場内移動（仮置土①）	－㎥
	場内移動（仮置土②）	－㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	－㎥
数量減	廃棄物等	－㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置土層	D	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	土さい
	a	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 許留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （B+30，B）
縮　尺	1：400　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

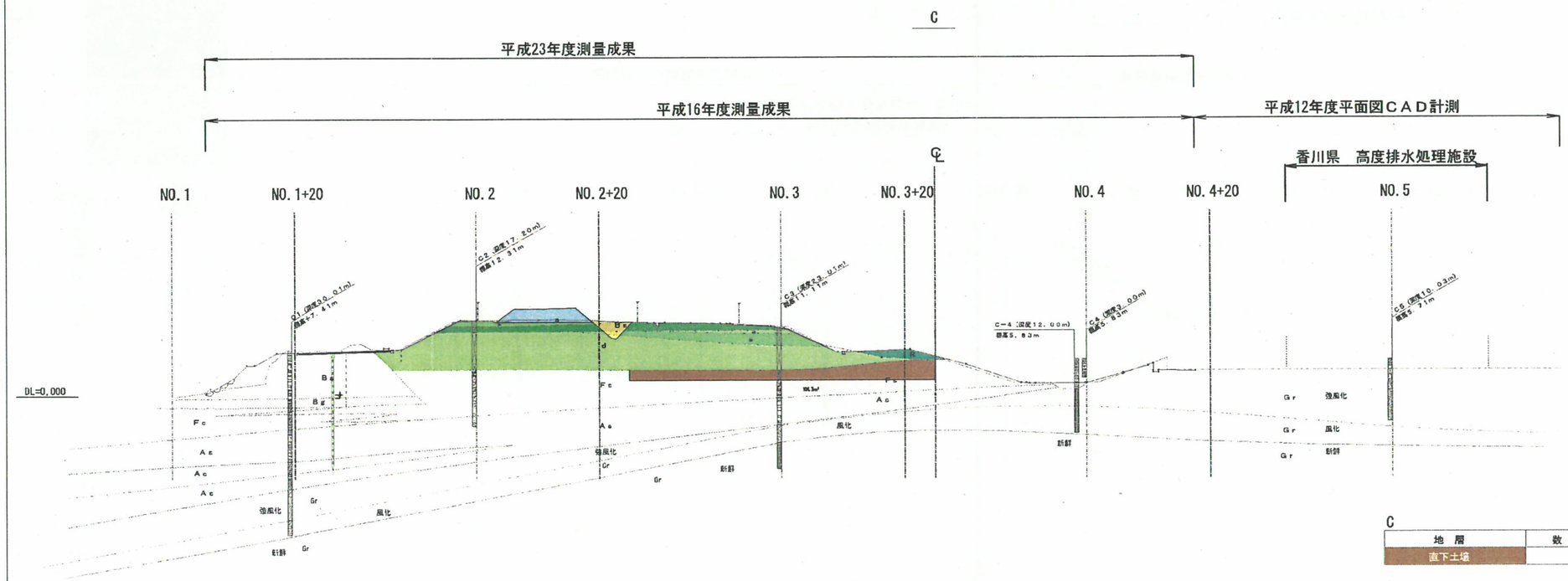
C+30



C+30

項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	69.6㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	32.2㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	421.0㎥
	廃棄物等（鉱さい）	31.9㎥
	覆土	35.4㎥
	仮置土	56.7㎥
	場内移動（廃棄物等）	-㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

C



C

項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	2.4㎥
	廃棄物等（鉱さい）	2.5㎥
	覆土	6.5㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	402.6㎥
	廃棄物等（鉱さい）	60.3㎥
	覆土	56.4㎥
	仮置土	14.2㎥
	場内移動（廃棄物等）	-㎥
	場内移動（仮置土①）	29.0㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

C

地層	数量
直下土壌	104.7㎥

地層区分凡例

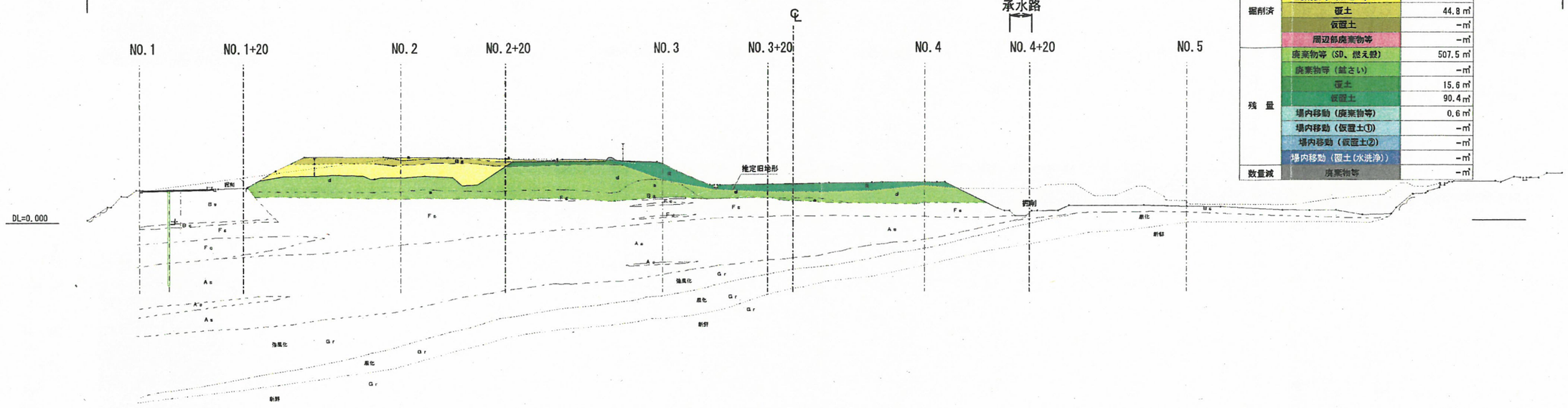
地層	記号	主たる構成物
覆置土層	R	覆置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	e	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

年度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位置	
図面名	横断図 （C＋３０、C）
縮尺	１：４００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

D+20

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果



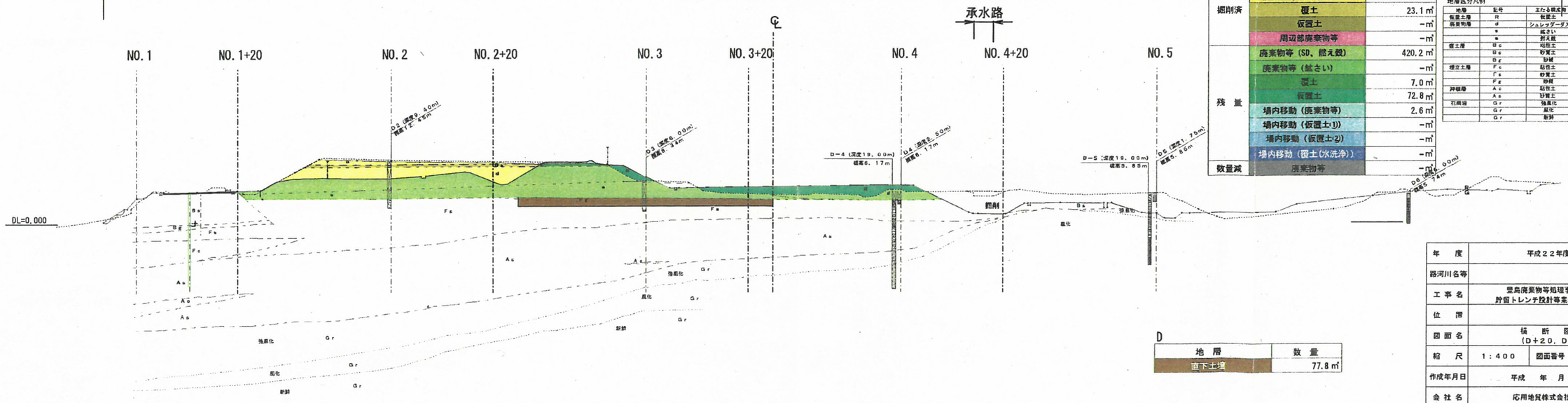
D+20

項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	122.4㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	44.8㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	507.5㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	15.6㎥
	仮置土	90.4㎥
	場内移動（廃棄物等）	0.6㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

D

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果



D

項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	118.2㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	23.1㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	420.2㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	7.0㎥
	仮置土	72.8㎥
	場内移動（廃棄物等）	2.6㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

地層区分凡例

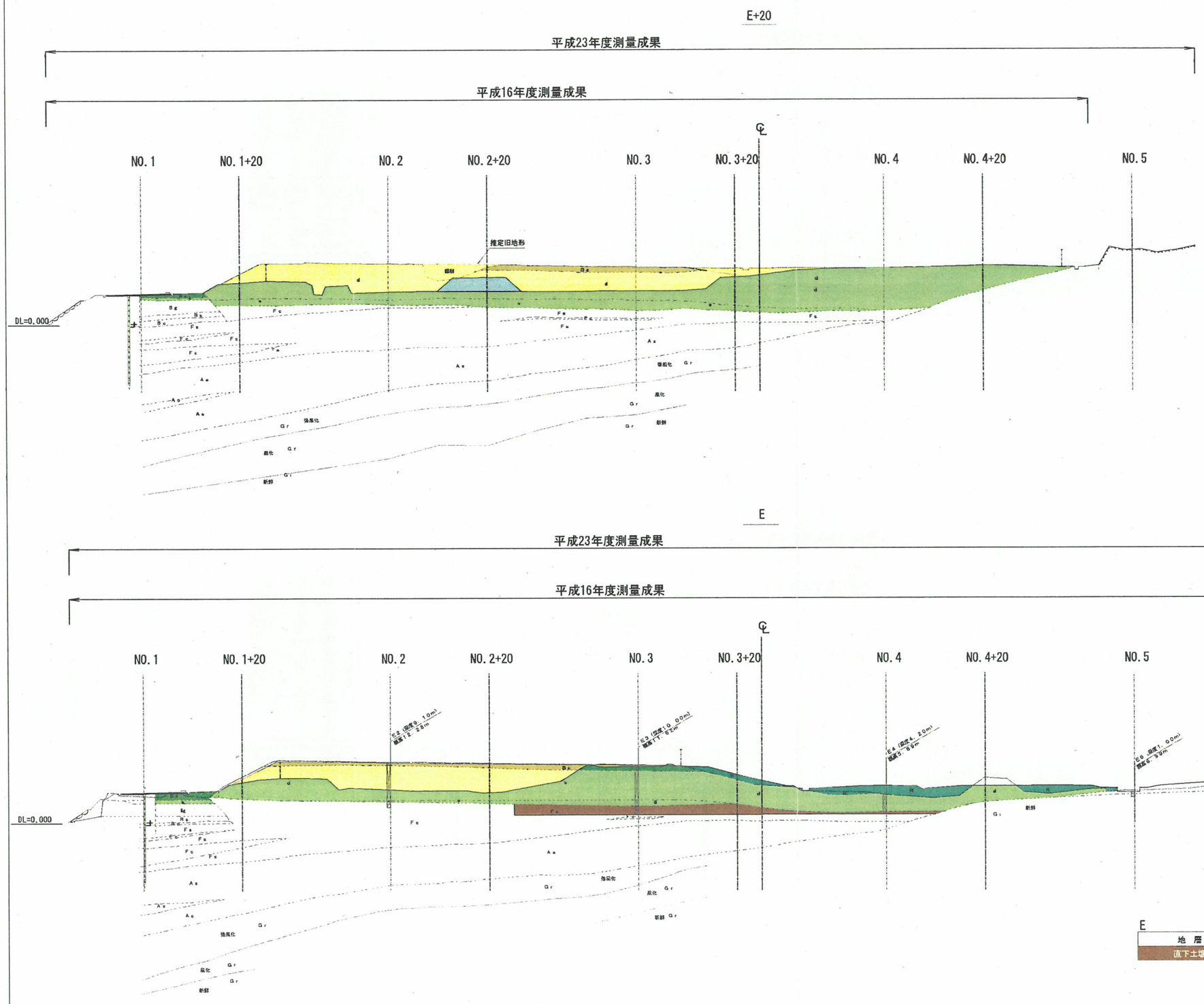
地層	記号	主たる構成物
仮置土層	Fl	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	粘土ﾚﾝｽﾞ
	m	鉄スラグ
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
石岡油	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

D

地層	数量
直下土壌	77.8㎡

年度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位置	
図面名	横断図 （D+20，D）
縮尺	1：400　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

E+20



項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	411.9 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	45.9 ㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	835.1 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	10.1 ㎥
	仮置土	-㎥
	場内移動（廃棄物等）	38.4 ㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

E

項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	254.4 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	53.0 ㎥
	仮置土	-㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	678.7 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	38.5 ㎥
	仮置土	93.9 ㎥
	場内移動（廃棄物等）	-㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	a	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	As	粘性土
	As	砂質土
石垣岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

E

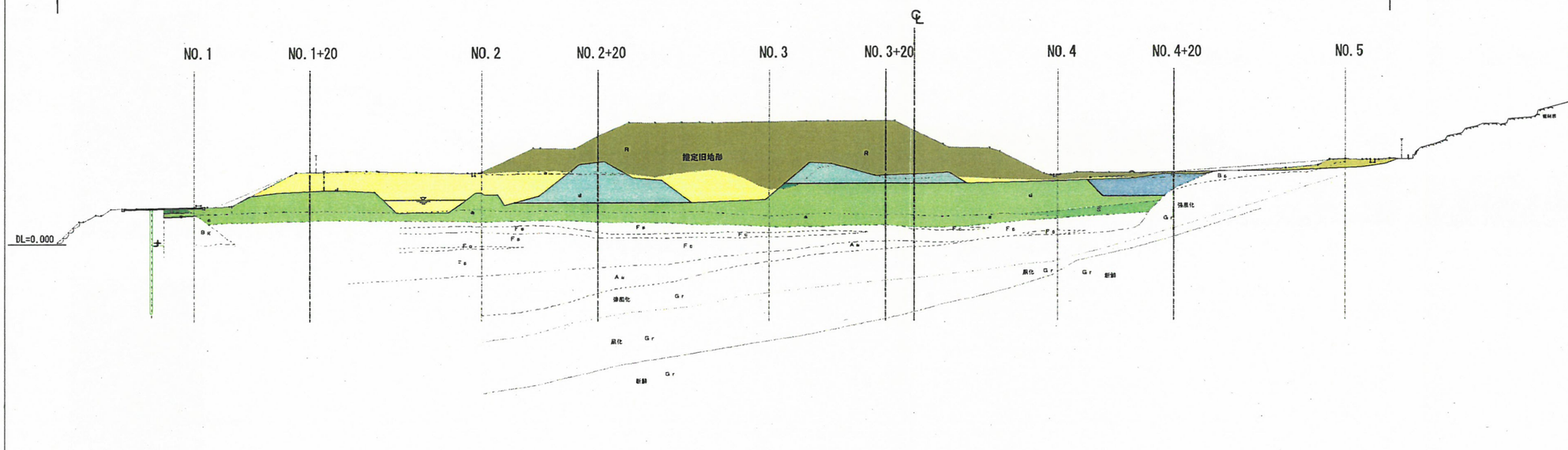
地層	数量
直下土壌	116.4 ㎥

年度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位置	
図面名	横断図 （E+20，E）
縮尺	1：400　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

F+20

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果



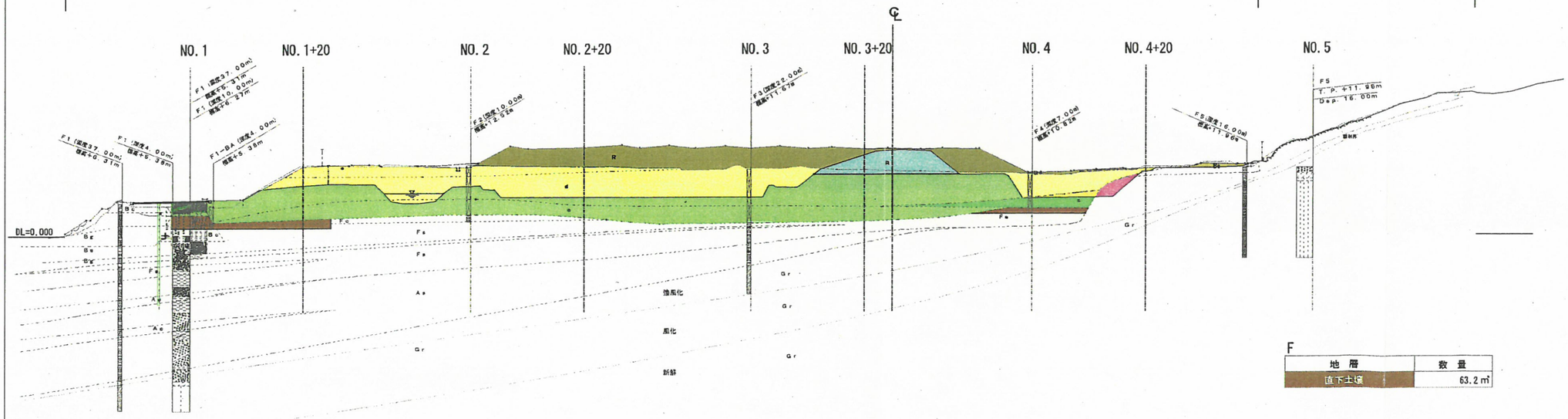
F+20		
項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	319.7 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	20.4 ㎥
	仮置土	667.4 ㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	770.6 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	28.4 ㎥
	覆土	2.9 ㎥
	仮置土	1.9 ㎥
	場内移動（廃棄物等）	181.8 ㎥
	場内移動（仮置土①）	-㎥
	場内移動（仮置土②）	52.0 ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

F

平成23年度測量成果

平成16年度測量成果

平成12年度平面図ＣＡＤ計測



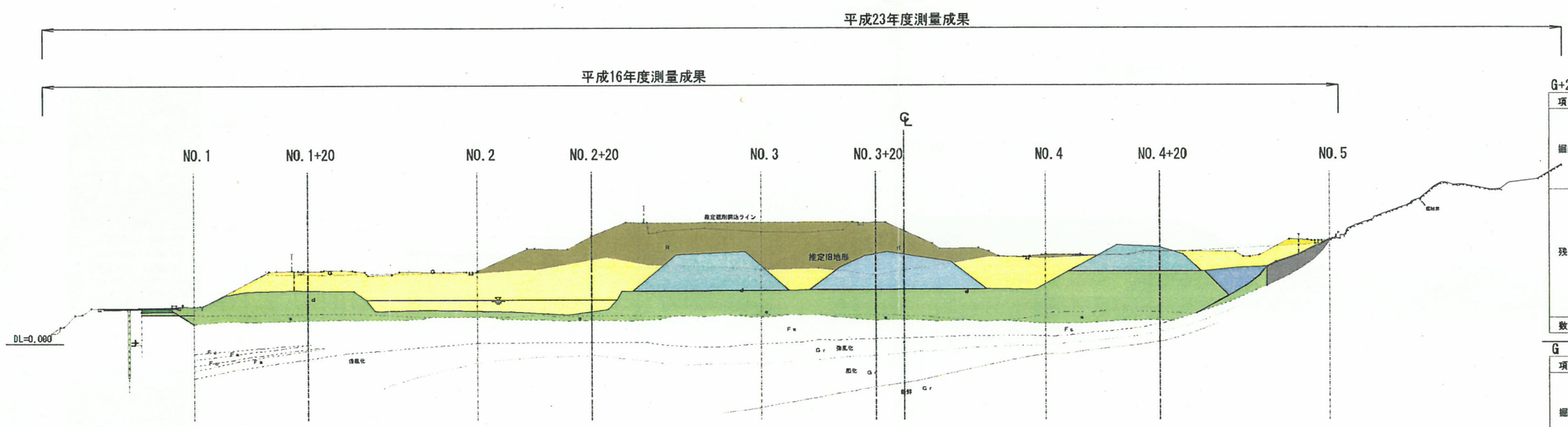
F	
地 層	数 量
直下土壌	63.2 ㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置き層	R	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	c	鉱さい
	a	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
石屑岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

年 度	平成２２年度
路河川名等	
工 事 名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位 置	
図 面 名	横 断 図 （F＋２０，F）
縮 尺	１：４００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会 社 名	応用地質株式会社
事業者名	

G+20



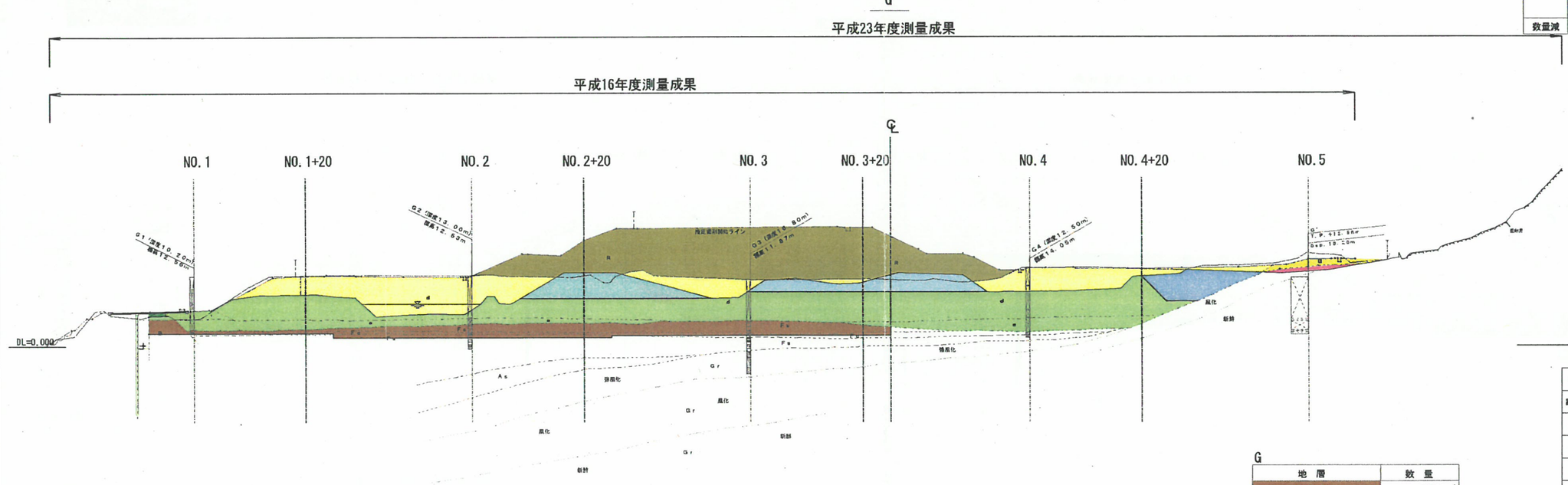
G+20

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	602.9 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	6.2 ㎥
	仮置土	454.7 ㎥
	周辺部廃棄物等	-㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	864.9 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	2.9 ㎥
	仮置土	-㎥
	場内移動（廃棄物等）	203.3 ㎥
	場内移動（仮置土①）	135.6 ㎥
	場内移動（仮置土②）	29.1 ㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	-㎥
数量減	廃棄物等	28.7 ㎥

G

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	430.2 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	19.5 ㎥
	仮置土	618.1 ㎥
	周辺部廃棄物等	10.8 ㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	910.7 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	1.9 ㎥
	仮置土	-㎥
	場内移動（廃棄物等）	101.8 ㎥
	場内移動（仮置土①）	98.5 ㎥
	場内移動（仮置土②）	72.2 ㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

G



G

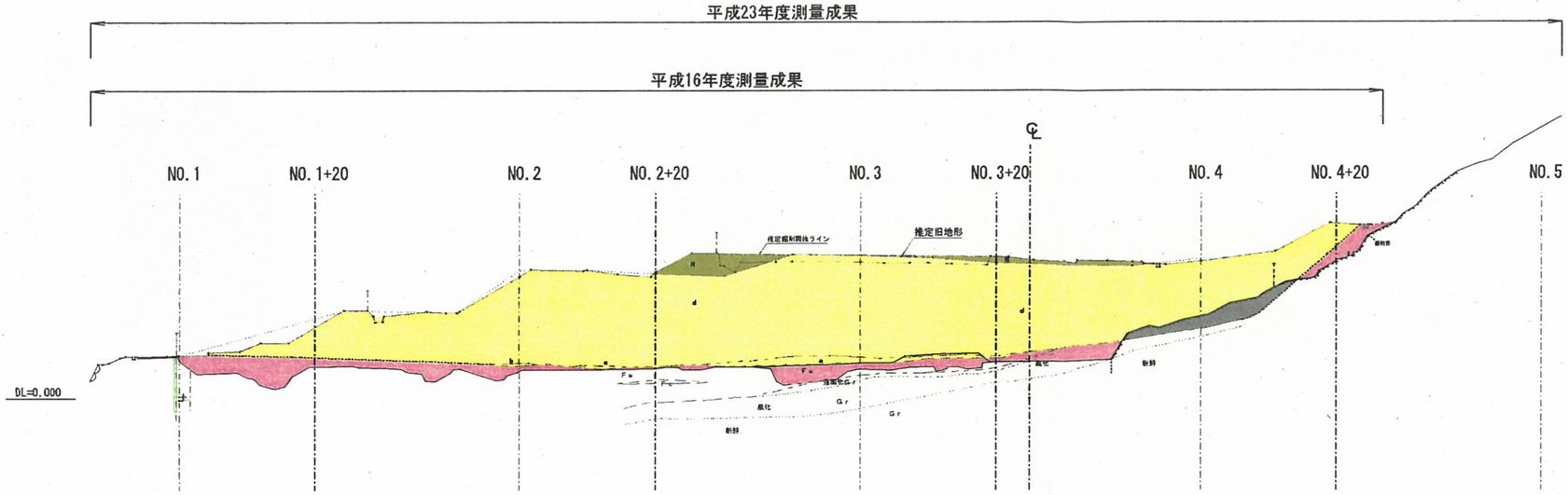
地　層	数　量
直下土壌	269.5 ㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
覆土土層	R	覆土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	o	焼天殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	As	粘性土
	As	砂質土
石面岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （G＋２０，G）
縮　尺	１：４００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

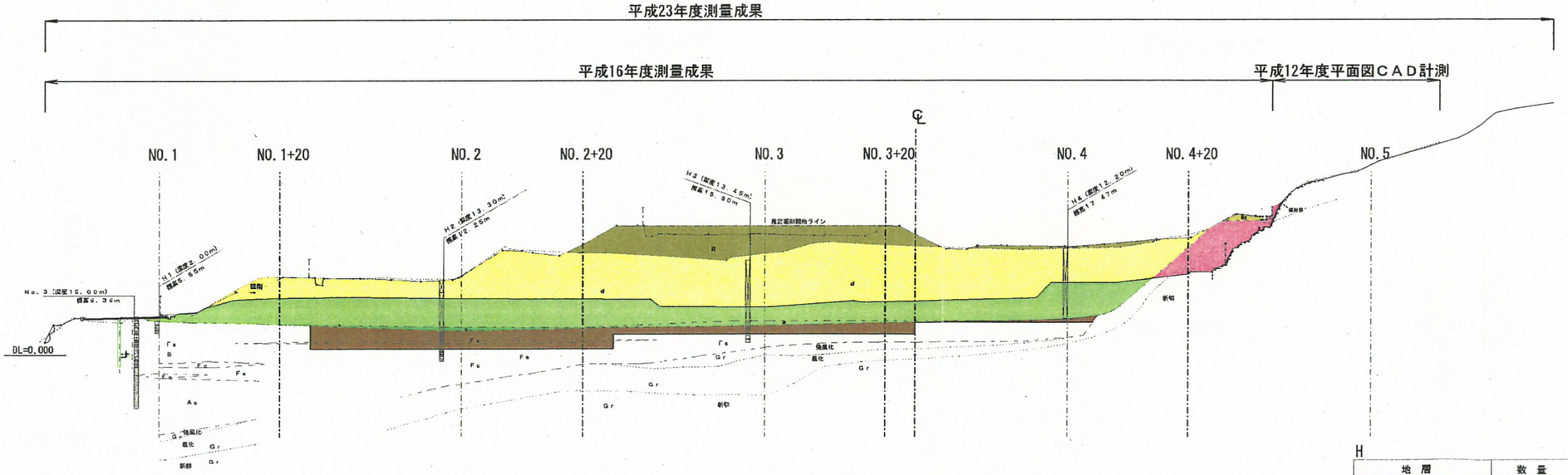
H+20



H+20

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	1738.8 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	226.2 ㎥
	周辺部廃棄物等	64.2 ㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	- ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	46.3 ㎥

H



H

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	1029.4 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	4.7 ㎥
	仮置土	242.7 ㎥
	周辺部廃棄物等	79.4 ㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	640.5 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	17.8 ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

H

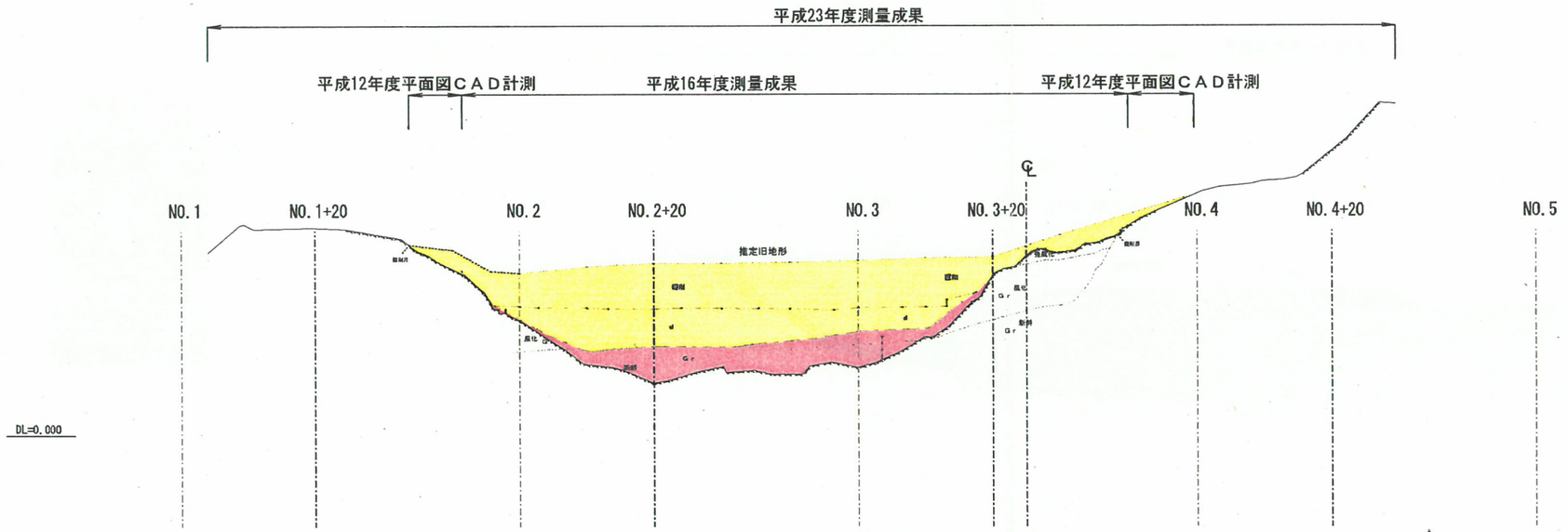
地　層	数　量
直下土掘	254.1 ㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	m	鉱さい
	o	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
岩盤	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

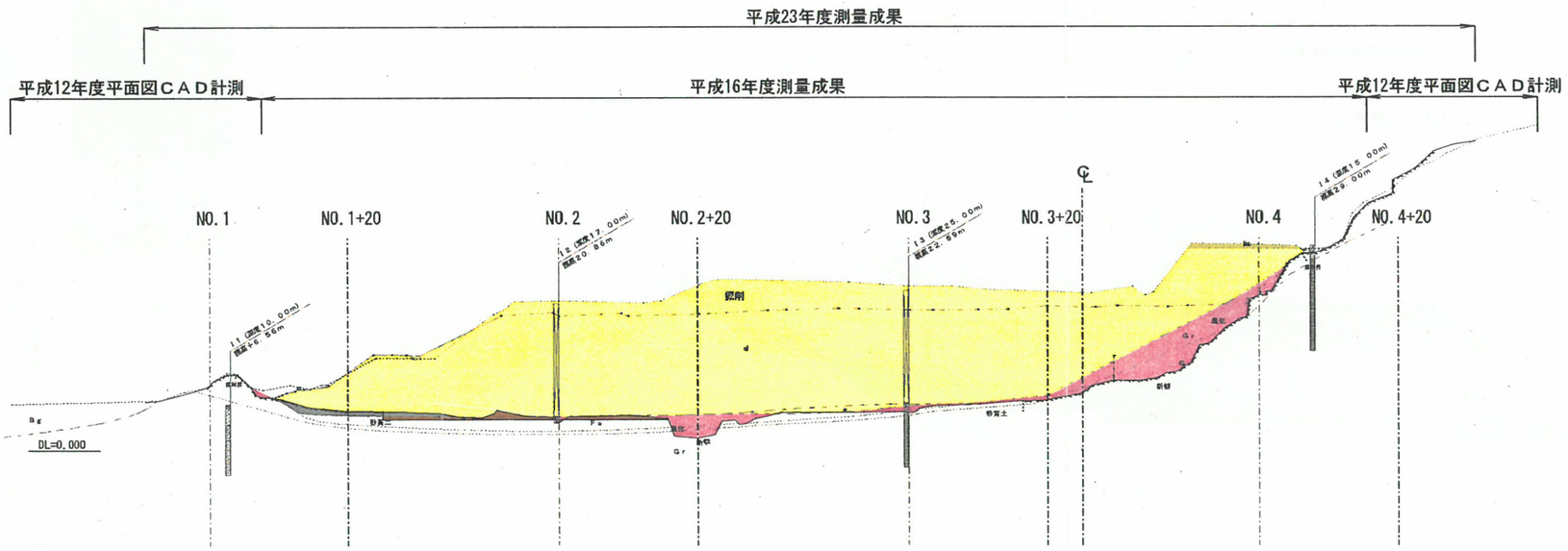
年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （H＋２０，H）
縮　尺	１：４００　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

I+30



項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	848.9㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	周辺部廃棄物等	221.3㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	場内移動（廃棄物等）	－㎥
	場内移動（仮置土①）	－㎥
	場内移動（仮置土②）	－㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	－㎥
数量減	廃棄物等	－㎥

I



項目	地層	数量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	1883.7㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	9.6㎥
	仮置土	－㎥
	周辺部廃棄物等	153.8㎥
残量	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	場内移動（廃棄物等）	－㎥
	場内移動（仮置土①）	－㎥
	場内移動（仮置土②）	－㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	－㎥
数量減	廃棄物等	17.2㎥

地層区分凡例

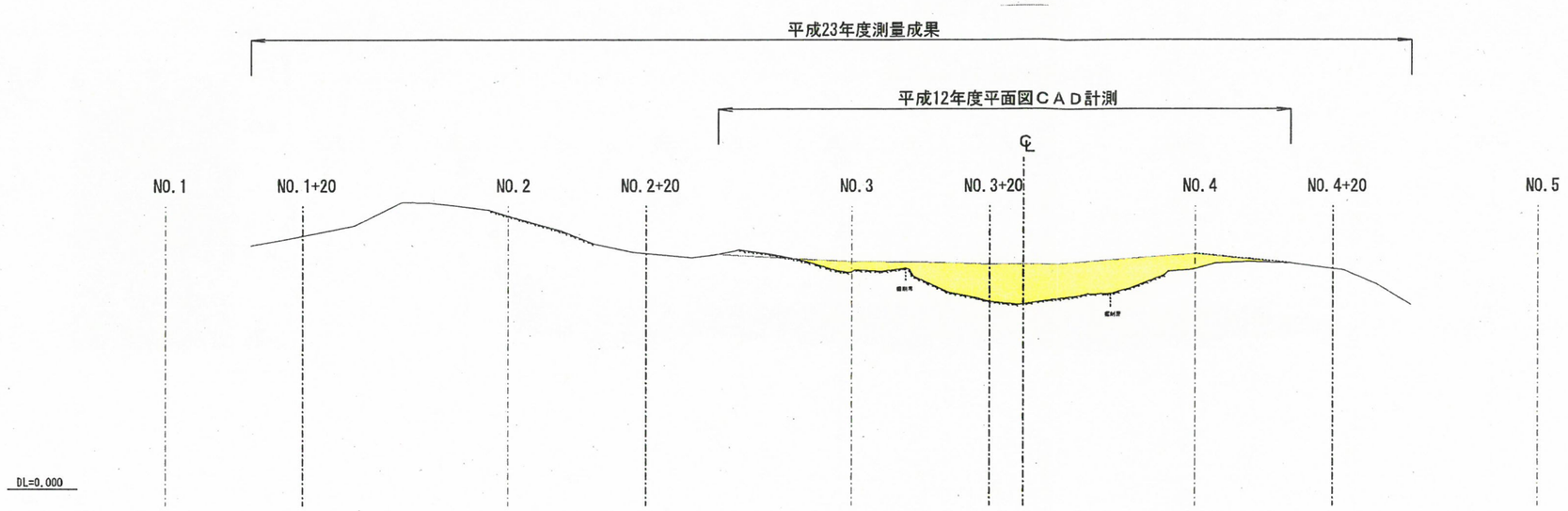
地層	記号	主たる構成物
仮置土層	Fi	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	a	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
石炭岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

I

地層	数量
直下土壌	26.6㎥

年度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位置	
図面名	横断図 （I+30，I）
縮尺	1：400　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

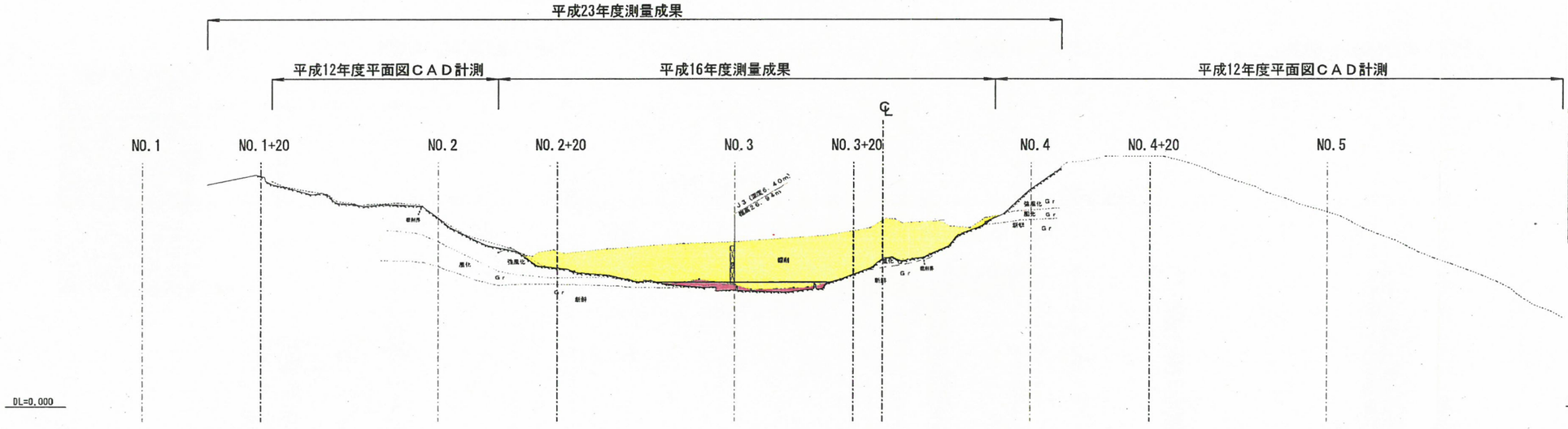
J+20



J+20

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	208.0 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	周辺部廃棄物等	- ㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	- ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	・場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

J



J

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	442.7 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	周辺部廃棄物等	18.1 ㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	- ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土(水洗浄)）	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

地層区分凡例

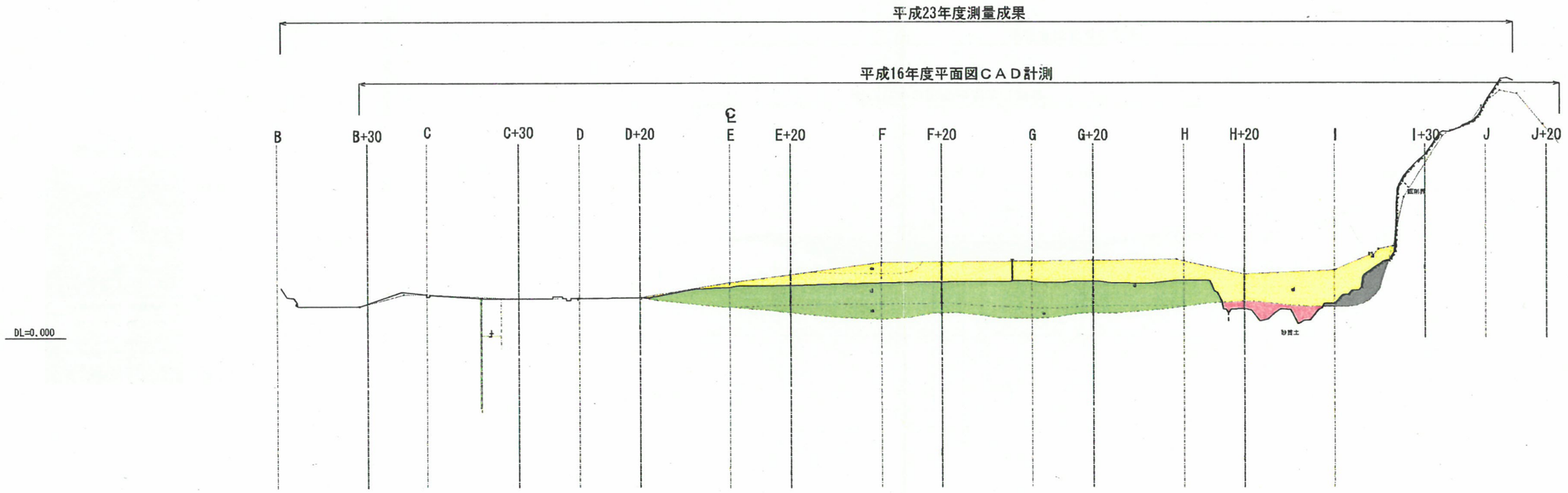
地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	J	シュレッダーダスト
	c	鉱さい
	m	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
石関層	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

J

地　層	数　量
直下土壌	- ㎥

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （J＋20，J）
縮　尺	1：400　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

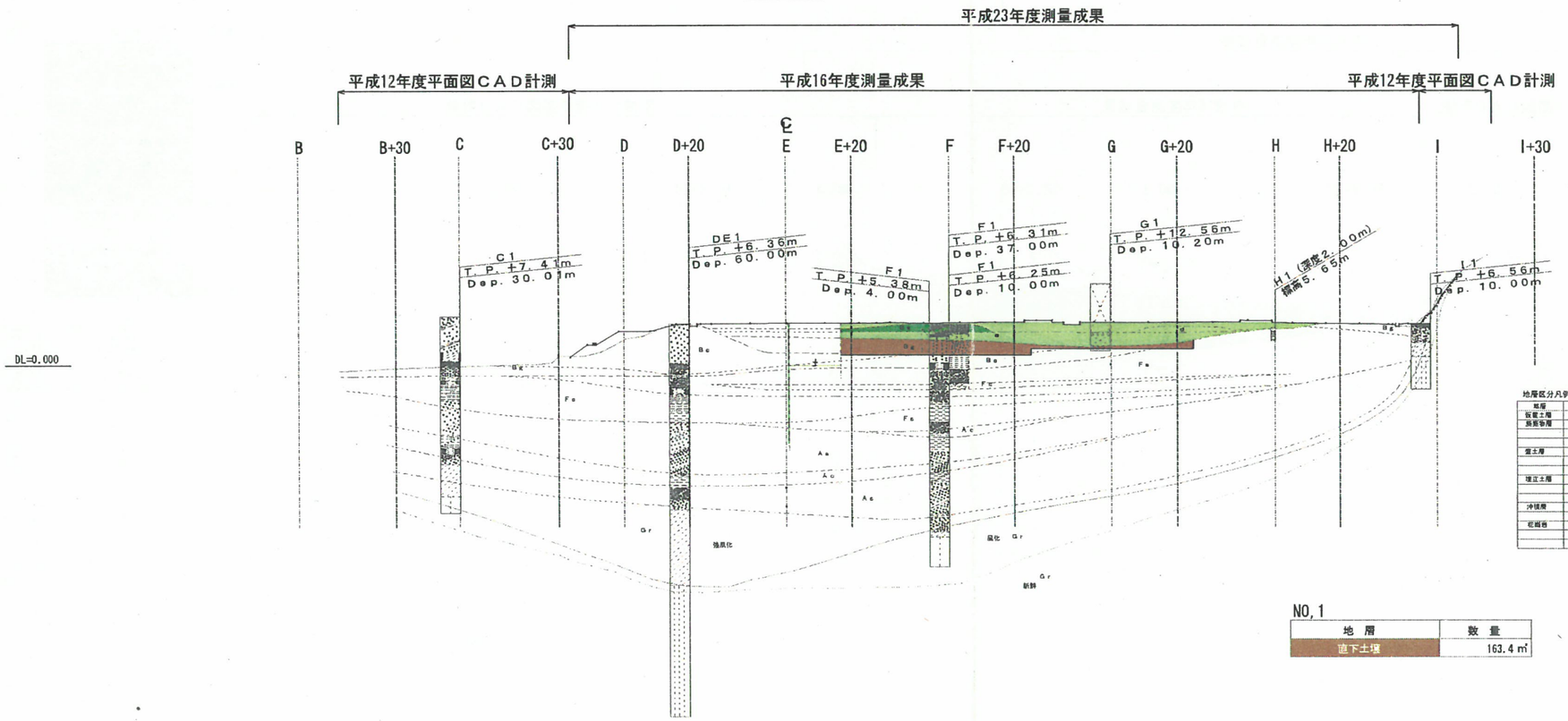
NO. 1+20



NO, 1+20

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	756.1 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	周辺部廃棄物等	56.1 ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	872.3 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	53.6 ㎥

NO. 1



NO, 1

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	- ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	周辺部廃棄物等	- ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	331.5 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	46.2 ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

地層区分凡例

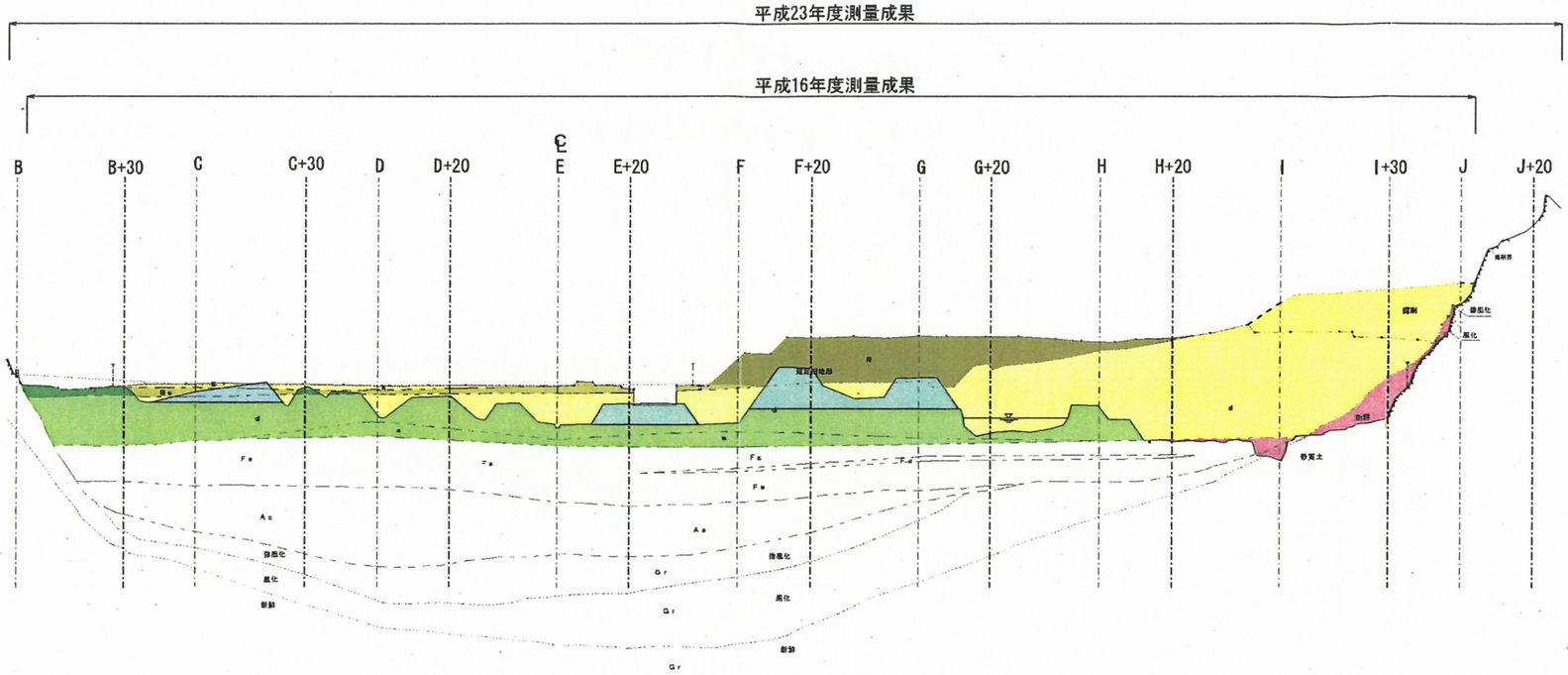
地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	c	鉱さい
	m	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
岩盤層	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

NO, 1

地 層	数 量
直下土壌	163.4 ㎥

年 度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位 置	
図面名	横 断 図 （NO.1+20、NO.1）
縮 尺	縦 1：400 横 1：800 図面番号
作成年月日	平成 年 月 日
会 社 名	応用地質株式会社
事業者名	

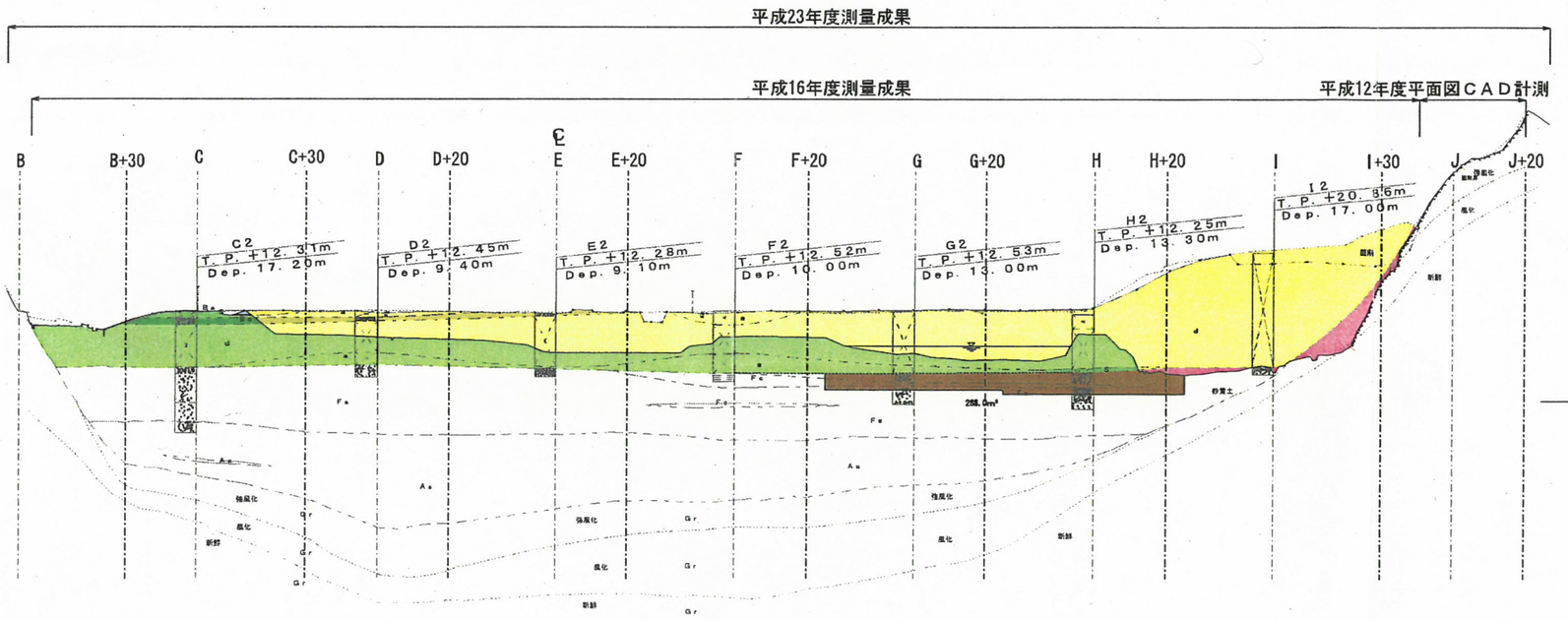
NO. 2+20



NO, 2+20

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	2032.4 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	16.6 ㎥
	覆土	110.4 ㎥
	仮置土	495.0 ㎥
	周辺部廃棄物等	127.4 ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	1351.8 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	42.4 ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	267.8 ㎥
	場内移動（仮置土①）	59.4 ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

NO. 2



NO, 2

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	2024.5 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	9.6 ㎥
	覆土	64.9 ㎥
	仮置土	24.0 ㎥
	周辺部廃棄物等	92.2 ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	1180.6 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	32.7 ㎥
	覆土	33.7 ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	- ㎥
	場内移動（仮置土①）	1.5 ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

NO, 2

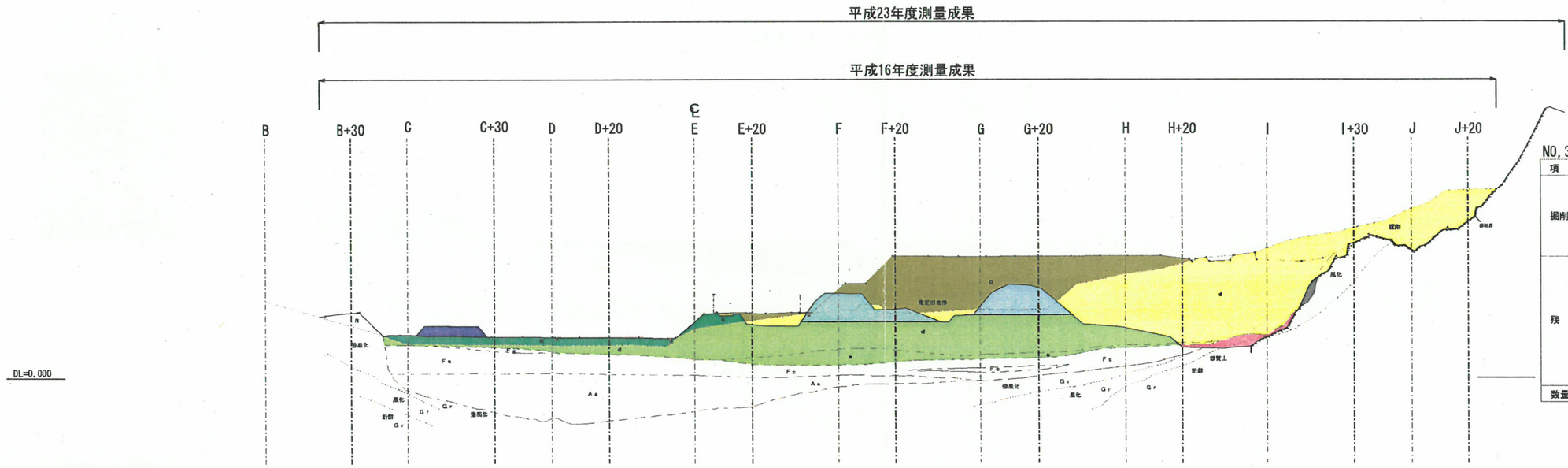
地 層	数 量
直下土壌	268.0 ㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
覆土層	R	覆土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	m	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
堤立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

年 度	平成２２年度
路河川名等	
工 事 名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位 置	
図 面 名	横 断 図 （NO.2+20、NO.2）
縮 尺	縦 1：400 横 1：800 図面番号
作成年月日	平成 年 月 日
会 社 名	応用地質株式会社
事業者名	

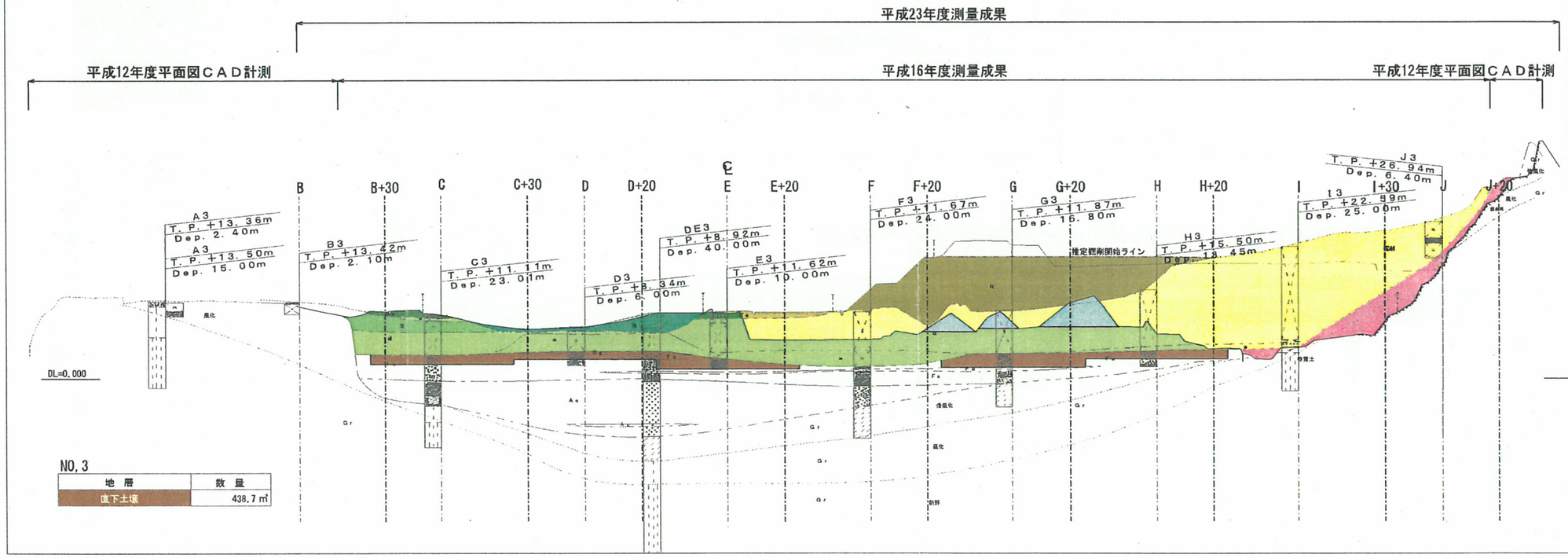
NO. 3+20



NO, 3+20

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	1368.5 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	-㎥
	仮置土	702.2㎥
	周辺部廃棄物等	41.6㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	1183.4 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	-㎥
	仮置土	167.3㎥
	場内移動（廃棄物等）	143.9 ㎥
	場内移動（仮置土①）	120.1 ㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	37.9㎥
数量減	廃棄物等	11.1 ㎥

NO. 3



NO, 3

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	1862.8 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	-㎥
	覆土	31.1㎥
	仮置土	836.2㎥
	周辺部廃棄物等	237.1㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	1262.0 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	107.9 ㎥
	覆土	40.3㎥
	仮置土	113.0㎥
	場内移動（廃棄物等）	117.1 ㎥
	場内移動（仮置土①）	24.3㎥
	場内移動（仮置土②）	-㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	-㎥
数量減	廃棄物等	-㎥

地層区分凡例

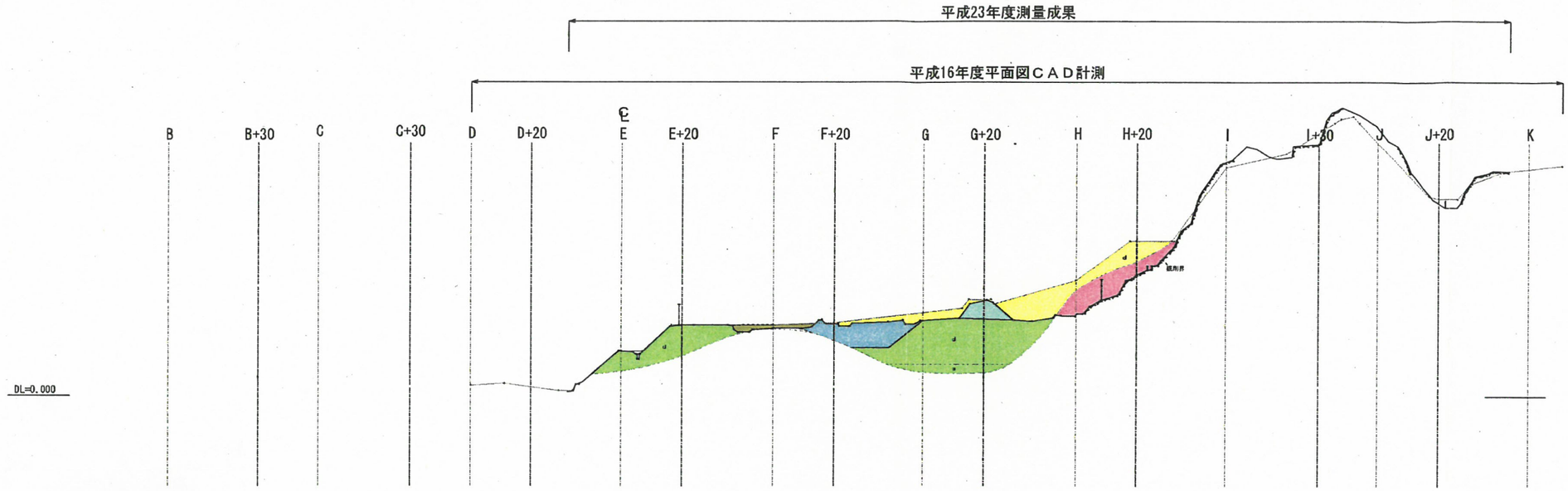
地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	U	シュレッダーダスト
	c	鉱さい
	e	燃え殻
覆土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fz	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

NO, 3

地 層	数 量
直下土壌	438.7 ㎥

年 度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位 置	
図面名	横 断 図 （NO.3+20、NO.3）
縮 尺	横 1：400 縦 1：800 図面番号
作成年月日	平成 年 月 日
会 社 名	応用地質株式会社
事業者名	

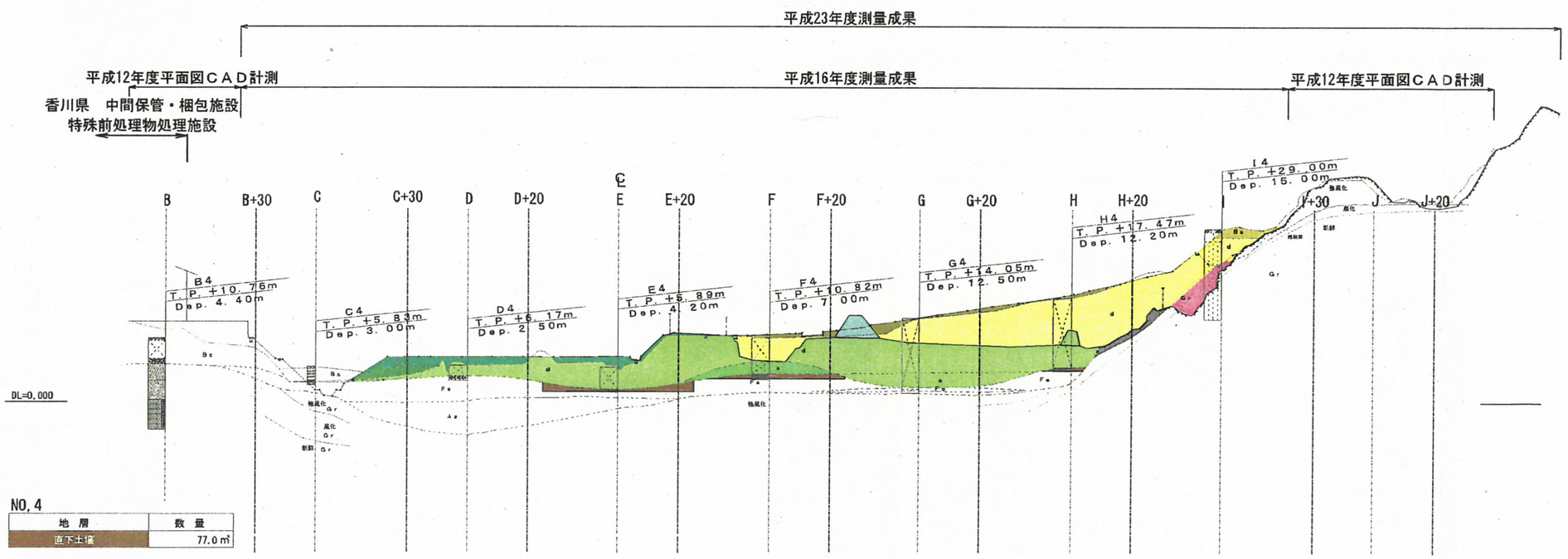
NO. 4+20



NO. 4+20

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	219.1 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	20.8 ㎥
	周辺廃棄物等	116.5 ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	542.2 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	- ㎥
	仮置土	- ㎥
	場内移動（廃棄物等）	34.9 ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	111.8 ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	- ㎥

NO. 4



NO. 4

項 目	地 層	数 量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	764.1 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	- ㎥
	覆土	24.3 ㎥
	仮置土	59.0 ㎥
	周辺廃棄物等	58.0 ㎥
残 量	廃棄物等（SD、燃え殻）	1021.9 ㎥
	廃棄物等（鉱さい）	73.0 ㎥
	覆土	35.1 ㎥
	仮置土	110.4 ㎥
	場内移動（廃棄物等）	47.3 ㎥
	場内移動（仮置土①）	- ㎥
	場内移動（仮置土②）	- ㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	- ㎥
数量減	廃棄物等	25.6 ㎥

地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置土層	R	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	b	鉱さい
	a	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土層	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
花崗岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

NO. 4

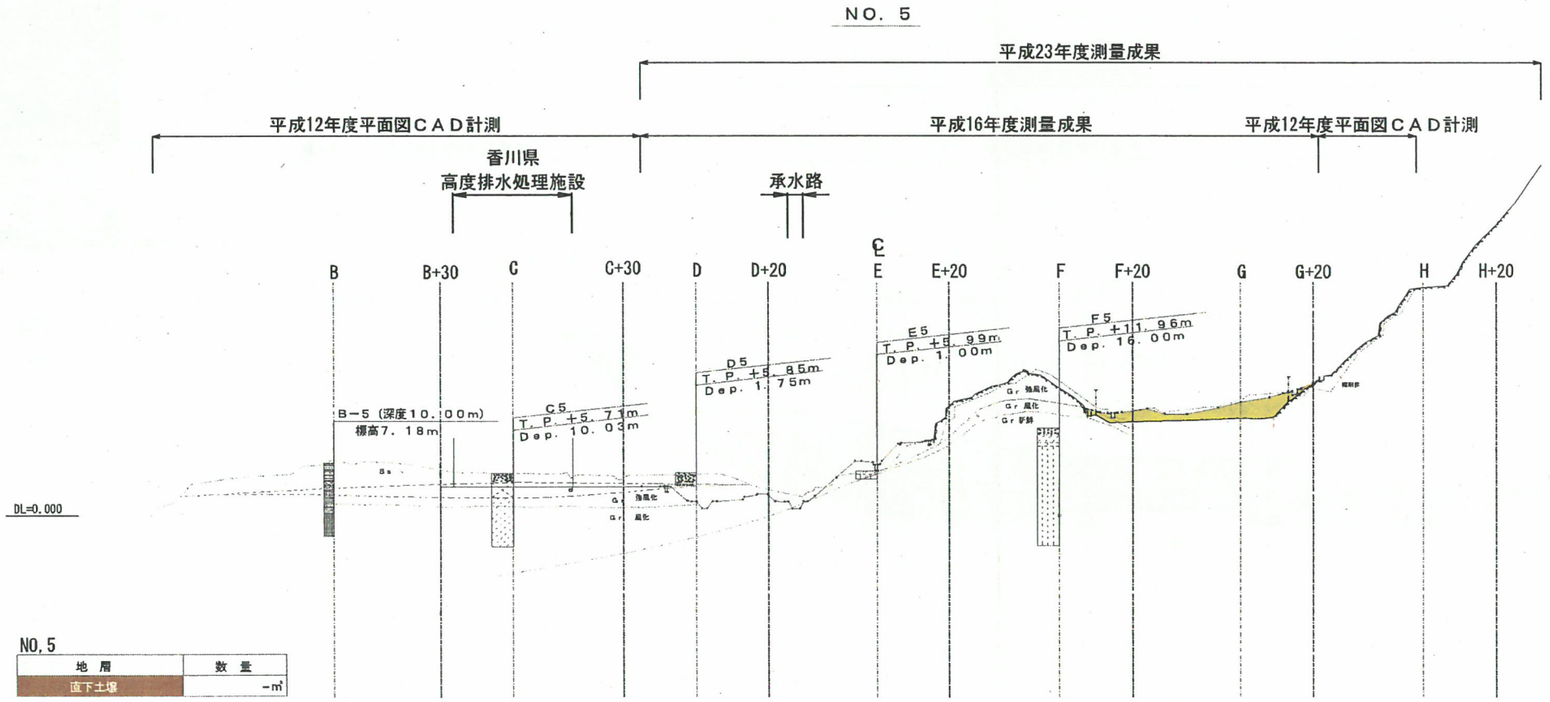
地 層	数 量
直下土壌	77.0 ㎥

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （NO.4+20、NO.4）
縮　尺	縦 1：400 横 1：800　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

NO,5

項　目	地　層	数　量
掘削済	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	90.2㎥
	仮置土	－㎥
	周辺廃棄物等	－㎥
残　量	廃棄物等（SD、燃え殻）	－㎥
	廃棄物等（鉱さい）	－㎥
	覆土	－㎥
	仮置土	－㎥
	場内移動（廃棄物等）	－㎥
	場内移動（仮置土(1)）	－㎥
	場内移動（仮置土(2)）	－㎥
	場内移動（覆土（水洗浄））	－㎥
数量減	廃棄物等	－㎥

NO. 5



地層区分凡例

地層	記号	主たる構成物
仮置土場	Fl	仮置土
廃棄物層	d	シュレッダーダスト
	s	鉱さい
	m	燃え殻
盛土層	Bc	粘性土
	Bs	砂質土
	Bg	砂礫
埋立土場	Fc	粘性土
	Fs	砂質土
	Fg	砂礫
沖積層	Ac	粘性土
	As	砂質土
石部岩	Gr	強風化
	Gr	風化
	Gr	新鮮

NO,5

地　層	数　量
直下土壌	－㎥

年　度	平成２２年度
路河川名等	
工事名	豊島廃棄物等処理事業 貯留トレンチ設計等業務委託
位　置	
図面名	横　断　図 （NO.5）
縮　尺	縦　1：400 横　1：800　図面番号
作成年月日	平成　年　月　日
会社名	応用地質株式会社
事業者名	

B～J+20 測線（合計 18 測線）を用いた廃棄物等量計算書

廃　棄　物　等　量　計　算　書

測点番号	距離 (m)	掘削済 廃棄物等（SD、盛え殻）			掘削済 廃棄物等（塩さい）			掘削済 覆土			掘削済 仮置土			掘削済 周辺部廃棄物等			残置 廃棄物等（SD、盛え殻）			残置 廃棄物等（塩さい）			残置 覆土			残置 仮置土			残置 場内移動（廃棄物等）			残置 場内移動（仮置土①）			残置 場内移動（仮置土②）			残置 場内移動（覆土（水洗浄））			数量減 廃棄物等			備考
		断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	
A+48.36	0.00	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
B	1.64	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	31.0	15.50	25.4	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
B'	0.00	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	110.6	70.80	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
B+30	30.00	0.0	0.00	0.0	3.5	1.75	52.5	2.3	1.15	34.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	347.5	229.05	6,871.5	104.2	52.10	1,563.0	71.1	35.55	1,066.5	3.7	1.85	55.5	0.0	0.00	0.0	4.8	2.40	72.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
C	20.00	2.4	1.20	24.0	2.5	3.00	60.0	6.5	4.40	88.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	402.6	375.05	7,501.0	60.3	82.25	1,645.0	56.4	63.75	1,275.0	14.2	8.95	179.0	0.0	0.00	0.0	29.0	16.90	338.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
C+30	30.00	69.6	36.00	1,080.0	0.0	1.25	37.5	32.2	19.35	580.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	421.0	411.80	12,354.0	31.9	46.10	1,383.0	35.4	45.90	1,377.0	56.7	35.45	1,063.5	0.0	0.00	0.0	0.0	14.50	435.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
D	20.00	118.2	93.90	1,878.0	0.0	0.00	0.0	23.1	27.65	553.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	420.2	420.60	8,412.0	0.0	15.95	319.0	7.0	21.20	424.0	72.8	64.75	1,295.0	2.6	1.30	26.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
D+20	20.00	122.4	120.30	2,406.0	0.0	0.00	0.0	44.8	33.95	679.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	507.5	463.85	9,277.0	0.0	0.00	0.0	15.6	11.30	226.0	90.4	81.60	1,632.0	0.6	1.60	32.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
E	30.00	254.4	188.40	5,652.0	0.0	0.00	0.0	53.0	48.90	1,467.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	678.7	593.10	17,793.0	0.0	0.00	0.0	38.5	27.05	811.5	93.9	92.15	2,764.5	0.0	0.30	9.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
E+20	20.00	450.3	352.35	7,047.0	0.0	0.00	0.0	45.9	49.45	989.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	835.1	756.90	15,138.0	0.0	0.00	0.0	10.1	24.30	486.0	0.0	46.95	939.0	38.4	19.20	384.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
F	30.00	531.2	490.75	14,722.5	7.2	3.60	108.0	6.3	26.10	783.0	349.2	174.60	5,238.0	12.1	6.05	181.5	754.0	794.55	23,836.5	41.8	20.90	627.0	10.0	10.05	301.5	0.0	0.00	0.0	76.4	57.40	1,722.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
F+20	20.00	469.9	500.55	10,011.0	0.0	3.60	72.0	20.4	13.35	267.0	699.0	524.10	10,482.0	0.0	6.05	121.0	770.6	762.30	15,246.0	28.4	35.10	702.0	2.9	6.45	129.0	1.9	0.95	19.0	181.8	129.10	2,582.0	0.0	0.00	0.0	52.0	26.00	520.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
G	30.00	602.6	536.25	16,087.5	0.0	0.00	0.0	19.5	19.95	598.5	646.0	672.50	20,175.0	10.8	5.40	162.0	910.7	840.65	25,219.5	0.0	14.20	426.0	1.9	2.40	72.0	0.0	0.95	28.5	101.8	141.80	4,254.0	98.5	49.25	1,477.5	72.2	62.10	1,863.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
G+20	20.00	847.9	725.25	14,505.0	0.0	0.00	0.0	6.2	12.85	257.0	536.0	591.00	11,820.0	0.0	5.40	108.0	864.9	887.80	17,756.0	0.0	0.00	0.0	2.9	2.40	48.0	0.0	0.00	0.0	203.3	152.55	3,051.0	135.6	117.05	2,341.0	29.1	50.65	1,013.0	0.0	0.00	0.0	28.7	14.35	287.0	
H	30.00	1029.4	938.65	28,159.5	0.0	0.00	0.0	4.7	5.45	163.5	242.7	389.35	11,680.5	79.4	39.70	1,191.0	640.5	752.70	22,581.0	17.8	8.90	267.0	0.0	1.45	43.5	0.0	0.00	0.0	0.0	101.65	3,049.5	0.0	67.80	2,034.0	0.0	14.55	436.5	0.0	0.00	0.0	0.0	14.35	430.5	
H+20	20.00	1738.8	1384.10	27,682.0	0.0	0.00	0.0	0.0	2.35	47.0	64.2	153.45	3,069.0	226.2	152.80	3,056.0	0.0	320.25	6,405.0	0.0	8.90	178.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	46.3	23.15	463.0	
I	30.00	1883.7	1811.25	54,337.5	0.0	0.00	0.0	9.6	4.80	144.0	0.0	32.10	963.0	153.8	190.00	5,700.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	17.2	31.75	952.5	
I+30	30.00	848.9	1366.30	40,989.0	0.0	0.00	0.0	0.0	4.80	144.0	0.0	0.00	0.0	221.3	187.55	5,626.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	8.60	258.0	
J	20.00	442.7	645.800	12,916.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	18.1	119.70	2,394.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
J+20	20.00	208.0	325.350	6,507.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	9.05	181.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
K	30.00	0.0	104.000	3,120.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
合計	451.64			247,124.0			330.0			6,795.0			63,427.5			18,721.0			188,415.9			7,110.0			6,260.0			7,976.0			15,109.5			6,697.5			3,832.5			0.0			2,391.0	

１～５測線（合計９測線）を用いた廃棄物等量計算書

廃　棄　物　等　量　計　算　書

測点番号	距離 (m)	掘削済 廃棄物等（SD、盛え殻）			掘削済 廃棄物等（塩さい）			掘削済 覆土			掘削済 仮置土			掘削済 周辺部廃棄物等			残置 廃棄物等（SD、盛え殻）			残置 廃棄物等（塩さい）			残置 覆土			残置 仮置土			残置 場内移動（廃棄物等）			残置 場内移動（仮置土①）			残置 場内移動（仮置土②）			残置 場内移動（覆土（水洗浄））			数量減 廃棄物等			備考
		断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	断面積 (㎡)	平均断面積 (m)	廃棄物等量 (㎥)	
-9.26	0.00	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	
NO.1	9.26	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	331.5	165.75	1,534.8	0.0	0.00	0.0	46.2	23.10	213.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO.1+20	20.00	756.1	378.05	7,561.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	56.1	28.05	561.0	872.3	601.90	12,038.0	0.0	0.00	0.0	0.0	23.10	462.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	53.6	26.80	536.0	
NO.2	30.00	2024.5	1390.30	41,709.0	7.7	3.85	115.5	64.9	32.45	973.5	24.0	12.00	360.0	92.2	74.15	2,224.5	1180.6	1026.45	30,793.5	32.7	16.35	490.5	33.7	16.85	505.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	1.5	0.75	22.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	26.80	804.0	
NO.2+20	20.00	2322.3	2173.40	43,468.0	16.6	12.15	243.0	110.4	87.65	1,753.0	532.3	278.15	5,563.0	127.4	109.80	2,196.0	1351.8	1266.20	25,324.0	0.0	16.35	327.0	42.4	38.05	761.0	0.0	0.00	0.0	267.8	133.90	2,678.0	59.4	30.45	609.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO.3	30.00	1997.0	2159.65	64,789.5	0.0	8.30	249.0	31.1	70.75	2,122.5	843.4	687.85	20,635.5	237.1	182.25	5,467.5	1262.0	1306.90	39,207.0	107.9	53.95	1,618.5	40.3	41.35	1,240.5	113.0	56.50	1,695.0	117.1	192.45	5,773.5	24.3	41.85	1,255.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO.3+20	20.00	1485.9	1741.45	34,829.0	0.0	0.00	0.0	0.0	15.55	311.0	838.8	841.10	16,822.0	41.6	139.35	2,787.0	1183.4	1222.70	24,454.0	0.0	53.95	1,079.0	0.0	20.15	403.0	167.3	140.15	2,803.0	143.9	130.50	2,610.0	120.1	72.20	1,444.0	0.0	0.00	0.0	37.9	18.95	379.0	11.1	5.55	111.0	
NO.4	30.00	764.1	1125.00	33,750.0	0.0	0.00	0.0	24.3	12.15	364.5	79.6	459.20	13,776.0	58.0	49.80	1,494.0	1033.4	1108.40	33,252.0	73.0	36.50	1,095.0	35.1	17.55	526.5	110.4	138.85	4,165.5	35.8	89.85	2,695.5	0.0	60.05	1,801.5	0.0	0.00	0.0	0.0	18.95	568.5	25.6	18.35	550.5	
NO.4+20	20.00	254.0	509.05	10,181.0	0.0	0.00	0.0	0.0	12.15	243.0	20.8	50.20	1,004.0	116.5	87.25	1,745.0	542.2	787.80	15,756.0	0.0	36.50	730.0	0.0	17.55	351.0	0.0	55.20	1,104.0	34.9	35.35	707.0	0.0	0.00	0.0	111.8	55.90	1,118.0	0.0	0.00	0.0	0.0	12.80	256.0	
NO.5	30.00	0.0	127.00	3,810.0	0.0	0.00	0.0	90.2	45.10	1,353.0	0.0	10.40	312.0	0.0	58.25	1,747.5	0.0	271.10	8,133.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	17.45	523.5	0.0	0.00	0.0	0.0	55.90	1,677.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
+18.85	18.85	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	45.10	850.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
合計	228.11			240,097.5			607.5			7,970.6			58,472.5			18,222.5			190,492.3			5,340.0			4,463.4			9,767.5			14,987.5			5,132.5			2,795.0			947.5			2,257.5	

B～J+20 測線（合計 18 測線）を用いた土量計算書

土量計算書

測点番号	距離（m）	直下土壌（横断） 断面積（㎡）	平均断面積（㎡）	土量（㎥）	備考
A	0.00	0.0			
B	50.00	0.0	0.00	0.0	
C	50.00	104.7	52.35	2,617.5	
D	50.00	77.8	91.25	4,562.5	
E	50.00	116.4	97.10	4,855.0	
F	50.00	63.2	89.80	4,490.0	
G	50.00	268.5	165.85	8,292.5	
H	50.00	254.1	261.30	13,065.0	
I	50.00	26.6	140.35	7,017.5	
J	50.00	0.0	13.30	665.0	
K					
合計	450.00			45,565.0	

１～５測線（合計 9 測線）を用いた土量計算書

土量計算書

測点番号	距離（m）	直下土壌（縦断） 断面積（㎡）	平均断面積（㎡）	土量（㎥）	備考
-9.26	0.00	0.0		0.0	
NO,1	9.26	163.4	81.70	756.5	
NO,2	50.00	268.0	215.70	10,785.0	
NO,3	50.00	438.7	353.35	17,667.5	
NO,4	50.00	77.0	257.85	12,892.5	
NO,5	50.00	0.0	38.50	1,925.0	
合計	209.26			44,026.5	

周辺廃棄物等量の斜面部及び平坦部の内訳

廃棄物等量計算書

測点番号	距離（m）	周辺部廃棄物等（斜面部） 断面積（㎡）	平均断面積（㎡）	廃棄物等量（㎥）	周辺部廃棄物等（つぼ堀廃棄物を含む）（平坦部） 断面積（㎡）	平均断面積（㎡）	廃棄物等量（㎥）	備考
A+48.36	0.00							
B	1.64							
B'	0.00							
B+30	30.00							
C	20.00							
C+30	30.00							
D	20.00							
D+20	20.00							
E	30.00							
E+20	20.00	0.0						
F	30.00	12.1	6.05	181.5				
F+20	20.00	0.0	6.05	121.0				
G	30.00	10.8	5.40	162.0				
G+20	20.00	0.0	5.40	108.0	0.0			
H	30.00	79.4	39.70	1,191.0	0.0	0.00	0.0	
H+20	20.00	43.7	61.55	1,231.0	182.5	91.25	1,825.0	
I	30.00	114.7	79.20	2,376.0	39.1	110.80	3,324.0	
I+30	30.00	221.3	168.00	5,040.0	0.0	19.55	586.5	
J	20.00	18.1	119.70	2,394.0				
J+20	20.00	0.0	9.05	181.0				
K	30.00							
合計	451.64			12,985.5			5,735.5	

〈測量時の廃棄物下端標高〉

	H1-1	H1-2	H1-3	H1-4	H1-5
1H-1					
1H-2					
1H-3					
1H-4					3.067
1H-5					4.712

	H2-1	H2-2	H2-3	H2-4	H2-5
2H-1					4.462
2H-2					3.837
2H-3					3.853
2H-4					4.201
2H-5					4.304

	I2-1	I2-2	I2-3	I2-4	I2-5
2I-1	4.227	4.49	5.378	7.33	13.67
2I-2	1.316	4.09	5.004	6.255	11.62
2I-3	3.787	4.188	3.956	6.151	7.046
2I-4	4.322	4.316	5	5.36	6.356
2I-5	4.416	4.356	1.73	5.192	6.341

	H3-1	H3-2	H3-3	H3-4	H3-5
3H-1					4.579
3H-2					
3H-3					
3H-4					4.59
3H-5					5.333

	I3-1	I3-2	I3-3	I3-4	I3-5
3I-1	4.39	4.574	4.853	5.36	6.851
3I-2	2.387	5.24	5.374	5.772	6.665
3I-3	4.668	3.355	5.27	6.869	7.529
3I-4	4.869	4.958	6.486	7.544	11.47
3I-5	5.194	5.377	7.27	11.3	18.57

	H4-1	H4-2	H4-3	H4-4	H4-5
4H-1					5.389
4H-2					
4H-3					
4H-4					
4H-5					

: 部分掘削箇所の下端標高

: 地形図読み取り

: H23.6.2測量

〈公調委時の廃棄物下端標高〉

	H1-1	H1-2	H1-3	H1-4	H1-5
1H-1					
1H-2					
1H-3					
1H-4					5.09
1H-5					5.09

	H2-1	H2-2	H2-3	H2-4	H2-5
2H-1					4.05
2H-2					4.05
2H-3					4.05
2H-4					4.05
2H-5					4.05

	I2-1	I2-2	I2-3	I2-4	I2-5
2I-1	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86
2I-2	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86
2I-3	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86
2I-4	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86
2I-5	4.86	4.86	4.86	4.86	4.86

	H3-1	H3-2	H3-3	H3-4	H3-5
3H-1					4.8
3H-2					
3H-3					
3H-4					4.8
3H-5					4.8

	I3-1	I3-2	I3-3	I3-4	I3-5
3I-1	6.16	6.16	6.16	6.16	6.16
3I-2	6.16	6.16	6.16	6.16	6.16
3I-3	6.16	6.16	6.16	6.16	6.16
3I-4	6.16	6.16	6.16	6.16	6.16
3I-5	6.16	6.16	6.16	6.16	6.16

	H4-1	H4-2	H4-3	H4-4	H4-5
4H-1					5.97
4H-2					
4H-3					
4H-4					
4H-5					

〈今回測量ー公調委時の標高差〉

	H1-1	H1-2	H1-3	H1-4	H1-5
1H-1					
1H-2					
1H-3					
1H-4					2.023
1H-5					0.378

	H2-1	H2-2	H2-3	H2-4	H2-5
2H-1					−0.412
2H-2					0.213
2H-3					0.197
2H-4					−0.151
2H-5					−0.254

	I2-1	I2-2	I2-3	I2-4	I2-5
2I-1	0.633	0.37	−0.518	−2.47	−8.81
2I-2	3.544	0.77	−0.144	−1.395	−6.76
2I-3	1.073	0.672	0.904	−1.291	−2.186
2I-4	0.538	0.544	−0.14	−0.5	−1.496
2I-5	0.444	0.504	3.13	−0.332	−1.481

	H3-1	H3-2	H3-3	H3-4	H3-5
3H-1					0.221
3H-2					
3H-3					
3H-4					0.21
3H-5					−0.533

	I3-1	I3-2	I3-3	I3-4	I3-5
3I-1	1.77	1.586	1.307	0.8	−0.691
3I-2	3.773	0.92	0.786	0.388	−0.505
3I-3	1.492	2.805	0.89	−0.709	−1.369
3I-4	1.291	1.202	−0.326	−1.384	−5.31
3I-5	0.966	0.783	−1.11	−5.14	−12.41

	H4-1	H4-2	H4-3	H4-4	H4-5
4H-1					0.581
4H-2					
4H-3					
4H-4					
4H-5					

〈廃棄物量の増減〉

	H1-1	H1-2	H1-3	H1-4	H1-5
1H-1					
1H-2					
1H-3					
1H-4					202.3
1H-5					37.8

	H2-1	H2-2	H2-3	H2-4	H2-5
2H-1					−41.2
2H-2					21.3
2H-3					19.7
2H-4					−15.1
2H-5					−25.4

	I2-1	I2-2	I2-3	I2-4	I2-5
2I-1	63.3	37	−51.8	−247	−881
2I-2	354.4	77	−14.4	−139.5	−676
2I-3	107.3	67.2	90.4	−129.1	−218.6
2I-4	53.8	54.4	−14	−50	−149.6
2I-5	44.4	50.4	313	−33.2	−148.1

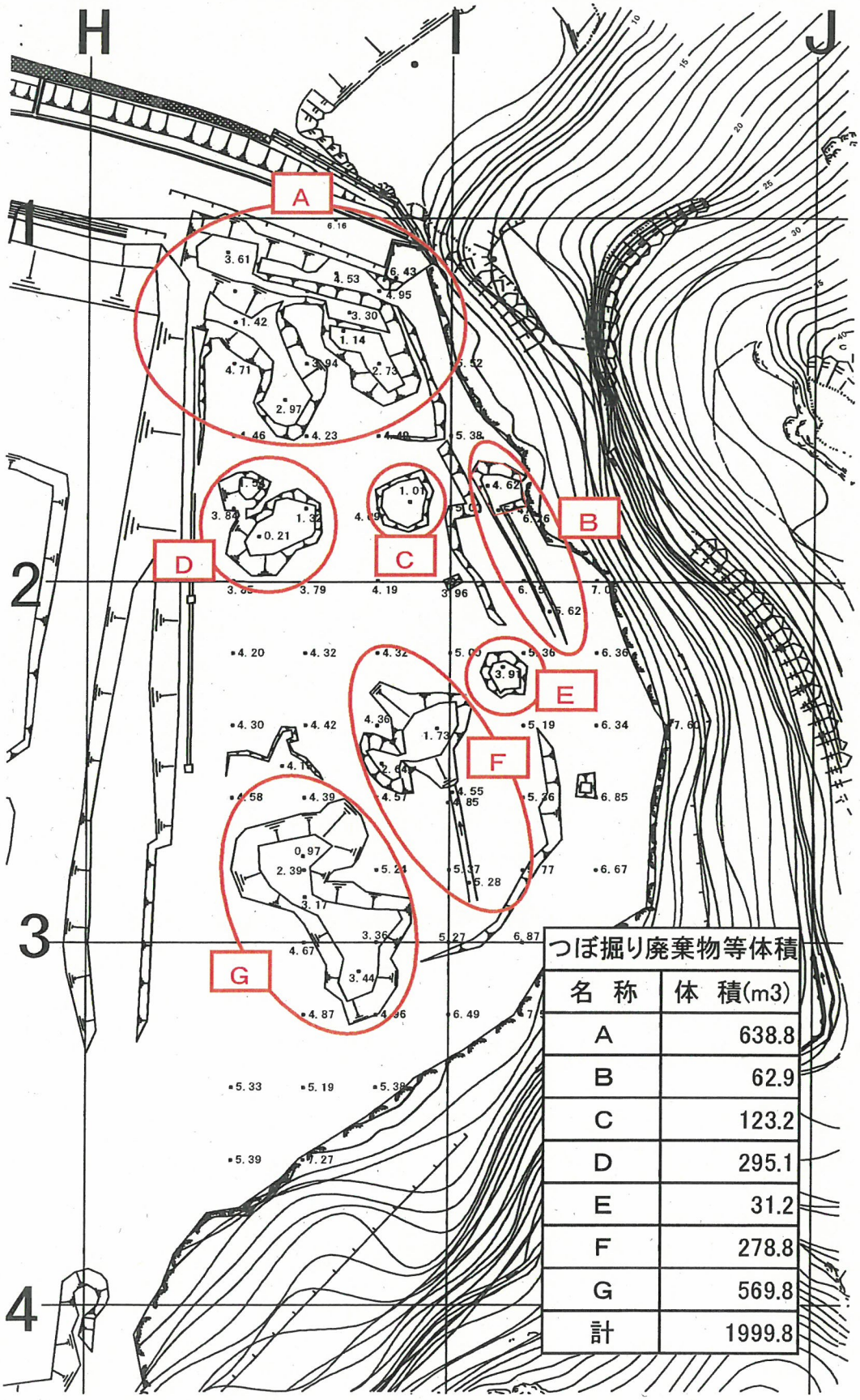
	H3-1	H3-2	H3-3	H3-4	H3-5
3H-1					22.1
3H-2					
3H-3					
3H-4					21
3H-5					−53.3

	I3-1	I3-2	I3-3	I3-4	I3-5
3I-1	177	158.6	130.7	80	−69.1
3I-2	377.3	92	78.6	38.8	−50.5
3I-3	149.2	280.5	89	−70.9	−136.9
3I-4	129.1	120.2	−32.6	−138.4	−531
3I-5	96.6	78.3	−111	−514	−1241

	H4-1	H4-2	H4-3	H4-4	H4-5
4H-1					58.1
4H-2					
4H-3					
4H-4					
4H-5					

（別添）

つぼ掘り廃棄物等体積（香川県試算）



つぼ掘り廃棄物等体積	
名　称	体　積(m3)
A	638.8
B	62.9
C	123.2
D	295.1
E	31.2
F	278.8
G	569.8
計	1999.8

※最終処分場残余容量算定マニュアル(平成 17 年 3 月・環境省)に定める「平均平断面法」
(上部平面積+下部平面積)／2×上下両平面の標高差により算定

資料２６・Ⅱ／２－２
平成２３年９月１７日

処理計画及び豊島廃棄物等処理事業基本計画（掘削）について（案）

１．処理計画

各推定パターンに対応する年度別・処理方法別処理計画は下表のとおりである。処理期間は３年１カ月から３年６カ月延びることとなり、事業の終了は最長で平成２８年９月となる。

表１　推計パターンNo.１　年度別・処理方法別処理計画

年度		重量（t） 溶融炉 廃棄物等	溶融炉 土壌	溶融炉 計	キルン炉 溶融不要物	キルン炉 仮置土	キルン炉 計	岩石等特殊前処理	小計	直下土壌等 水洗浄処理	直下土壌等 地下水浄化	直下土壌等 溶融処理	合計	体積(m^3) 合計
15	9月～翌年3月（試運転を含む）	－	－	26,472	136	－	136	73	26,681	0	0	0	26,681	－
16	4月～翌年3月	－	－	52,243	836	－	836	219	53,298	0	0	0	53,298	－
17	4月～翌年3月	－	－	53,186	759	－	759	81	54,026	0	0	0	54,026	－
18	4月～翌年3月	－	－	51,261	936	－	936	24	52,221	0	0	0	52,221	－
19	4月～翌年3月	－	－	53,183	1,027	－	1,027	17	54,227	0	0	0	54,227	－
20	4月～翌年3月	47,186	11,797	58,983	900	621	1,521	93	60,597	0	0	0	60,597	－
21	4月～翌年3月	50,920	15,210	66,130	1,195	2,690	3,885	138	70,153	0	0	0	70,153	－
22	4月～翌年3月	51,490	17,163	68,653	1,679	4,410	6,089	201	74,943	0	0	0	74,943	－
H15～H22小計		－	－	430,111	7,468	7,721	15,189	846	446,146	0	0	0	446,146	320,357
23	4月～翌年3月	50,000	16,000	66,000	1,000	5,000	6,000	0	72,000	2,000	0	0	74,000	51,000
24	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	0	0	0	61,000	44,000
25	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	21,000	10,000	(3,000)	92,000	57,000
26	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	24,000	10,000	(3,000)	95,000	59,000
27	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	24,000	9,000	0	94,000	59,000
28	4月	4,443	1,000	5,443	0	0	0	0	5,443	0	0	0	5,443	4,568
H23～H28小計		254,443	57,000	311,443	5,000	5,000	10,000	0	321,443	71,000	29,000	(6,000)	421,443	274,568
合計				741,554			25,189	846	767,589	71,000	29,000	(6,000)	867,589	594,925
処理対象量													867,589	594,925

表２　推計パターンNo.２　年度別・処理方法別処理計画

年度		重量（t） 溶融炉 廃棄物等	溶融炉 土壌	溶融炉 計	キルン炉 溶融不要物	キルン炉 仮置土	キルン炉 計	岩石等特殊前処理	小計	直下土壌等 水洗浄処理	直下土壌等 地下水浄化	直下土壌等 溶融処理	合計	体積(m^3) 合計
H15～H22計		－	－	430,111	7,468	7,721	15,189	846	446,146	0	0	0	446,146	320,357
23	4月～翌年3月	50,000	16,000	66,000	1,000	5,000	6,000	0	72,000	2,000	0	0	74,000	51,000
24	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	4,000	5,000	0	65,000	0	0	0	65,000	46,000
25	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	4,000	5,000	0	65,000	21,000	10,000	(3,000)	96,000	60,000
26	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	24,000	10,000	(3,000)	95,000	59,000
27	4月～翌年3月	50,000	10,000	60,000	1,000	0	1,000	0	61,000	24,000	9,000	0	94,000	59,000
28	4月	4,178	1,000	5,178	0	0	0	0	5,178	0	0	0	5,178	5,133
H23～H28小計		254,178	57,000	311,178	5,000	13,000	18,000	0	324,000	71,000	29,000	(6,000)	429,178	280,133
合計				741,289			33,189	846	770,146	71,000	29,000	(6,000)	875,324	600,490
処理対象量													875,324	600,490

表３　推計パターンNo. ３　年度別・処理方法別処理計画

年度		重量（t） 溶融炉 廃棄物等	溶融炉 土壌	溶融炉 計	キルン炉 溶融不要物	キルン炉 仮置土	キルン炉 計	岩石等特殊前処理	小計	直下土壌等 水洗浄処理	直下土壌等 地下水浄化	直下土壌等 溶融処理	合計	体積(m^3) 合計
H15～H22計		-	-	430,111	7,468	7,721	15,189	846	446,146	0	0	0	446,146	320,357
23	4月～翌年3月	50,000	16,000	66,000	1,000	5,000	6,000	0	72,000	2,000	0	0	74,000	52,000
24	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	4,000	5,000	0	67,000	0	0	0	67,000	48,000
25	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	4,000	5,000	0	67,000	22,000	10,000	(3,000)	99,000	62,000
26	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	3,000	4,000	0	66,000	23,000	9,000	(3,000)	98,000	61,000
27	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	0	1,000	0	63,000	23,000	9,000	0	95,000	60,000
28	4月～5月	6,081	2,000	8,081	0	0	0	0	8,081	0	0	0	8,081	6,201
H23～H28小計		252,081	70,000	322,081	5,000	16,000	21,000	0	343,081	70,000	28,000	(6,000)	441,081	289,201
合計				752,192			36,189	846	789,227	70,000	28,000	(6,000)	887,227	609,558
処理対象量													887,227	609,558

表４　推計パターンNo. ４　年度別・処理方法別処理計画

年度		重量（t） 溶融炉 廃棄物等	溶融炉 土壌	溶融炉 計	キルン炉 溶融不要物	キルン炉 仮置土	キルン炉 計	岩石等特殊前処理	小計	直下土壌等 水洗浄処理	直下土壌等 地下水浄化	直下土壌等 溶融処理	合計	体積(m^3) 合計
H15～H22計		-	-	430,111	7,468	7,721	15,189	846	446,146	0	0	0	446,146	320,357
23	4月～翌年3月	50,000	16,000	66,000	1,000	5,000	6,000	0	72,000	2,000	0	0	74,000	52,000
24	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	4,000	5,000	0	67,000	0	0	0	67,000	48,000
25	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	3,000	4,000	0	66,000	18,000	8,000	(3,000)	92,000	59,000
26	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	0	1,000	0	63,000	20,000	8,000	(3,000)	91,000	58,000
27	4月～翌年3月	49,000	13,000	62,000	1,000	0	1,000	0	63,000	20,000	8,000	0	91,000	58,000
28	4月～9月	22,688	6,000	28,688	1,000	0	1,000	0	29,688	10,000	4,000	0	43,688	26,868
H23～H28小計		268,688	74,000	342,688	6,000	12,000	18,000	0	360,688	70,000	28,000	(6,000)	458,688	301,868
合計				772,799			33,189	846	806,834	70,000	28,000	(6,000)	904,834	622,225
処理対象量													904,834	622,225

注 1）平成 24 年度以降の処理量については、これまでの平成 16 年度から平成 22 年度までの溶融炉平均稼働日数（605 日／2 炉／年）に、平成 24 年度から平成 28 年度までの推定廃棄物等残存量から想定した土壌比率から想定される処理量（99～101 t／日）を乗じて計算した。

注 2）直下汚染土壌の水洗浄処理量及び地下水浄化処理量については、今後、掘削計画の見直しを行う予定であるため、掘削計画にあわせて修正する。

注 3）直下汚染土壌の地下水浄化処理については、各年度は処理完了年度ではなく、掘削完了判定調査を行う年度である。

注 4）表２、表３及び表４の平成 15 年度～平成 22 年度の実績は、表１と同じ。

＜設定条件＞

○均質化物混合割合（平成２４年度から平成２８年度）

推計パターンNo.１及びNo.２　廃棄物等：土壌＝８３％：１７％（重量比）

推計パターンNo.３及びNo.４　廃棄物等：土壌＝７９％：２１％（重量比）

・廃棄物等は、シュレッダーダスト、燃え殻及びこれらに混入している土壌をいう。
・土壌は、鉱さい、覆土、周辺部廃棄物等、第４工区廃棄物等（性状調査の結果 資料 26･Ⅱ/5-3から土壌とした）及び仮置き土をいう。
・均質化時の土壌混合割合が１７％の場合、廃棄物等には混入土壌が平均２２％あるため、混合後の土壌比率は約３５％となり、均質化時の土壌混合割合が２１％の場合、廃棄物等には混入土壌が平均２２％あるため、混合後の土壌比率は約３８％となる。

○密度（平成２３年度以降）

廃棄物等及び土壌：１．３９ｔ／m^3

２．処理量アップ対策

上記の処理計画では、事業の終了は最長で平成２８年９月となっているが、１日でも早い廃棄物等の全量処理を実現するため、下記の項目について、処理量アップ対策を検討・実施していく。また、平成２４年度以降の処理計画についても、処理量アップ対策について検討した結果を反映させて、あらためて作成する。

（１）中間処理施設の運転日数

中間処理施設については、稼動年数の増加に伴い、修繕等が必要となる箇所が増加することが懸念されるが、定期整備を効率的に実施するとともに、予防的な整備を実施することにより、現状の計画稼動日数６２５日／年／２炉を維持する。（年間2,000ｔ程度）

（２）土壌比率の見直し及び仮置き土等土壌主体廃棄物の別途処理

廃棄物等の性状調査を引き続き実施し、効率的な溶融処理を行うことができる土壌比率について検討し、見直しを行う。見直し後の効率的な溶融処理を行う場合でも、活用が難しい第４工区土壌主体廃棄物、廃棄物埋設区域の周辺部において掘削が予想される土壌主体廃棄物については、仮置土と同様にキルン炉で高温熱処理する。また、仮置土等の土壌主体廃棄物については、キルン炉による処理を行わずに、セメント原料化等により有効利用する。（年間3,000ｔ程度）

（３）岩石等特殊前処理物の分別

廃棄物中の小型岩石等を分別し、大型岩石等と同様に洗浄処理する。（年間数百ｔ程度）

３．今後の廃棄物等の掘削基本方針

これまでの掘削計画は、工区ごとに高さを揃えながら掘削(スライスカット)を行っていたが、今後の廃棄物等の掘削については、廃棄物底面の状況など処分地の全体像ができるだけ早期に把握できるように、一定の区画ごとに廃棄物底面まで掘削(ベンチカット)を行うものとする。この際、廃棄物等の性状により他の区画と混合しなければならない場合もあるため、事前に廃棄物等性状調査を実施し、掘削計画を見直すこととする。

また、表流水の浸透面積（シートの開放面積）を極力抑えることにより、長期的な地下水位の上昇を抑えるため、掘削に影響のない範囲は極力遮水シートを敷設する。

上記の基本方針を踏まえ、具体的な掘削計画を策定し、管理委員会に諮る。

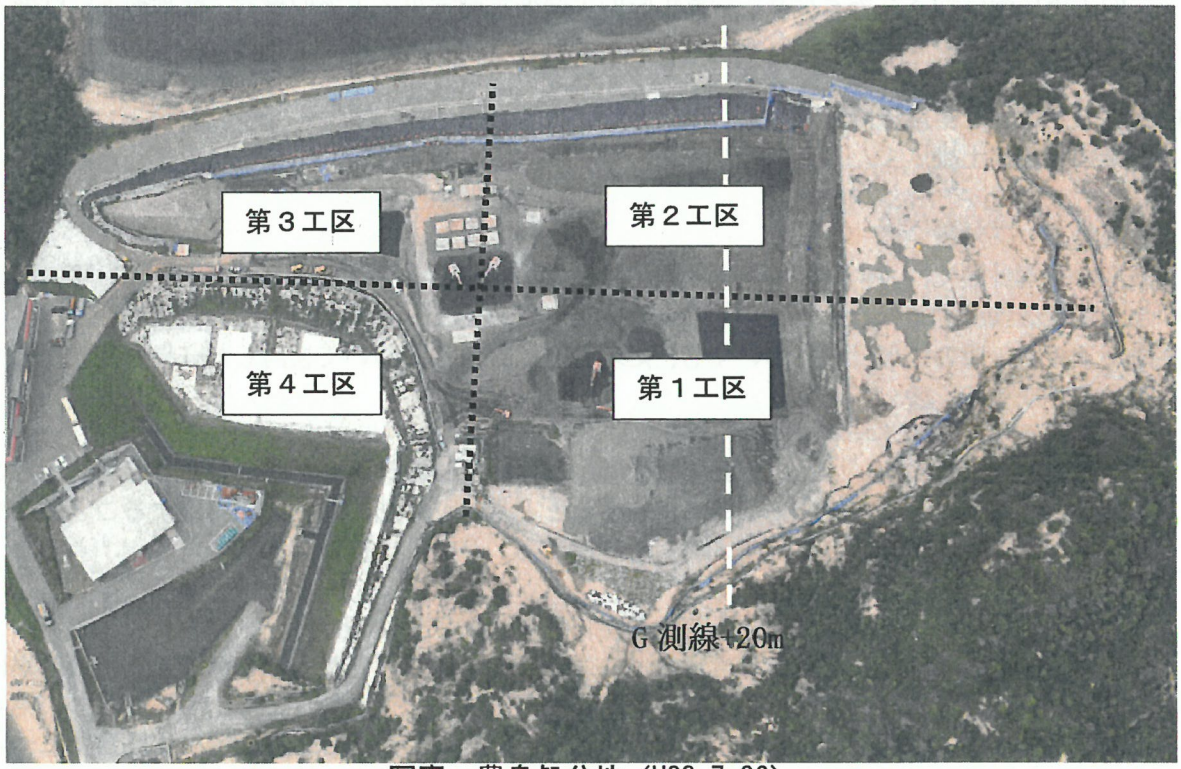


写真　豊島処分地（H23.7.26）

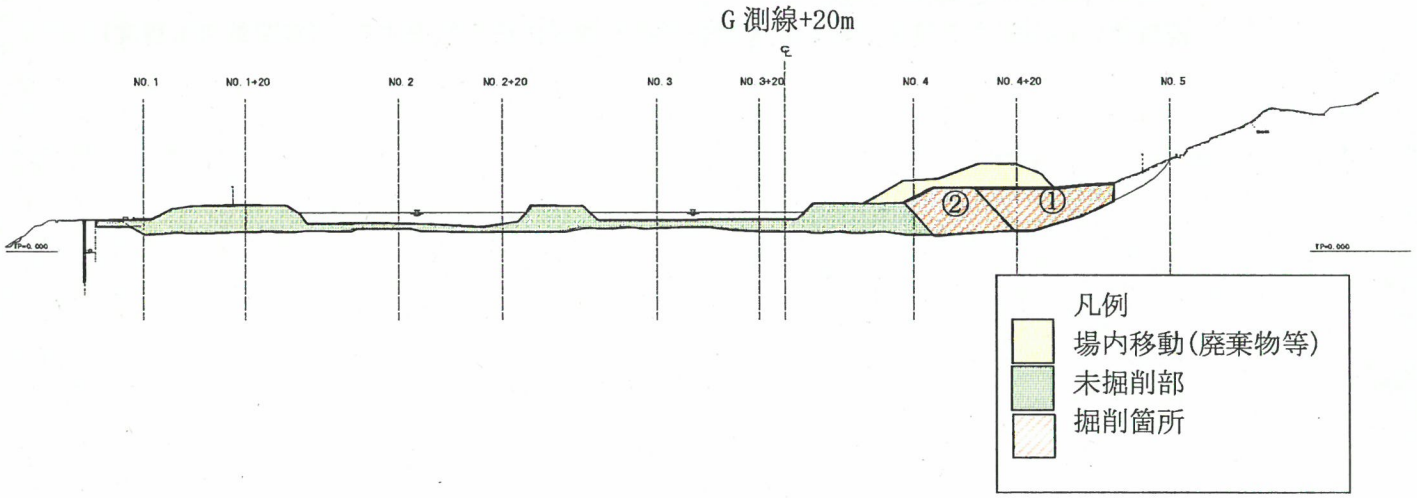


図-1 区画設定のイメージ図

４．今後の廃棄物等掘削進行管理

今後の廃棄物等の掘削進行管理については、下記のとおりの対策を実施することにより、廃棄物等の掘削済体積、密度及び性状を把握することにより管理していく。

（１）光波測量の実施

平成２３年度以降は、毎年、Ａ～Ｋ測線の光波測量を実施し、年度末時点の残存体積、処理済体積を把握するとともに、定期的に、廃棄物等の掘削区域において、簡易な測量を実施する。

（２）計画的な廃棄物密度調査の実施

廃棄物等及び土壌の密度については、代表的な密度が得られるよう調査箇所を掘削区域全域で設定するとともに、その頻度を増加して測定する。また、その結果と、廃棄物等性状調査や均質化物作成時の土壌混合割合を用いて、処理済体積を算定し、光波測量結果と対照させながら進行管理を行う。

（３）廃棄物等の性状調査の実施

最近の調査結果では、廃棄物等中の土壌比率や土壌中の廃棄物比率の変動が大きいことから、頻度を上げて性状調査を実施し、処理事業基本計画の策定に反映させる。

（４）体積ベースでの管理

光波測量の結果や代表的な密度等から算定した処理済体積により、処理重量だけではなく、処理体積でも処理量の管理を行う。また、処理済体積や残存体積については、光波測量等によって、あらたな調査結果が得られたときは、その都度見直しを行う。

資料２６・Ⅱ／３－１
平成２３年９月１７日

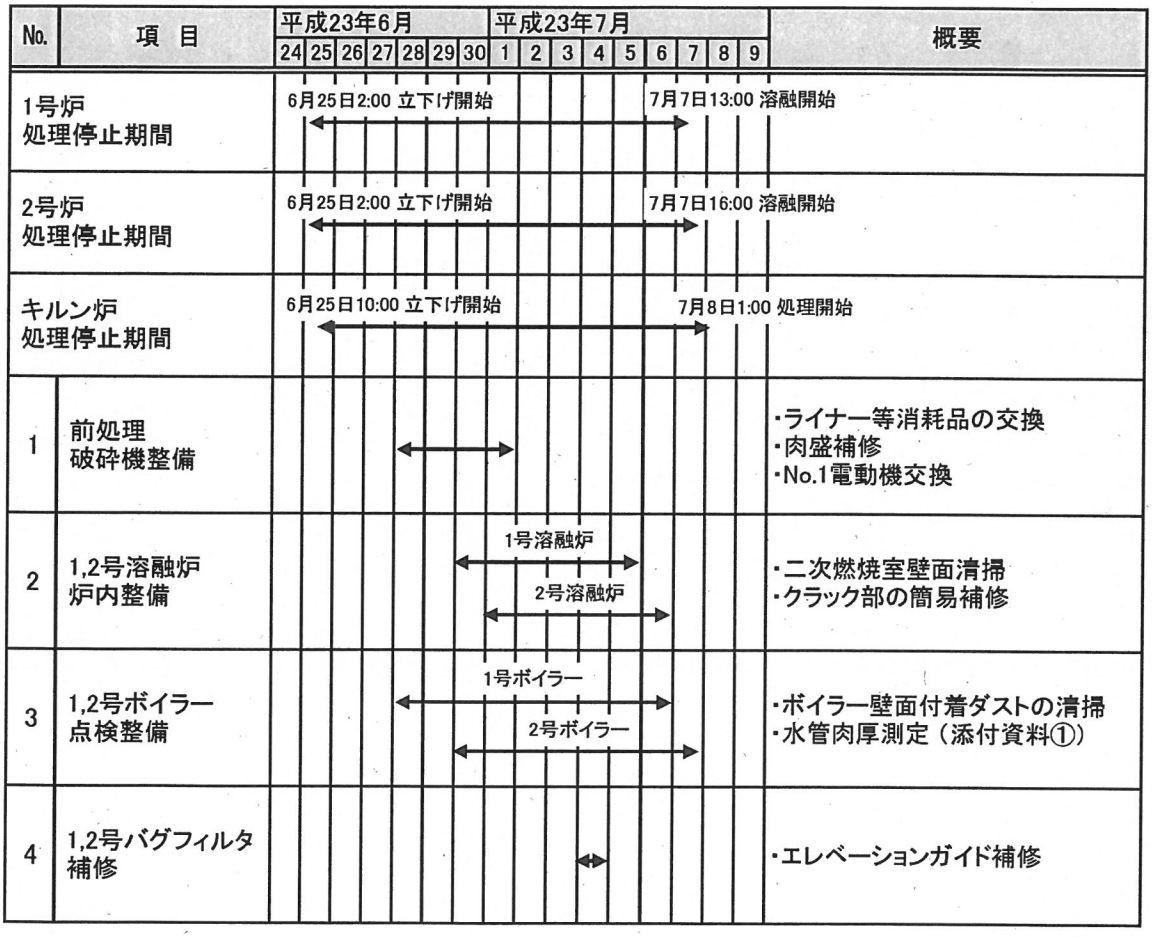
中間処理施設の定期点検整備結果等について

1. 平成 23 年 6～7 月の点検・整備工事実績

平成 23 年 6～7 月に実施した主な点検・整備工事実績を表１．１に示す。点検整備の概要については、表に併記した。

ボイラーの点検整備実績については、別添資料で説明する。

表１．１　平成 23 年 6～7 月の点検・整備工事実績



運転維持管理員による保守点検作業の予定と実績を表１．２に示す。点検の結果、整備・交換が必要と判断して実施したものについては、色付きで示している。

表１．２　平成 23 年 6～7 月の保守点検作業の予定と実績

日付	予定		実績	
	1直（昼勤）	2直（夜勤）	1直（昼勤）	2直（夜勤）
6/23	1,2号・キルン通常運転 各排水低減（再利用水槽上水補給弁手動閉）	1,2号通常運転	1,2号・キルン通常運転 各排水低減（再利用水槽上水補給弁手動閉）	1,2号通常運転
6/24	ｽﾗｸﾞ搬送（約140t）、前処理ｽﾗｸﾞ処理 1,2号ｽﾗｸﾞ置換	1,2号ｽﾗｸﾞ置換→立下げ	ｽﾗｸﾞ搬送（約140t）、前処理ｽﾗｸﾞ処理 1,2号ｽﾗｸﾞ置換	1,2号ｽﾗｸﾞ置換→立下げ
6/25	1,2号、キルン立下げ作業 各排水低減、排水処理前送り 2号投入系設備（ﾎｯﾊﾟ～第1投入）点検 1,2号貯留（助剤）設備点検 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞ除去装置ﾊﾞｲﾊﾟｽ 整備班：ｸﾚｰﾝｶﾞｰﾀｰ階清掃	1,2号、キルン立下げ作業 各排水低減、排水処理前送り	1,2号、キルン立下げ作業 各排水低減、排水処理前送り 2号投入系設備（ﾎｯﾊﾟ～第1投入）点検 1,2号貯留（助剤）設備点検 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞ除去装置ﾊﾞｲﾊﾟｽ 整備班：ｸﾚｰﾝｶﾞｰﾀｰ階清掃	1,2号、キルン立下げ作業 各排水低減、排水処理前送り 各所給油・給脂
6/26	各排水低減、排水処理前送り 1号投入系設備（ﾎｯﾊﾟ～第1投入）点検 1号主燃/後燃ﾊﾞｰﾅ点検 整備班：1,2号第4ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔVﾍﾞﾙﾄ交換 整備班：1,2号、キルン消石灰、活性炭供給装置点検	各排水低減、排水処理前送り 各所給油・給脂 2号流量計点検	各排水低減、排水処理前送り 1号投入系設備（ﾎｯﾊﾟ～第1投入）点検 1号主燃/後燃ﾊﾞｰﾅ点検、流量計点検 1号後燃焼室ﾀﾞｽﾄ排出装置点検清掃 整備班：1,2号第4ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔVﾍﾞﾙﾄ交換 整備班：1,2号、キルン消石灰、活性炭供給装置点検	各排水低減、排水処理前送り 各所給油・給脂 2号流量計点検 制御盤ﾌｨﾙﾀｰ清掃
6/27	2号投入系設備（第3溶融炉投入～換気系）点検 2号可燃ﾎｯﾊﾟ周り清掃 溶融飛灰貯留槽点検 キルン投入系設備点検 2号排ｶﾞｽ処理設備点検 整備班：キルン休炉点検 整備班：キルンシールｹﾞｰﾄ油圧ｼﾘﾝﾀﾞｰﾊﾟｯｷﾝ交換	ﾎｯﾊﾟｽﾃｰｼﾞ清掃 真空掃除機点検	2号投入系設備（第3溶融炉投入～換気系）点検 2号可燃ﾎｯﾊﾟ周り清掃 溶融飛灰貯留槽点検 キルン投入系設備点検 2号排ｶﾞｽ処理設備点検 整備班：キルン休炉点検 整備班：キルンシールｹﾞｰﾄ油圧ｼﾘﾝﾀﾞｰﾊﾟｯｷﾝ交換	各排水低減、排水処理前送り 各所給油・給脂
6/28	1号投入系設備（第3溶融炉投入～換気系）点検 1,2号熱回収設備点検 1,2号圧力計点検 各所給油・給脂 整備班：溶融物処理設備（ﾌｨﾙﾀｰﾌﾟﾚｽ）点検 整備班：1,2号、キルンｶﾞｽ冷ﾉｽﾞﾙ点検清掃	2号供給筒換気ﾌｰﾄﾞﾌｨﾙﾀ交換 各所給油・給脂	1号投入系設備（第3溶融炉投入～換気系）点検 1,2号熱回収設備点検 1,2号圧力計点検 各所給油・給脂 整備班：溶融物処理設備（ﾌｨﾙﾀｰﾌﾟﾚｽ）点検 整備班：1,2号、キルンｶﾞｽ冷ﾉｽﾞﾙ点検清掃	2号供給筒換気ﾌｰﾄﾞﾌｨﾙﾀ交換 各所給油・給脂
6/29	2号溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ排出系）点検 1,2号通風設備点検 2号主燃/後燃ﾊﾞｰﾅ点検 整備班：1,2号水砕水循環ﾎﾟﾝﾌﾟ逆止弁点検 整備班：キルン油圧ユニット点検、油・フィルター交換	1,2号溶融飛灰搬送設備（ｺﾝﾍﾞﾔ）点検 受入供給設備点検 各所給油・給脂	2号溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ排出系）点検 No.1水砕水ﾎﾟﾝﾌﾟVﾍﾞﾙﾄ交換 第4ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔﾛｯｶｰﾚｯｸﾞ交換 1,2号通風設備点検 2号主燃/後燃ﾊﾞｰﾅ点検 後燃ﾊﾞｰﾅ点火ﾌﾟﾗｸﾞ交換 各所給油・給脂 整備班：1,2号水砕水循環ﾎﾟﾝﾌﾟ逆止弁点検 整備班：キルン油圧ユニット点検、油・フィルター交換 整備班：1,2号溶融炉油圧ユニット点検、フィルター交換 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔ油圧ユニット点検、フィルター交換	1,2号溶融飛灰搬送設備（ｺﾝﾍﾞﾔ）点検 受入供給設備点検 各所給油・給脂
6/30	1号溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ排出系）点検 1号溶融炉本体点検 1,2号溶融飛灰搬送設備（ｺﾝﾍﾞﾔ）点検 整備班：1,2号、キルン押込ﾌｧﾝｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃 整備班：1,2号、キルンシールﾌｧﾝｲﾝﾍﾟﾗ点検 整備班：1,2号溶融炉油圧ユニット点検、フィルター交換 整備班：1,2号溶融炉油圧ユニットﾁｪｰﾝｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ給脂 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔ油圧ユニット点検、フィルター交換 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔ油圧ユニットﾁｪｰﾝｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ給脂	ﾎｯﾊﾟｽﾃｰｼﾞ清掃 2号ﾓｰﾀ駆動ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認 各所給油・給脂	1号溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ排出系）点検 第4ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔﾛｯｶｰﾚｯｸﾞ交換 1号溶融炉本体点検 真空掃除機点検 No.1溶融炉冷却水ストレーナ清掃 1,2号溶融飛灰搬送設備（ｺﾝﾍﾞﾔ）点検 整備班：1,2号、キルン押込ﾌｧﾝｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃 整備班：1,2号、キルンシールﾌｧﾝｲﾝﾍﾟﾗ点検 整備班：1,2号溶融炉油圧ユニットﾁｪｰﾝｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ給脂 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞｺﾝﾍﾞﾔ油圧ユニットﾁｪｰﾝｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ給脂	各ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認
7/1	2号排ｶﾞｽ処理設備（捕集飛灰搬出装置、BF）点検 整備班：2号No.2水砕水循環ﾎﾟﾝﾌﾟｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄﾗｲﾅｰ交換 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞ排出ﾀﾞﾝﾊﾟ点検 整備班：貯留設備（重油）点検	水処理設備点検 1号流量計点検 1号ﾓｰﾀ駆動ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認	2号排ｶﾞｽ処理設備（捕集飛灰搬出装置、BF）点検 制御盤清掃、各所給油・給脂 前処理雑用ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ点検 整備班：2号No.2水砕水循環ﾎﾟﾝﾌﾟｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄﾗｲﾅｰ交換 整備班：1,2号ｽﾗｸﾞ排出ﾀﾞﾝﾊﾟ点検 整備班：1号ｽﾗｸﾞ計量器ﾀﾞﾝﾊﾟ軸受交換 整備班：貯留設備（重油）点検	水処理設備点検 流量計点検清掃 制御盤清掃
7/2	1号排ｶﾞｽ処理設備点検 ﾌﾟﾗﾝﾄ機器冷却水ストレーナ清掃 1号ｴｱ駆動ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認 各所給油・給脂 整備班：1,2号誘引通風機ｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃	制御盤清掃 各所給油・給脂	1号排ｶﾞｽ処理設備点検 捕集飛灰搬出装置下側Uﾊﾟｯｷﾝ交換 溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ処理系）点検 ｽﾗｸﾞ破砕用・銅分離用処理水ﾎﾟﾝﾌﾟNo.2Vﾍﾞﾙﾄ交換 No.1中継ﾀﾝｸ用ﾎﾟﾝﾌﾟVﾍﾞﾙﾄ交換 ﾌﾟﾗﾝﾄ機器冷却水ストレーナ清掃 1号ｴｱ駆動ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認 各所給油・給脂 前処理BFｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ点検 整備班：1号溶融面ﾚﾍﾞﾙ計冷却水ﾌﾚｷ配管交換 整備班：1,2号誘引通風機ｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃 整備班：1,2号誘引通風機軸受オイル交換 整備班：1,2号誘引通風機ｷﾞﾔｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞｵｲﾙ交換	制御盤清掃 各所給油・給脂
7/3	2号溶融炉本体点検 No.2溶融炉冷却水ストレーナ清掃 整備班：1,2号粗大除去装置出口ｼｭｰﾄ清掃 整備班：1,2号可燃、不燃油圧ユニット点検、油・フィルター交換	溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ処理系）点検 各所給油・給脂	1,2号通風設備（煙突）点検 2号溶融炉本体点検 No.2溶融炉冷却水ストレーナ清掃 2号炉回転駆動装置オイル交換 整備班：1,2号粗大除去装置出口ｼｭｰﾄ清掃 整備班：1,2号可燃、不燃油圧ユニット点検、油・フィルター交換	溶融物処理設備（ｽﾗｸﾞ処理系）点検 各所給油・給脂
7/4	No.1溶融炉冷却水ストレーナ清掃 各所給油・給脂、制御盤清掃 前処理BF、雑用ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ点検 整備班：計装、雑用ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰｵｲﾙ交換	1号溶融炉冷却水熱交換器水抜き	1号炉回転駆動装置オイル交換 1号ﾓｰﾀ駆動ﾀﾞﾝﾊﾟ動作確認 各所給油・給脂 整備班：計装、雑用ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰｵｲﾙ交換	1号溶融炉冷却水熱交換器水抜き 各所給油・給脂
7/5	1号溶融炉冷却水熱交換器ｴｱ抜き 各所ﾀﾞﾝﾊﾟ開度確認 整備班：キルン誘引通風機ｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃 整備班：1,2号、キルン接点付流量計点検 整備班：重油ﾀﾝｸ出口ストレーナ点検清掃 整備班：1,2号炉回転駆動油圧油量調整弁交換	2号溶融炉冷却水熱交換器水抜き	各所給油・給脂、各所ﾀﾞﾝﾊﾟ開度確認 整備班：キルン誘引通風機ｲﾝﾍﾟﾗ点検清掃 整備班：重油ﾀﾝｸ出口ストレーナ点検清掃 整備班：1,2号炉回転駆動油圧油量調整弁交換 整備班：1,2号、キルン接点付流量計点検	2号溶融炉冷却水熱交換器水抜き 1,2号立上げ前確認
7/6	1,2号、キルン立上げ前確認 2号溶融炉冷却水熱交換器ｴｱ抜き	1,2号立上げ前確認→立上げ キルン立上げ前確認	1,2号、キルン立上げ前確認 1,2号溶融炉冷却水熱交換器ｴｱ抜き	1,2号立上げ
7/7	1,2号昇温、キルン立上げ 前処理設備各ｺﾝﾍﾞﾔ慣らし運転、動作確認	1,2号、キルン昇温→通常運転	1,2号昇温→通常運転 キルン立上げ前確認→立上げ	1,2号通常運転 キルン昇温→通常運転
7/8	1,2号、キルン通常運転	1,2号、キルン通常運転	1,2号、キルン通常運転	1,2号、キルン通常運転

注1）色付き箇所は点検の結果、整備・交換が必要と判断して実施した項目を示す。